

DVH-P520

DVD-V/VCD/CD/チューナー・
WMA/MP3/AAC/DivX 対応メインユニット

取扱説明書

目次 4ページ

carrozeria

安全のために必ずお守りください

絵表示について

この取扱説明書、取付説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

- 表示内容を見逃して、誤った使いかたをしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。



注意

この表示の欄は、「人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」を示しています。

- お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。



このような絵表示は、注意（警告を含む）しなければならない内容です。



このような絵表示は、禁止（やってはいけないこと）の内容です。



このような絵表示は、必ず行っていただく強制の内容です。

安全上のご注意 (別冊の「安全上のご注意」もお読みください。)



警告

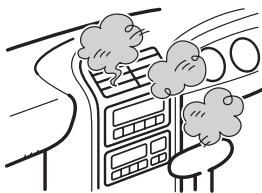
[異常時の処置]

故障のまま使用しない



画面が映らない、音が出ないなどの故障の状態で使用しないでください。必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

異常のまま使用しない



万一、煙が出る・変なにおいがする・内部に異物が入った・水がかかったなど異常がございましたら、ただちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

ヒューズは規定容量のヒューズを使用する



ヒューズを交換するときは、必ず表示された規定容量のヒューズをご使用ください。規定容量以上のヒューズを使用すると、火災の原因となります。

[使用方法]

運転中に操作をしない



画面を長く見る必要がある複雑な機能は、自動車の運転中に操作をしないでください。前方不注意となり交通事故の原因となります。操作は、必ず安全な場所に車を停車させて行ってください。また運転中、画面を注視する時間は必要最低限としてください。

目次

はじめに

1	本書のみかた	10
2	本機の特徴	10
3	ご使用になる前に	12
4	本機で再生できるファイルについて	14
5	リモコンの準備	16
6	サブウーファーの設定について	18
7	各部のなまえ	20

ここだけ読めばすぐ使えます

1	基本的な操作 (1)	24
2	基本的な操作 (2)	26
3	内蔵プレーヤーのふだんの操作 (DVD-video / DVD-VR)	27
4	内蔵プレーヤーの ふだんの操作 (ビデオ CD)	28
5	内蔵プレーヤーの ふだんの操作 (DivX)	29
6	内蔵プレーヤーの ふだんの操作 (CD / CD-ROM)	30
7	ラジオのふだんの操作	31

DVD

DVD-video / DVD-VR

1	ディスクを再生する	32
2	メニュー画面の操作	32
3	チャプターを進める / 戻す	33
4	チャプターを直接指定する	33
5	タイトルを指定する	34
6	早送り / 早戻しする	34
7	再生を止める	35
8	静止画を再生する	35
9	コマ送り再生をする	36
10	スロー再生をする	36
11	再生中に音声言語を切り換える	37
12	再生中に字幕言語を切り換える	37
13	再生中にアングルを切り換える	38
14	お気に入りの場面を登録する	38
15	オートプレイを設定する	39
16	CMを飛ばして再生をする	39
17	指定された場面に戻る	40
18	タイトル名を見て再生したい タイトルをさがす	40
19	ファンクションメニューの 切り換えかた	41
20	繰り返し再生する	42
21	音声の出力方法を切り換える	42
22	再生を一時停止する	43
23	タイトル名を見て再生したい タイトルをさがす	43
24	音を聞きやすくする	44
25	再生モードの切り換え	44
26	情報画面 / タイトル画面を表示する	45

C O N T E N T S

ビデオ
CD

ビデオ CD

1	ディスクを再生する	46
2	メニュー画面の操作	46
3	トラックを進める／戻す	47
4	トラックを直接指定する	47
5	トラックを指定する	48
6	早送り／早戻しする	48
7	再生を止める	49
8	静止画を再生する	49
9	コマ送り再生をする	50
10	スロー再生をする	50
11	ファンクションメニューの 切り換えかた	51
12	繰り返し再生する	51
13	音声の出力方法を切り換える	52
14	再生を一時停止する	52
15	音を聞きやすくする	53
16	情報画面を表示する	53

すぐに使いたいときは、
ここをお読みください。

すぐに使えます
ここだけ読めば

はじめに	●●●●●●●●●●●●●●●●
DVD-video / DVD-VR	●●●●●●●●●●●●●●●●
ビデオ CD	●●●●●●●●●●●●●●●●
DivX	●●●●●●●●●●●●●●●●
CD / CD-ROM	●●●●●●●●●●●●●●●●
ラジオ	●●●●●●●●●●●●●●●●
マルチ CD (別売)	●●●●●●●●●●●●●●●●
USB (別売)	●●●●●●●●●●●●●●●●
iPod (別売)	●●●●●●●●●●●●●●●●
テレビ (別売)	●●●●●●●●●●●●●●●●
DVD (別売)	●●●●●●●●●●●●●●●●
音の調節	●●●●●●●●●●●●●●●●
音の調節 (別売 DSP)	●●●●●●●●●●●●●●●●
DVD 設定	●●●●●●●●●●●●●●●●
初期設定	●●●●●●●●●●●●●●●●
便利な機能	●●●●●●●●●●●●●●●●
その他 (付録)	●●●●●●●●●●●●●●●●

DivX

DivX

1	DivX VOD ファイルを再生する	54
2	ディスクを再生する	54
3	ファイルを直接指定する	55
4	早送り／早戻しする	55
5	再生を止める	56
6	静止画を再生する	56
7	コマ送り再生をする	57
8	スロー再生をする	57
9	再生中に音声言語を切り換える	58
10	タイトルを見て再生したい ファイルやフォルダーをさがす	58
11	ファンクションメニューの 切り換えかた	59
12	繰り返し再生する	60
13	再生を一時停止する	60
14	タイトルを見て再生したい ファイルやフォルダーをさがす	61
15	音を聞きやすくする	62
16	情報画面／タイトル画面を表示する	62

目次

CD

CD / CD-ROM

- 1 ディスクを再生する 64
- 2 曲を直接選ぶ 64
- 3 早送り／早戻しする 65
- 4 再生を止める 65
- 5 再生を一時停止する 66
- 6 CDのタイトルを入力する 66
- 7 入力したタイトルを表示させる 67
- 8 曲名を見て聞きたい曲をさがす 68
- 9 タイトルを見て再生したい
ファイルやフォルダーをさがす 68
- 10 ファンクションメニューの
切り換えかた 69
- 11 繰り返し再生する 70
- 12 違う曲順で再生する 71
- 13 曲／フォルダー／ディスクを探す 72
- 14 再生を一時停止する 73
- 15 曲名を見て聞きたい曲をさがす 73
- 16 タイトルを見て再生したい
ファイルやフォルダーをさがす 74
- 17 10曲飛びに選曲する 75
- 18 音を聞きやすくする 75
- 19 情報画面／タイトル画面を表示する 76

ラジオ

ラジオ

- 1 放送局を1局ずつ登録する 78
- 2 複数の放送局を自動的に登録する 78
- 3 登録した放送局を呼び出す 79
- 4 放送局名を表示する 79
- 5 放送局名を選ぶ 80

マルチ
CD

マルチ CD (別売)

- 1 マルチCDのふだんの操作 82
- 2 曲を直接選ぶ 83
- 3 再生を一時停止する 83
- 4 ファンクションメニューの
切り換えかた 84
- 5 詳細設定メニューの切り換えかた 84
- 6 繰り返し再生する 85
- 7 違う曲順で再生する 85
- 8 曲やディスクを探す 86
- 9 聞きたい曲を指定する 87
- 10 指定した曲だけ再生する 87
- 11 曲の指定を1曲ずつ解除する 88
- 12 曲の指定をCDごとに解除する 88
- 13 CDのタイトルを入力する 89
- 14 タイトルやアーティスト名を
表示させる 90
- 15 タイトルを見て聞きたいCDをさがす 90
- 16 再生を一時停止する 91
- 17 音を聞きやすくする 91

USB

USB (別売)

- 1 USBのふだんの操作 92
- 2 タイトルを見て再生したい
ファイルやフォルダーをさがす 93
- 3 ファンクションメニューの
切り換えかた 93
- 4 繰り返し再生する 94
- 5 違う曲順で再生する 94
- 6 曲を探す 95
- 7 再生を一時停止する 96
- 8 タイトルを見て再生したい
ファイルやフォルダーをさがす 96
- 9 ソース情報画面／タイトル画面を
表示する 97

C O N T E N T S

iPod

iPod (別売)

- 1 iPodのふだんの操作 98
- 2 聞きたい曲をさがす 99
- 3 ファンクションメニューの切り換えかた 100
- 4 同じ曲やリストを繰り返し聞く 100
- 5 いつもと違う曲順で聞く 101
- 6 再生を一時停止する 101
- 7 ソース情報画面/タイトル画面を表示する 102

テレビ

テレビ (別売)

- 1 テレビのふだんの操作 104
- 2 ファンクションメニューの切り換えかた 105

S-DVD

DVD (別売)

- 1 DVDのふだんの操作 106
- 2 ファンクションメニューの切り換えかた 107

音の調節

音の調節

- 1 オーディオ調節メニューの切り換えかた 110
- 2 お好みの音の空間に設定する 111
- 3 前後左右の音量バランスを調節する 111
- 4 イコライザーカーブを選ぶ 112
- 5 イコライザーカーブを大まかに補正する 112
- 6 イコライザーカーブを細かく調節する 113
- 7 小さな音量でも聞きやすくする 114
- 8 サブウーファーを使う 114
- 9 サブウーファーのON/OFFと位相切り換え 115
- 10 サブウーファーのカットオフ周波数選択とレベル調節 115
- 11 低い音を強調する 116
- 12 低い音を出力しないようにする 116
- 13 各ソースの音量を揃える 117

すぐに使いたいときは、
ここをお読みください。

すぐ使えます
じっくり読めます

はじめに

DVD-video / DVD-VR

ビデオ CD

DivX

CD / CD-ROM

ラジオ

マルチ CD (別売)

USB (別売)

iPod (別売)

テレビ (別売)

DVD (別売)

音の調節

音の調節 (別売 DSP)

DVD 設定

初期設定

便利な機能

その他 (付録)

目次

別売DSP

音の調節 (別売DSP)

- 1 オーディオ調節のポイント 118
- 2 オーディオ調節メニューの切り換えかた 119
- 3 オーディオ調節詳細メニューの切り換えかた 120
- 4 前後左右の音量バランスを調節する 121
- 5 リスニングポジションを選ぶ 121
- 6 ドルビープロロジックIIを使う 122
- 7 ミュージックモードを調節する 123
- 8 SFC で音場を再現する 124
- 9 ダウンミックス機能を使う 125
- 10 ダイナミックレンジコントロールを使う 125
- 11 オリジナルの音質で聞く 126
- 12 各ソースの音量の違いをそろえる 126
- 13 オートイコライザーをON/OFFする 127
- 14 オートタイムアライメント&イコライジングを行う前に 127
- 15 オートタイムアライメント&イコライジングを行う 129
- 16 接続したスピーカーの設定をする 131
- 17 サブウーファーの位相を切り換える 132
- 18 クロスオーバー周波数を設定する 132
- 19 スピーカーレベルを調節する 133
- 20 テストトーンでスピーカーレベルを調節する 134
- 21 タイムアライメントを選ぶ 135
- 22 タイムアライメントを調節する 136
- 23 イコライザーカーブを選ぶ 137
- 24 3バンドパラメトリックイコライザーを調節する 138

DVD設定

DVD設定

- 1 DVD設定メニューの切り換えかた 140
- 2 基本字幕を設定する 141
- 3 基本音声を設定する 142
- 4 メニュー言語を設定する 142
- 5 アシスト字幕を設定する 143
- 6 マルチアングルマーク表示を設定する 143
- 7 画面の縦横比を設定する 144
- 8 視聴制限を設定する 144
- 9 DivX VODの登録コードを確認する 146
- 10 DivXのカスタム字幕ファイルを表示する 146
- 11 デジタル出力の設定をする 147

初期設定

初期設定

- 1 初期設定メニューの切り換えかた 148
- 2 時計を合わせる 149
- 3 外部機器(AUX)をソースに設定する 149
- 4 映像入力を設定する 151
- 5 バックカメラ極性を設定する 152
- 6 リアスピーカー出力を設定する 153
- 7 RCA外部出力から出力される信号を選ぶ 153
- 8 スクロールの設定を切り換える 154
- 9 音の歪みを補正する 154
- 10 オーディオ設定をリセットする 155

便利な機能

便利な機能

- 1 瞬時に音量を小さくする 156
- 2 時計を表示する 156
- 3 よく使う機能を直接操作する 157
- 4 交通情報を受信する 157
- 5 レベルインジケータを切り換える 158
- 6 外部機器の名称を入力する 159
- 7 外部機器に合わせてデジタル接続に切り換える 159

CONTENTS

その他

その他 (付録)

- | | | |
|---|------------------------------|-----|
| 1 | 再生できるディスクについて | 160 |
| 2 | WMA / MP3 / AAC ファイル
について | 162 |
| 3 | 使用上の注意 | 166 |
| 4 | 言語コード表 | 167 |
| 5 | 故障かな?と思ったら | 168 |
| 6 | こんなメッセージが表示されたら | 172 |
| 7 | 保証書とアフターサービス | 174 |
| 8 | 用語解説 | 175 |
| 9 | おもな仕様 | 178 |

すぐに使いたいときは、
ここをお読みください。

ここ
だけ
読み
ます
すぐ
使え
ます

- はじめに ●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●
- DVD-video / DVD-VR ●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●
- ビデオ CD ●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●
- DivX ●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●
- CD / CD-ROM ●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●
- ラジオ ●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●
- マルチ CD (別売) ●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●
- USB (別売) ●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●
- iPod (別売) ●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●
- テレビ (別売) ●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●
- DVD (別売) ●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●
- 音の調節 ●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●
- 音の調節 (別売 DSP) ●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●
- DVD 設定 ●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●
- 初期設定 ●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●
- 便利な機能 ●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●
- その他 (付録) ●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●

はじめに

1

本書のみかた

お買い上げ後すぐにお使いになりたいときは、「ここだけ読めばすぐ使えます」の項目をお読みください。内蔵プレーヤーやラジオなどの基本的な操作方法を説明しています。

基本操作以外のリモコンや便利な機能については、「DVD-video/DVD-VR」や「ビデオCD」、「音の調節」など、それぞれの項目をお読みください。

リモコンでの操作

このマークのある項目ではリモコンでの操作を説明しています。「DVD」「DVH」はリモコンで設定する操作モードを示しています。

(※ はじめに ⑩ 16 ページ)

はじめに

2

本機の特徴

DVD ビデオ再生対応

本機はDVDビデオの再生に対応しています。市販のDVDビデオだけでなく、ビデオモードおよびビデオレコーディングフォーマット（VRモード）で録画されたDVD-R/RWの再生にも対応しています。

ビデオ CD の PBC 対応

PBC（プレイバックコントロール）機能付きビデオCDの再生に対応しています。

CD 再生対応

音楽CDの再生に対応しています。また音楽CDのデータが記録されたCD-R/RWの再生に対応しています。

CD TEXT 再生対応

CD TEXTの再生に対応しています。



CD TEXT とは

- CDのタイトルや歌手名などの文字情報が収録されているCDです。ディスクタイトル面に下記のマークの付いているCDはCD TEXTディスクです。下記マークの付いていないCD TEXTディスクもあります。



WMA/MP3/AAC ファイル再生対応

WMA/MP3/AACファイルが記録されたCD-R/RW/ROM、DVD-R/RW/ROMの再生に対応しています。ディスクは、ISO9660のレベル1、レベル2、および拡張フォーマット（Joliet、Romeo）に準拠して記録されたディスクが再生可能です。(※ その他 ⑫ 162 ページ)

DivX® ファイル再生対応

DivX ファイルが記録されたCD-R/RW/ROM、DVD-R/RW/ROMの再生に対応しています。

ドルビーデジタル対応

当社の5.1 ch対応・DSPユニット「DEQ-P9」と組み合わせると、5.1チャンネルで収録された映画／音楽のDVDを臨場感豊かに再現することができます。



- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー、Pro Logic及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

DTS 対応

当社の5.1 ch対応・DSPユニット「DEQ-P9」と組み合わせると、5.1チャンネルで収録された映画／音楽のDVDを臨場感豊かに再現することができます。



- 「DTS」および「DTS Digital Out」はDTS, Inc.の登録商標です。

USB コントロール対応

パイオニア製USBアダプター（「CD-UB10」など）と組み合わせると、USB機器を本機から操作することができます。

iPod® コントロール対応

パイオニア製 iPod® 用アダプター（「CD-IB10II」など）の接続に対応しています。iPodアダプターを使って、ドックコネクタ付きiPodをコントロールできます。

- iPodは、米国および他の国々で登録された、Apple Computer, Inc.の商標です。

Bluetooth アダプター対応

パイオニア製Bluetoothアダプター（「CD-BTB10」など）の接続に対応しています。Bluetoothアダプターを使って、携帯電話やポータブルオーディオ機器の操作に対応しています。

50枚型マルチCDプレーヤーの使用について

本機では、50枚型マルチCDプレーヤーの取扱説明書に記載されている50枚型マルチCDプレーヤー特有の機能を操作することはできません。本機で操作できるのは、本書に記載されている機能のみです。また、ディスクリストには切り換わりません。

バッテリー上がりを防ぐために

本機をお使いになるときは、必ず車のエンジンをかけてください。

また、本機が電源 OFF のときでも、車のエンジンを止めた状態で、長時間、車のイグニッションスイッチを ON（または ACC）にしないでください。バッテリーが上がる恐れがあります。



ご注意

- 車のバッテリー交換などで本機に電源が供給されなくなると、本機は初期状態に戻ります。本機が初期状態に戻ると、ラジオのプリセットメモリー、時計、オーディオ調節などの設定内容は消去されてしまいます。ラジオのプリセットメモリーは（※ **ラジオ ① 78ページ**）、時計調節は（※ **初期設定 ② 149ページ**）を参照して、再設定してください。オーディオ調節の設定内容などは、メモしておくことをおすすめします。再設定の方法については、それぞれのページを参照してください。

著作権について

本機は、マクロビジョンコーポレーションおよび他の権利保有者が所有する合衆国特許および知的所有権によって保護された、著作権保護技術を搭載しています。この著作権保護技術の使用にはマクロビジョンコーポレーションの許可が必要であり、同社の許可がない限りは一般家庭及びそれに類似する限定した場所での視聴に制限されています。解析や改造は禁止されていますので行わないでください。

別売のモニターを接続したとき

本機に別売のモニターを接続すると、DVDビデオなどの映像のほか、操作に関する画面を表示できます。表示や操作の方法は、それぞれのページを参照してください。

情報画面

内蔵プレーヤーを操作しているとき、表示できます。

- DVD-video、DVD-VR：
（※ **DVD ⑫ 45ページ**）
- ビデオCD：（※ **ビデオ CD ⑬ 53ページ**）
- DivX：（※ **DivX ⑭ 62ページ**）
- CD、CD-ROM：（※ **CD ⑮ 76ページ**）

ソース情報画面

内蔵プレーヤー以外を操作しているとき、「情報画面」の代わりに表示します。

ラジオ、TI（交通情報）、マルチCD、TV、iPod、USB、AV、Bluetooth、AUX1/2、EXT1/2

タイトル画面

以下のソースのとき、表示できます。

- 内蔵プレーヤー（DVD-VR、DivX、CD/CD-ROM）：
（※ **DVD ⑫ 45ページ**）
（※ **DivX ⑭ 62ページ**）
（※ **CD ⑮ 76ページ**）
- USB：（※ **USB ⑨ 97ページ**）
- iPod：（※ **iPod ⑦ 102ページ**）

リスト画面

以下のソースのとき、表示できます。

内蔵プレーヤー (DVD-VR、DivX、CD / CD-ROM) :

(※ DVD ⑮ 40 ページ、⑳ 43 ページ)

(※ DivX ⑩ 58 ページ、⑭ 61 ページ)

(※ CD ⑧ 68 ページ、⑨ 68 ページ

⑮ 73 ページ、⑯ 74 ページ)

ラジオ

USB : (※ USB ② 93 ページ、④ 96 ページ)

iPod : (※ iPod ② 99 ページ)

別売のDSP設定画面

本機に別売の5.1ch対応・DSPユニット「DEQ-P9」を接続しているときに表示できます。(※ 別売DSP ① 118 ページ)

メモ

- ソースがラジオのときは、ソース情報画面とプリセットチャンネルリストが常に表示されています。
- タイトル画面やリスト画面の文字表示は、ひらがなや漢字などに対応しています。

ご注意

- タイトル画面やリスト画面の文字表示は、スクロールしません。

ソースとは

- SOURCE ボタンを押すごとに切り換わる、内蔵プレーヤーやラジオなどの音源のことです。
(※ ここだけで ① 24 ページ)

WMA について



外装箱に印刷された、Windows Media™のロゴは、本機がWMAデータの再生に対応していることを示しています。

WMAとは、「Windows Media Audio」の略で、米国Microsoft Corporationによって、開発された音声圧縮技術です。WMAデータは、Windows Media Player Ver.7以降を使用してエンコードすることができます。

- Windows Media、Windowsのロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

メモ

- WMAファイルをエンコードしたアプリケーションによっては、正常に動作しないことがあります。
- WMAファイルをエンコードしたWindows Media Playerのバージョンによっては、アルバム名などの文字情報が正しく表示されないことがあります。
- 画像データを含むWMAファイルを再生する場合、再生が始まるまでに時間がかかることがあります。

MP3 について

本機を提供する場合、非営利目的の個人向けライセンスのみが提供されます。下記放送で、本機を使うライセンスを提供したり、いかなる形式にせよ、使う権利を意味するものではありません。下記放送で本機を使用する場合は、それぞれ固有のライセンスが必要となります。

詳細は、インターネット上のホームページ <http://www.mp3licensing.com> をご覧ください。

- 営業目的、すなわち利益の発生するリアルタイム放送（地上波放送、衛星放送、ケーブルテレビを始めとするメディア）、インターネットを使った放送やデータ転送、イントラネットを始めとするネットワーク、あるいはペイオーディオやオンデマンド方式のオーディオといった電子的放送番組の配信システムなど。

メモ

- MP3ファイルをライティングしたiTunesのバージョンによっては、ファイル名などが正しく表示されないことがあります。

AAC について

AACデータは、作成に使用したアプリケーションによってファイル形式と拡張子が異なります。

本機では、Ver. 6.0.5以前のiTunesを使用してエンコードされたAACファイルの再生に対応しています。

本機は、iTunesで作成された拡張子(.m4a)が付いているファイルを、AACファイルとして再生します。故障の原因となりますので、(.m4a)以外の拡張子の付いたAACファイルを再生しないでください。

メモ

- AACファイルをライティングしたiTunesのバージョンによっては、ファイル名などが正しく表示されないことがあります。
- iTunesは、米国および他の国々で登録されたApple Computer, Inc.の商標です。
- iTunesミュージックストアで購入された楽曲(.m4p)は、DVD-R/RW、CD-R/RWに記録して再生することはできません。

DivX® について



DivX®は、DivX, Inc.が開発した評価の高いメディア技術です。DivXのメディアファイルは、高画質を維持しながら、高い圧縮率でコンパクトに圧縮できます。DivXで圧縮するファイルには、メニューや、字幕、サブオーディオトラックなども含めることができます。DivX.comでは、DivXメディアファイルを多数掲載しています。これらのメディアをダウンロードして、DivXの専用ツールを使えば、オリジナルのコンテンツを作成できます。

DivX Certified製品は、DivXのクリエイターによってテストされ、全てのバージョンのDivX（DivX 6も含む）でも再生できることが正式にテスト、認定された製品です。DivX Certifiedの認定ロゴが付いている製品は、DivX Profiles規格に準拠したポータブルビデオやHDビデオであることを示しています。

- DivX® Certified製品
- 標準のDivX®メディアファイル再生機能が付いたDivX®ビデオを再生（DivX® 6も含む全てのバージョンに対応）
- DivX、DivX Certified、および関連するロゴは、DivX, Inc.の商標です。これらの商標は、DivX, Inc.の使用許諾を得て使用しています。

本機では、CD-R/RW/ROM、DVD-R/RWに記録されたDivX®ファイルを再生できます。

この取扱説明書では、それぞれのDivX®ファイルをDVDにあわせて「タイトル」と呼びます。DivX®ファイルはタイトルのアルファベット順に再生されますので、ディスクに記録する際はタイトル名の付けかたにご注意ください。

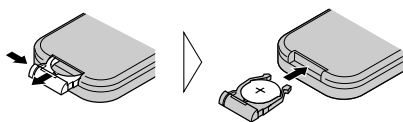
リモコンの準備

付属のリモコンを使うための準備です。

リモコンに電池を入れる

リモコンを裏返し、電池ホルダーを取り出して、リチウム電池（CR2025）を⊕側を上にしてセットします。

初めてお使いになるときは、電池ホルダー部から出ているフィルムを引き抜いてください。電池があらかじめセットされていますので、すぐにお使いいただくことができます。



リモコンの操作可能範囲が狭くなったときは、新しい電池と交換してください。

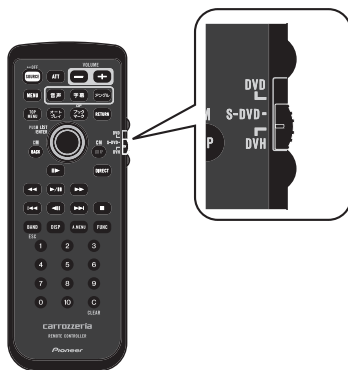


リモコンの取り扱い上のご注意

- リモコンを直射日光の当たるところに長時間放置すると、高温により変形・変色したり、故障する恐れがあります。使用しないときは、直射日光の当たらないところに保管してください。
- 本体に直射日光が当たっていると、リモコンを操作できないときがあります。このようなときは、本体にリモコンを近づけて操作してください。
- 付属の電池は充電できません。
- リモコンを長い間使わないときは、電池を取り出してください。取り出した電池は、幼児の手の届かないところに保管してください。
- 電池の液もれが起こったときは、内部に付いた液をよくふき取ってから、新しい電池と入れ換えてください。
- 不要となった電池を廃棄する場合は、各地方自治体の指示（条例）に従って処理してください。

リモコンの操作モードについて

本機のリモコンには、DVDモード、S-DVDモード、DVHモードの3つの操作モードがあります。



DVDモード：

以下の操作をするときに使います。

- 内蔵プレーヤーを操作するとき
- DVDのディスクメニューをジョイスティックで操作するとき
- ビデオCDのPBCメニューを数字ボタンで操作するとき
- DVDのタイトル、ビデオCDのトラックを数字ボタンで指定するとき

S-DVDモード：

ソースDVD（1枚型DVD／マルチDVD）を操作するときに使います。操作方法はDVDモードと同様です。

DVHモード：

リモコンで、各ソースを操作するときに使います。通常は、このモードでお使いください。



ご注意

- DVD／S-DVDモードのときは、**[DIRECT]** ボタンは使えません。
- DVHモードのときは、**[RECALL]** ボタン、**[10]** ボタンは使えません。



別売のDVDプレーヤーを組み合わせた場合

- 別売の1枚型DVDプレーヤー（例：「SDV-P7」）を操作する場合は、DVDプレーヤーの初期設定でリモコンのコードをAに設定してください。リモコンのコードがBに設定されていると、本機に付属のリモコンでは操作できません。



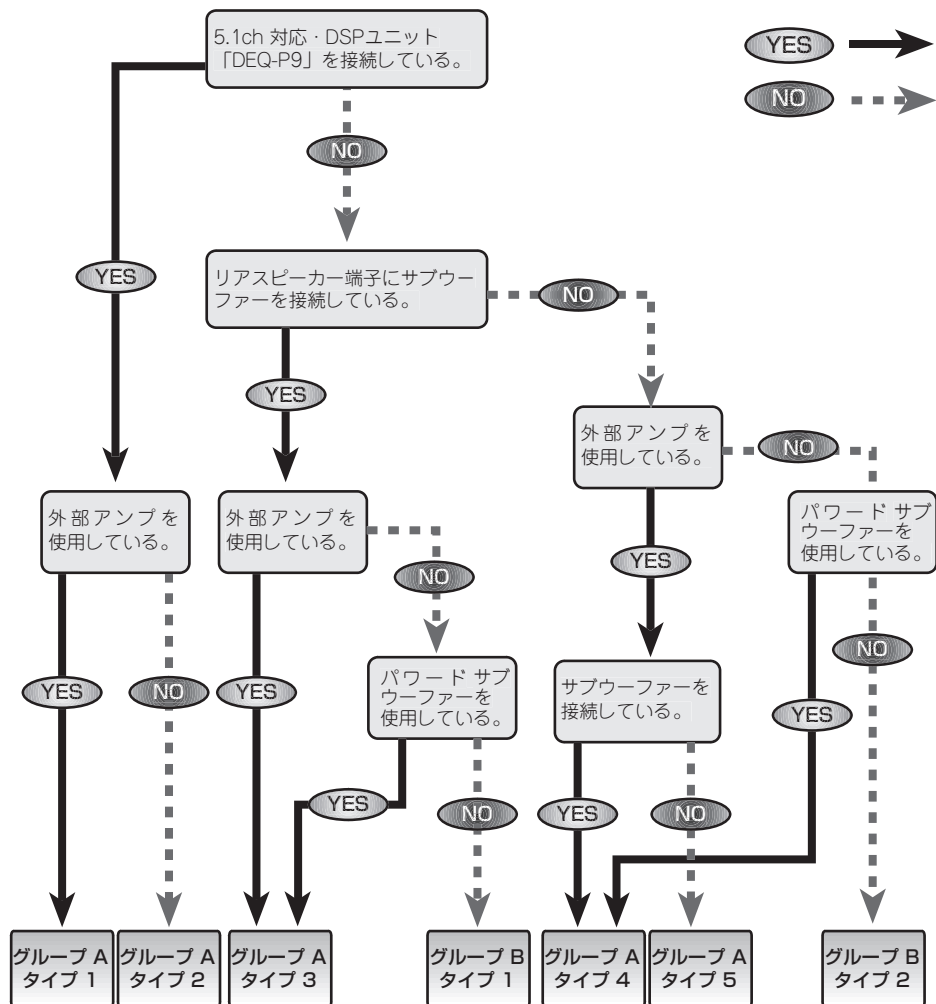
別売のナビゲーションユニットを組み合わせた場合

- 本機に付属のリモコンでは、ナビゲーションユニット（例：「AVIC-DR11」）は操作できません。ナビゲーションユニットは本体ボタン、またはナビゲーションユニットに付属のリモコンで操作してください。

サブウーファーの設定について

本機にサブウーファーを組み合わせている場合、本機を使ってサブウーファーの設定ができます。

サブウーファーの接続方法やシステムによって、サブウーファーの設定方法は大きく異なります。次の表に従い、お手持ちのシステムに合わせて、サブウーファーを正しく設定してください。






グループ A




ご注意

- 入力レベルコントロール付きパワーアンプを接続している場合は、入力レベルコントロールを「推奨位置」に設定する。
- ローパスフィルター付きパワーアンプの場合は、ローパスフィルターをOFFに設定する。
- パワードサブウーファーの場合は、遮断周波数を最高値に設定する。




タイプ 1

1. リスニングポジションをFRT-LまたはFRT-Rに設定する
( 別売DSP ⑤ 121 ページ)
2. スピーカー設定モードで、スピーカ-の有無を設定する（サブウーファーはONに設定）
( 別売DSP ⑥ 131 ページ)
3. オート TA & EQを行う
( 別売DSP ⑥ 129 ページ)
4. 微調整が必要な場合は、各メニューで微調整を行う





タイプ 2

1. リスニングポジションをFRT-LまたはFRT-Rに設定する
( 別売DSP ⑤ 121 ページ)
2. スピーカー設定モードで、スピーカ-の有無を設定する（サブウーファーはOFFに設定）
( 別売DSP ⑥ 131 ページ)
3. オート TA & EQを行う
( 別売DSP ⑥ 129 ページ)
4. 微調整が必要な場合は、各メニューで微調整を行う




タイプ 3

1. 初期設定メニューで、リアスピーカ-出力の設定をR-SP S/Wにする
( 初期設定 ⑥ 153 ページ)
2. オーディオ調節メニューで、SUB.WをONにする
( 音の調節 ⑨ 115 ページ)
3. 微調整が必要な場合は、各メニューで微調整を行う
( 音の調節 ① 110 ページ)

タイプ 4




1. 初期設定メニューで、リアスピーカ-出力の設定をR-SP FULLにする
( 初期設定 ⑥ 153 ページ)
2. 初期設定メニューで、RCA出力設定をP/O S/Wにする
( 初期設定 ⑦ 153 ページ)
3. オーディオ調節メニューで、SUB.WをONにする
( 音の調節 ⑨ 115 ページ)
4. 微調整が必要な場合は、各メニューで微調整を行う
( 音の調節 ① 110 ページ)

タイプ 5




1. 初期設定メニューで、リアスピーカ-出力の設定をR-SP FULLにする
( 初期設定 ⑥ 153 ページ)
2. 初期設定メニューで、RCA出力設定をP/O FULLにする
( 初期設定 ⑦ 153 ページ)
3. オーディオ調節メニューで、SUB.WをOFFにする
( 音の調節 ⑨ 115 ページ)

グループ B

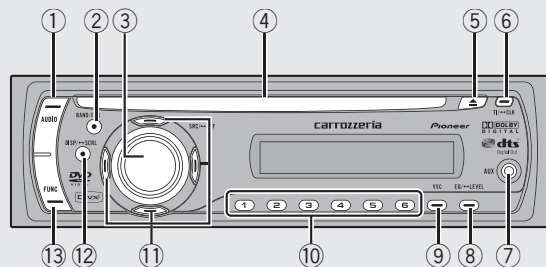
タイプ 1

1. 初期設定メニューで、リアスピーカ-出力の設定をR-SP S/Wにする
( 初期設定 ⑥ 153 ページ)
2. オーディオ調節メニューで、SUB.WをONにする
( 音の調節 ⑨ 115 ページ)
3. 微調整が必要な場合は、各メニューで微調整を行う
( 音の調節 ① 110 ページ)

タイプ 2

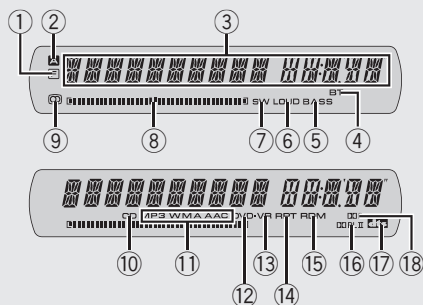
1. 初期設定メニューで、リアスピーカ-出力の設定をR-SP FULLにする
( 初期設定 ⑥ 153 ページ)
2. 初期設定メニューで、RCA出力設定をP/O FULLにする
( 初期設定 ⑦ 153 ページ)
3. オーディオ調節メニューで、SUB.WをOFFにする
( 音の調節 ⑨ 115 ページ)

本体



- ① AUDIO ボタン
- ② BAND ボタン
- ③ VOLUME / SOURCE ボタン
- ④ ディスク挿入口
- ⑤ EJECT ボタン
- ⑥ TI ボタン
- ⑦ AUX 1 入力端子 (3.5 mm)
- ⑧ EQ ボタン
- ⑨ VSC ボタン
- ⑩ 1 ~ 6 ボタン
- ⑪ ▲ / ▼ / ◀ / ▶ ボタン
- ⑫ DISP (DISPLAY) ボタン
- ⑬ FUNCTION ボタン

ディスプレイ



① ファンクションインジケータ

ファンクションメニューを操作しているときに点灯します。

② オーディオインジケータ

オーディオ設定、DSP オーディオ設定中（別売の5.1ch対応・DSPユニット「DEQ-P9」を接続したとき）に点灯します。

③ メイン表示部

チャプター番号や再生経過時間など、再生中のディスクの情報（内蔵プレーヤー）、バンドと周波数（ラジオ）、各種設定内容などを表示します。

④ BT インジケータ

別売のBluetoothアダプターを使って、携帯電話やポータブルオーディオ機器を接続したとき表示します。

⑤ BASS インジケータ

パスブスターがONのときに点灯します。

⑥ LOUD インジケータ

ラウドネスがONのときに点灯します。

⑦ SW インジケータ

サブウーファースの設定がONのときに点灯します。

⑧ レベルインジケータ

レベルインジケータを表示します。

⑨ ステレオインジケータ

ステレオ放送受信中に点灯します。（ラジオ）
〔 〕は音声多重放送受信中に点灯します。（別売のテレビを接続したとき）

⑩ CD インジケータ

CDメディア（CD/CD-R/CD-RWなど）を再生中に点灯します。

⑪ MP3/WMA/AAC インジケータ

MP3/WMA/AACファイルを再生中に点灯します。再生中のファイル形式に対応したインジケータが点灯します。

⑫ DVD インジケータ

DVDメディア（DVD/DVD-R/DVD-RWなど）を再生中に点灯します。

⑬ DVD-VR インジケータ

DVD-VRを再生中に点灯します。

⑭ RPT インジケータ

リピート再生時に点灯します。

⑮ RDM インジケータ

ランダム再生時に点灯します。

⑯ PL II インジケータ

ドルビープロロジックIIの設定がONのときに点灯します。（別売の5.1ch対応・DSPユニット「DEQ-P9」を接続したとき）

⑰ DTS インジケータ

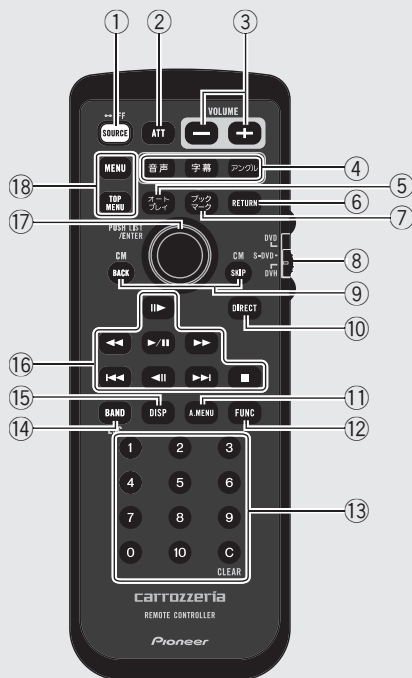
DTS対応のディスクを再生時に点灯します。（別売の5.1ch対応・DSPユニット「DEQ-P9」を接続したとき）



























⑱ D インジケータ

ドルビーデジタル対応のディスクを再生時に点灯します。（別売の5.1ch対応・DSPユニット「DEQ-P9」を接続したとき）

リモコン

本体と同じなまえのボタンは、本体のボタンと同じ働きをします。



- ①  (SOURCE) ボタン
- ②  (ATT) ボタン (E38 156 ページ)
- ③  (VOLUME) ボタン
(E38 25 ページ)
- ④  (音声) ボタン
 (字幕) ボタン
 (アングル) ボタン
- ⑤  (オートプレイ) ボタン (E38 39 ページ)
- ⑥  (RETURN) ボタン
- ⑦  (ブックマーク) ボタン (E38 38 ページ)
- ⑧ 操作モード切り換えスイッチ
(E38 16 ページ)
- ⑨  /  (CM BACK / CM SKIP) ボタン
- ⑩  (DIRECT) ボタン
- ⑪  (A.MENU) ボタン
- ⑫  (FUNCTION) ボタン
- ⑬  ~  (数字) ボタン
 (CLEAR) ボタン
- ⑭  (BAND) ボタン
- ⑮  (DISPLAY) ボタン
- ⑯  (再生 / 一時停止) ボタン
 (早戻し / 早送り) ボタン
 (スキップ) ボタン
 (コマ送り) ボタン
 (停止) ボタン
- ⑰ ジョイスティック
- ⑱  (MENU) ボタン
 (TOP MENU) ボタン



操作モードによって機能が異なるボタン

 (ブックマーク) ボタン

DVHモードのときは、ソースごとにあらかじめ登録されている機能 (ポーズやBSMなど) を直接操作できます。

(E38 便利な機能 ⑧ 157 ページ)

⑩ ~ ⑩ (数字) ボタン

DVHモードのとき：
本体の1~6ボタンと同様の操作ができます。
DVD / S-DVDモードのとき：
ビデオCDのメニューを選ぶことができます。

 (BAND) ボタン

DVHモードのとき：
本体のBANDボタンと同様の操作ができます。
DVD / S-DVDモードのとき：
WMA / MP3 / AACファイルおよび音楽データとDivXファイルが混在しているディスクを切り換えて再生できます。

ジョイスティックの上下左右の操作




DVHモードのとき：
本体の▲ / ▼ / ◀ / ▶ ボタンと同様の操作ができます。
DVD / S-DVDモードのとき：
DVDメニューの項目を選択できます。

ジョイスティックの中心を押す

DVHモードのとき：
内蔵プレーヤー (DVD-VR、DivX、CD-TEXT、CD-ROM)、iPod、USBのリスト画面を表示します。(別売のモニターを接続したとき)
DVD / S-DVDモードのとき：
DVDメニューの項目を決定できます。



ご注意

- DVD / S-DVDモードのときは、 (DIRECT) ボタンは使えません。
- DVHモードのときは、 (停止) ボタン、 (10) ボタンは使えません。

ここだけで 1 基本的な操作 (1)

1 電源を ON にする

SOURCE ボタンを押す

本機の電源が ON になります。

2 ソースを切り換える

SOURCE ボタンを押す

SOURCE ボタンを押すごとに、次の順序でソースが切り換わります。

TUNER (ラジオ・FM/AM)



TELEVISION (テレビ) (別売)



AV (AV) (別売)



DVD (内蔵プレーヤー)



S-DVD
(1枚型/マルチDVDプレーヤー) (別売)



MULTI CD (マルチCD) (別売)



IPOD (iPod) (別売)



USB (USB) (別売)



EXTERNAL (エクスターナルユニット 1)



EXTERNAL (エクスターナルユニット 2)



AUX 1 (外部機器 1)



AUX 2 (外部機器 2)



BLUETOOTH (Bluetooth) (別売)



TUNER に戻る

3 音量を調節する

VOLUME を回す

大きくするとき：右に回す

小さくするとき：左に回す

4秒間、音量が表示されます。

4 電源を切る

SOURCE ボタンを長く押す

本機の電源が切れます。



EXTERNAL (エクスターナルユニット) とは

- 本機にソースとして認識されないパイオニア製品 (将来発売される製品など) を、エクスターナルユニットと呼びます。本機は、エクスターナルユニットを計2台まで接続してコントロールできます。2台のエクスターナルユニットを接続した場合、それぞれのユニットはEXTERNAL1、EXTERNAL2ソースとして自動的に認識されます。表示は、どちらを選んだ場合も「EXTERNAL」になります。



知っていると便利

- リモコンの(+) / (-) ボタンを押して音量を調節することもできます。



メモ

- 接続していないソースには切り換わりません。
- 音量の調節範囲は0~62です。
- ディスクをディスク挿入口に差し込んだときも、電源がONになります。
- ディスクがセットされていないときは、そのソースには切り換わりません。
- AUX (外部機器) の設定 (※ 初期設定 ③ 149 ページ) をしないとAUXには切り換わりません。
- AUX1は初期設定では「AUDIO」に設定されています。使用しない場合は「OFF」に設定してください。(※ 初期設定 ③ 149 ページ)
- 本機の青リード線 (アンテナコントロール) に車側のオートアンテナコントロール端子を接続している場合、ソースをラジオにすると車に装備されているオートアンテナがのびます。
- 時計を表示させている場合、電源をOFFにしても時計は表示されます。

テレビ、1枚型DVD、マルチDVDを接続したときは

操作のしかたは、それぞれの取扱説明書もご覧ください。

テレビ (例: 「AVX-P7」) や1枚型DVD (例: 「SDV-P7」)、マルチDVD (例: 「XDV-P70」) などの取扱説明書では、本機以外の製品を例にして、操作を説明している場合があります。その製品と対応しているボタンで操作します。

Bluetoothアダプターを接続したときは

操作のしかたは、組み合わせたBluetoothアダプター (例: 「CD-BTB10」) の取扱説明書をご覧ください。(本機は「メインユニット1」に相当します)



メモ

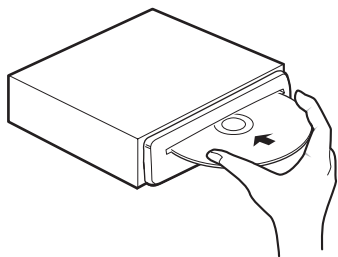
- 電話を切ったときは、前のソースに切り換わりません。
- 電話がかかってきたときは、BANDボタンを押してもTELとBT AUDIOを切り換えることはできません。

ここだけで **2** 基本的な操作 (2)

ディスクをセットする/ディスクを取り出す

1 ディスクをセットする

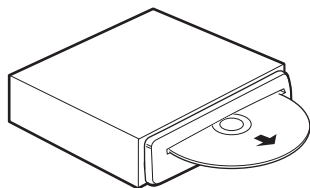
ディスク挿入口に差し込む



2 ディスクを取り出す

▲ ボタンを押す

ディスクが出てきて、自動的に電源OFFになります。



メモ

- ディスクをセットしたまま、電源をOFFにしたり他のソースに切り換えることができます。
- 電源がOFFのときでも、EJECTボタンを押してディスクを取り出すことができます。
- ディスクを挿入すると、本機はディスクからファイル形式などの情報を読みとります。この間、画面には「FRMT READ」と表示されます。
- ブックマーク機能でお気に入りの場面を登録している場合、その場面から再生を開始します。
(※ DVD ⑭ 38ページ)
- オートプレイをONに設定している場合、数字の若いタイトルから自動的に再生を開始します。
(※ DVD ⑮ 39ページ)

ご注意

- ディスクはタイトル面を上にして差し込みます。
- ディスク挿入口には、本機に対応したディスク以外のものを入れないでください。故障の原因となります。
- CDシングル (8 cm CD) もアダプターなしで再生できます。アダプターは絶対に使用しないでください。
- 出てきたディスクはすぐに取り出して保管してください。ディスク挿入口からディスクを出したまま走行すると危険です。

1 ソースをDVD (内蔵プレーヤー) に切り換える

SOURCE ボタンを押す
(※ ここだけで ① 24 ページ)



メモ

- メニュー画面付きのDVDの再生を開始すると、メニュー画面が表示されます。この場合は、リモコンのジョイスティック (DVDモード) で再生を開始してください。

(※ DVD ① 32 ページ)

2 再生したいタイトルを選ぶ

▲ または ▼ ボタンを押す

次のタイトルを選ぶとき : ▲ を押す
前のタイトルを選ぶとき : ▼ を押す

3 再生したいチャプターを選ぶ (または早送り/早戻し)

◀ または ▶ ボタンを押す

次のチャプターを選ぶ : ▶ を押す

前のチャプターを選ぶ : ◀ を押す

早送り : ▶ を0.5秒以上押す

早戻し : ◀ を0.5秒以上押す

◀ または ▶ ボタンを5秒以上押すと、ボタンから手を離しても早送り/早戻しが継続されます。見たい場所ではリモコンの ボタンを押すと、その場所から再生されます。



ご注意

- ディスクによっては、早送り/早戻しできない場所があり、その場所にくると自動的に通常再生に切り換わります。

4 ディスクの再生をやめる

他のソースに切り換えるか、ディスクを取り出して電源OFFにしてください。

(※ ここだけで ① 24 ページ)

(※ ここだけで ② 26 ページ)



知っている则便利

- リモコン (DVHモード) のジョイスティックを上下左右に操作しても、▲ / ▼ / ◀ / ▶ ボタンと同様の操作をすることができます。

ここだけで

4

内蔵プレーヤーのふだんの操作 (ビデオ CD)

ビデオ CD を再生する / トラックを選ぶ / 早送り・早戻し

1 ソースを DVD (内蔵プレーヤー) に切り換える

SOURCE ボタンを押す

(※ ここだけで ① 24 ページ)



メモ

- プレイバックコントロール (PBC) 機能付きビデオ CD の再生を開始すると、画面上に「PBC」と表示されます。
- プレイバックコントロール (PBC) 機能付きビデオ CD の再生中に、メニュー画面が表示された場合は、リモコンの ① ~ ⑩ ボタンで再生を開始してください (※ **ビデオ CD ② 46 ページ**)。



ご注意

- 本機では、プレイバックコントロール (PBC) 機能付きビデオ CD を再生している場合、PBC を解除できません。

2 再生したいトラックを選ぶ (または早送り / 早戻し)

◀ または ▶ ボタンを押す

次のトラックを選ぶ : ▶ を押す

前のトラックを選ぶ : ◀ を押す

早送り : ▶ を 0.5 秒以上押す

早戻し : ◀ を 0.5 秒以上押す

◀ または ▶ ボタンを 5 秒以上押すと、ボタンから手を離しても早送り / 早戻しが継続されます。見たい場所でリモコンの (◀▶) ボタンを押すと、その場所から再生されます。



メモ

- ディスクによっては、早送り / 早戻しできない場所があり、その場所になると自動的に通常再生に切り換わります。

3 ディスクの再生をやめる

他のソースに切り換えるか、ディスクを取り出して電源 OFF にしてください。

(※ ここだけで ① 24 ページ)

(※ ここだけで ② 26 ページ)



知っていると便利

- リモコン (DVH モード) のジョイスティックを上下左右に操作しても、▲ / ▼ / ◀ / ▶ ボタンと同様の操作をすることができます。


1 ソースを DVD (内蔵プレーヤー) に切り換える

SOURCE ボタンを押す
 (☞ ここだけで ① 24 ページ)

2 フォルダーを選ぶ

▲ または ▼ ボタンを押す
 次のフォルダーを選ぶとき : ▲ を押す
 前のフォルダーを選ぶとき : ▼ を押す

3 再生したいファイルを選ぶ (または早送り/早戻し)

◀ または ▶ ボタンを押す
 次のファイルを選ぶ : ▶ を押す
 前のファイルを選ぶ : ◀ を押す
 早送り : ▶ を 0.5 秒以上押す
 早戻し : ◀ を 0.5 秒以上押す
 ◀ または ▶ ボタンを 5 秒以上押すと、ボタンから手を離しても早送り/早戻しが継続されます。見たい場所でリモコンの  ボタンを押すと、その場所から再生されます。

4 ディスクの再生をやめる

他のソースに切り換えるか、ディスクを取り出して電源 OFF にしてください。
 (☞ ここだけで ① 24 ページ)
 (☞ ここだけで ② 26 ページ)



知っていると便利

- DivX ファイル再生時は、BAND ボタンを長く押しと、フォルダー 01 (ROOT) に戻ります。ただし、フォルダー 01 (ROOT) にファイルがない場合は、次のフォルダーから再生が始まります。
- WMA / MP3 / AAC ファイル、音楽 CD のデータ、および DivX ファイルが混在しているディスクの場合、切り換えて再生できます。切り換えるときは、BAND ボタンを押します。再生は、それぞれ一番先頭のファイルから始まります。
- リモコン (DVH モード) のジョイスティックを上下左右に操作しても、▲ / ▼ / ◀ / ▶ ボタンと同様の操作をすることができます。

すぐに使えます
 じっくり読めます

ここだけで

6

内蔵プレーヤーのふだんの操作 (CD / CD-ROM)

ディスクを再生する / フォルダーを選ぶ / ファイルを選ぶ / 早送り・早戻し

1 ソースを DVD (内蔵プレーヤー) に切り換える

SOURCE ボタンを押す

(☞ ここだけで ① 24 ページ)

2 フォルダーを選ぶ (CD-ROM 再生時)

▲ または ▼ ボタンを押す

次のフォルダーを選ぶとき : ▲ を押す

前のフォルダーを選ぶとき : ▼ を押す

3 曲を選ぶ (または早送り / 早戻しする)

◀ または ▶ ボタンを押す

次のファイルを選ぶ : ▶ を押す

前のファイルを選ぶ : ◀ を押す

早送り : ▶ を 0.5 秒以上押す

早戻し : ◀ を 0.5 秒以上押す

4 ディスクの再生をやめる

他のソースに切り換えるか、ディスクを取り出して電源 OFF にしてください。

(☞ ここだけで ① 24 ページ)

(☞ ここだけで ② 26 ページ)



ご注意

- 選曲方法をラフサーチに設定した場合は、10 曲飛びに選曲されます。(☞ CD ⑦ 75 ページ)



知っていると便利

- WMA / MP3 / AAC 再生時は、BAND ボタンを長く押すと、フォルダー 01 (ROOT) に戻ります。ただし、フォルダー 01 (ROOT) にファイルがない場合は、次のフォルダーから再生が始まります。
- WMA / MP3 / AAC ファイル、音楽 CD のデータ、および DivX ファイルが混在しているディスクの場合、切り換えて再生できます。切り換えるときは、BAND ボタンを押します。再生は、それぞれ一番先頭のファイルから始まります。



メモ

- CD のタイトルを入力して、本機に登録できます (☞ CD ⑥ 66 ページ)。登録したタイトルは、本機のディスプレイに表示できます (☞ CD ⑦ 67 ページ)。表示を切り換えている場合は、ディスクを挿入したときや、他のソースから内蔵プレーヤーに切り換えたときなどに、タイトルを自動的にスクロール表示します。
- WMA / MP3 / AAC ファイルを早送り / 早戻ししているときには、音声は出力されません。
- VBR (可変ビットレート) で録音された WMA / MP3 / AAC ファイルを早送り / 早戻しすると、再生経過時間が正しく表示されないことがあります。

1 ソースをラジオにする

SOURCE ボタンを押す
(☞ ここだけで ① 24 ページ)

2 バンドを選ぶ

BAND ボタンを押す

BAND ボタンを押すごとに、次の順序でバンドが切り換わります。

FM1



FM2



AM1



AM2



FM1に戻る

3 放送局を選ぶ

◀ または ▶ ボタンを押す

■ 手動で選ぶとき (手動選局)

高い周波数の放送局を選ぶ:

▶ ボタンを押す

低い周波数の放送局を選ぶ:

◀ ボタンを押す

■ 自動で選ぶとき (自動選局)

高い周波数の放送局を自動で選ぶ:

▶ ボタンを長く押す

低い周波数の放送局を自動で選ぶ:

◀ ボタンを長く押す

4 他のソースに切り換えるか、電源をオフにする

ラジオの受信が終わります



知っていると便利

- バンドごとに放送局を6局ずつ登録できます。
- ◀ または ▶ ボタンを左右に操作している間、途中の放送局を飛ばすことができます。離れたところから自動選局を開始します。
- 電波の強い放送局を選局するには自動選局を、電波の弱い放送局を選局するには手動選局をおすすめします。
- 本機には、あらかじめ放送局名が登録されています。ディスプレイに表示されている放送局名と受信している放送局名が異なるときは、受信している放送局名に変更することができます (☞ ラジオ ⑤ 80 ページ)。
- リモコン (DVHモード) のジョイスティックを上下左右に操作しても、▲ / ▼ / ◀ / ▶ ボタンと同様の操作をすることができます。

ここだけ読めば
すぐ使えます

DVD
1

ディスクを再生する


リモコンでの操作 **DVD** **DVH**

リモコンを使ってディスクを再生します。

1 ディスクを再生する

 ボタンを押す

▶ (再生マーク) が約4秒間表示され、ディスクが再生されます

再生中に、 ボタンを押すと、一時停止します。

メモ

- すでにDVDを使用していた場合は、前回の続きから再生されます。ディスクによっては、メニュー画面が表示され、前回の続きから再生できないものもあります。

DVD
2

メニュー画面の操作



リモコンでの操作 **DVD**

DVD-videoの機能です。

リモコンを使ってメニュー画面でメニューを選べます。



メニュー画面を表示するには

- 再生中に  ボタンまたは  ボタンを押すことで、メニュー画面を表示することができます。もう一度押すと、メニュー画面に切り換えた場面から再生することができます。詳しくは、ディスクに添付されている説明書をご覧ください。

1 メニューを選ぶ

ジョイスティックを操作する

2 選んだメニューを再生する

ジョイスティックを押す



メモ

- メニュー表示や操作方法は、ディスクによって異なります。

リモコンでの操作 **DVD DVH**

リモコンを使ってCHAPTERを進めたり戻したりできます。

次のCHAPTERへ進む

1 CHAPTERを進める

再生中に**▶▶** ボタンを押す

CHAPTERナンバーが約8秒間表示され、次のCHAPTERに進みます。

前のCHAPTERへ戻る

1 CHAPTERを戻す

再生中に**◀◀** ボタンを押す

CHAPTERナンバーが約8秒間表示され、再生中のCHAPTERの先頭に戻ります。



メモ

- 連続して二度操作すると、1つ前のCHAPTERの初めに戻ります。

リモコンでの操作 **DVH**

リモコンを使ってCHAPTERを直接選べます。

1 CHAPTER番号入力画面を表示する

DIRECT ボタンを押す

2 見たいCHAPTERの番号を選ぶ

CHAPTER番号の①～⑩ ボタンを押す

3を選ぶには、③のボタンを押します。

10を選ぶには、①、⑩と押します。

◎ ボタンを押すと、入力した番号が消えます。

3 選んだCHAPTERを再生する

もう一度**DIRECT** ボタンを押す



メモ

- CHAPTER番号入力を解除するには、**BAND** ボタンを押します。(約8秒間、何も操作しなかったときも、自動的に解除されます。)

DVD
5

タイトルを指定する

リモコンでの操作 **DVD**

リモコンを使ってタイトルを選べます。

1 タイトルを指定する

タイトル番号の ① ~ ⑩ ボタンを押す

3を選ぶには、③のボタンを押します。

10を選ぶには、⑩、①と押します。

23を選ぶには、⑩、⑩、③の順に押します。

DVD
6

早送り／早戻しする

リモコンでの操作 **DVD** **DVH**

リモコンを使って早送り/早戻しできます。

早送り

1 ディスクを早送りする

再生中に **▶▶** ボタンを押し続ける押している間、**▶▶** (早送りマーク) が表示され、ディスクが早送りされます。

2 見たい場面を再生する

▶ ボタンを離す

早戻し

1 ディスクを早戻しする

再生中に **◀◀** ボタンを押し続ける

2 見たい場面を再生する

◀ ボタンを離す

メモ

- **▶▶** / **◀◀** ボタンを5秒以上押し続けると、**▶▶** (早送りマーク) / **◀◀** (早戻しマーク) の表示が反転し、ボタンから手を離しても早送り/早戻しが継続されます。見たい場所で **▶** ボタンを押すと、その場所から再生されます。
- ディスクによっては、早送り/早戻しできない場所があり、その場所にくると自動的に通常再生に切り換わります。

リモコンでの操作 **DVD**

ディスクの再生を停止できます。

1 ディスクを停止する

□ ボタンを押す

■ (停止マーク) が表示され、ディスク再生が停止します。



メモ

- □ ボタンで再生を停止したDVDは、停止した場所を登録します。次に再生したときは、登録された場所から再生を開始します。


リモコンでの操作 **DVD DVH**

再生中の映像を一時停止して、静止画として見ることができます。

1 映像を一時停止する


再生中に  ボタンを押す

|| (静止マーク) が表示され、映像が一時停止します。

通常の再生に戻るには、 ボタンを押します。



メモ

- 静止画再生中に音声を聞くことはできません。
- ディスクまたは再生位置によっては、 (禁止マーク) が表示され、静止画再生ができないことがあります。

DVD
9

コマ送り再生をする


リモコンでの操作 **DVD**

再生中の映像を1コマずつ止めながら、進めて見ることができます。

1 コマ送り再生をする



再生中に  ボタンを押す

ボタンを押すごとに、映像が1コマ送られます。

通常の再生に戻るには、 ボタンを押します。



メモ

- コマ送り再生中に音声を聞くことはできません。
- ディスクまたは再生位置によっては、 (禁止マーク) が表示され、コマ送り再生ができないことがあります。
- ディスクによっては、コマ送り時に映像が乱れることがあります。
- コマ戻しはできません。
- DVD-VR disc に収録された静止画像を表示中に  ボタンを押すと、次の静止画像または映像に切り換わります。

DVD
10


スロー再生をする


リモコンでの操作 **DVD**



再生のスピードを遅くして見るができます。

1 スロー再生をする

再生中に  ボタンを1秒以上押す

 (スロー再生マーク) が表示され、映像がスローで再生されます。

通常の再生に戻るには、 ボタンを押します。


スロー再生中に、 または  ボタンを押すと、スロー再生の速度を変更することができます。

ボタンを押すごとに、次の順で速度が切り換わります。

1/2 ↔ 1/4 ↔ 1/8 ↔ 1/16



メモ

- スロー再生中に音声を聞くことはできません。
- ディスクまたは再生位置によっては、 (禁止マーク) が表示され、スロー再生ができないことがあります。
- ディスクによっては、スロー再生時、映像が乱れることがあります。
- 戻り方向のスロー再生はできません。

リモコンでの操作 **DVD DVH**

言語や音声タイプ（ドルビーデジタルやDTSなど）の違いで複数の音声が入録されているDVDでは、再生中に音声を切り換えることができます。

1 音声選択マークを表示する

再生中に **音声** ボタンを押す

音声選択マーク（♪）が約8秒間表示されます。


2 音声を切り換える

音声選択マークが表示されている間に

音声 ボタンを押す

ボタンを押すごとに、音声が切り換わります。

 メモ

- この機能は、音声が入録されている場合だけ有効です。
- DVDのパッケージに付いている  マークの数字が、入録音声の数を表しています。
- ディスクによっては、DVDに入録されているメニュー画面でしか切り換えることができない場合があります。
- 音声言語の切り換えはDVD設定でも行うことができます。詳しくは、「基本音声を設定する」(DVD設定 ④ 142 ページ) をご覧ください。
- DTS音声は、デジタル出力だけに対応していません。本機の光デジタル出力を接続していないとき、DTS音声は出力されません。この場合は、DTS以外の音声を選んでください。
- “Dolby D” や “5.1ch” などの表示は、DVDに入録されている音声の内容を表示しています。実際に再生される音声は、設定により表示とは異なる場合があります。

リモコンでの操作 **DVD DVH**

複数の字幕が入録されているDVDでは、再生中に字幕を切り換えることができます。

1 字幕選択マークを表示する。

再生中に **字幕** ボタンを押す

字幕選択マーク（☐）が約8秒間表示されます。


2 音声言語を切り換える

字幕選択マークが表示されている間に

字幕 ボタンを押す

ボタンを押すごとに、字幕が切り換わります。

 メモ

- この機能は、字幕が複数入録されている場合だけ有効です。
- DVDのパッケージに付いている  マークの数字が、入録字幕の数を表しています。
- ディスクによっては、DVDに入録されているメニュー画面でしか切り換えることができない場合があります。
- 字幕の切り換えはDVD設定でも行うことができます。詳しくは、「基本字幕を設定する」(DVD設定 ④ 141 ページ) をご覧ください。

DVD
13再生中にアングルを
切り換える

マルチアングル


リモコンでの操作 **DVD** **DVH**

DVD-videoの機能です。


複数の角度(アングル)から撮影した映像が収録されているDVDでは、再生中にアングルを切り換えることができます。



アングル切り換えができる場面について

- 本機では、複数のアングルが収録されている場面を再生すると、画面左下に  (マルチアングルマーク) を表示して知らせます。
- マルチアングルマーク表示のON/OFFは、内蔵プレーヤーの初期設定で行います。詳しくは、「マルチアングルマーク表示を設定する」(E38 DVD設定 ⑥ 143ページ)をご覧ください。

1 マルチアングルマークを表示
する再生中に  ボタンを押す

マルチアングルマーク()と現在のアングル番号が約8秒間表示されます。



2 アングルを切り換える

マルチアングルマークとアングル番号が表示されている間に  ボタンを押す

ボタンを押すごとに、アングルが切り換わります。



メモ

- この機能は、アングルが複数収録されている場合だけ有効です。
- ディスクのパッケージにある  1 マークの数字が、アングルの数を表しています。
- 早送り/早戻し中、スロー再生中、一時停止中に  ボタンを押すと、早送り/早戻し、スロー再生、または一時停止を解除して通常再生に戻りますが、アングルは切り換わりません。

DVD
14お気に入りの場면을
登録する

ブックマーク

リモコンでの操作 **DVD**

DVD-videoの機能です。

お気に入りの場면을本機に登録して、次に再生するときはその場面から再生することができます。

お気に入りの場면을登録する



本機に登録できる場面の数について



- 本機に登録できる場面の数は1枚のディスクにつき1場面です。5枚を超えるディスクでお気に入りの場면을登録した場合、いちばん古いディスクの登録内容が消されて、新しいディスクの場면을登録します。

1 お気に入りの場면을
登録する再生中に  ボタンを押す

登録したい場面でブックマークボタンを押すと、次に再生をするときに続きから再生を開始します。



メモ

-  ボタンで登録した場면을消去する場合、消去したい場面を含むディスクを再生しているときに、  ボタンを2秒以上押してください。

再生を中断した場면을登録する

1 再生を中断した場면을
登録する

再生中に本体の  ボタンを2秒以上押し、ディスクを取り出す

再生が中断され、ディスクが出てきます。

再生を中断したときの場面が本機に登録され、次に再生するときには続きから再生を開始します。



メモ

- EJECTボタンで登録した場면을消去する場合、消去したい場面を含むディスクを再生しているときに、EJECTボタンを押してください。

DVD
15

オートプレイを 設定する

オートプレイ

リモコンでの操作 **DVD**

DVD-videoの機能です。

DVDディスク挿入と同時に、数字の若いタイトルから自動的に再生を開始するかどうかを設定します。

1 オートプレイをONにする

ボタンを押す

「A.PLAY ON」と表示されオートプレイの設定がONになります。

もう一度押すと、OFFになります。



メモ

- ディスクによっては、オートプレイをONにしても、期待通りの動作ができない場合があります。このような場合は、オートプレイをOFFにしてください。
- オートプレイがONのときは、リピート再生ができません。(※ DVD ④ 42ページ)

DVD
16

CMを飛ばして 再生をする

CMスキップ/CMバック

リモコンでの操作 **DVD** **DVH**

再生中の映像を、一定の秒数だけスキップします。

1 CMスキップ/CMバックする 秒数を選ぶ

再生中に / ボタンを押す

ボタンを押すごとに、スキップする秒数を選べます。

■ CMスキップ

「30秒」 → 「1分」 → 「1分30秒」
→ 「2分」 → 「3分」 → 「5分」
→ 「10分」 → 「0秒」

■ CMバック

「5秒」 → 「15秒」 → 「30秒」
→ 「1分」 → 「2分」 → 「3分」
→ 「0秒」

2 CMスキップ/CMバックする

選んだ秒数を2秒間表示させる

選んだ秒数を2秒間表示させ、映像をスキップします。

DVD
17**指定された場面に戻る**リモコンでの操作 **DVH**

DVD-videoの機能です。

DVDであらかじめ指定されている場面に戻ることができます。

**ご注意**

- 戻るシーンが指定されていないDVDでは、この機能は無効です。

1

指定されている場面に戻す**RETURN** ボタンを押すDVD
18**タイトル名を見て再生
したいタイトルをさがす**

タイトルリスト表示

リモコンでの操作 **DVH**

DVD-VR discの機能です。

複数のタイトルの一覧（タイトルリスト）を見ながら、再生したいタイトルを選べます。タイトルリストは、別売のモニターに表示されます。オリジナルモードとプレイリストモードのそれぞれで操作できます。

1

タイトルリストを表示する

ジョイスティックを押す

2

再生したいタイトルを選ぶ

ジョイスティックを上下に操作する

上下に操作するごとにタイトルが切り換わります。

3

選んだタイトルを再生する

ジョイスティックを押す

選んだタイトルが再生されます。

ジョイスティックを右に操作しても、選んだタイトルが再生されます。

4

再生画面に戻す**BAND** ボタンを押す**メモ**

- 文字表示は、ひらがなや漢字などにも対応しています。
- 本機のディスプレイには「LIST」が常に表示されています。
- ファンクションメニューからも、タイトルリストが表示できます。(※ **DVD** 43ページ)
- 本機の **▲** / **▼** / **▶** ボタンを押しても、同様の操作ができます。

**ご注意**

- リスト画面の文字表示は、スクロールしません。

「繰り返し再生する」などの便利な機能を使うときは、ファンクションメニューで機能を選んで操作します。

(画面例)



使いたい機能を選ぶ

1 ファンクションメニューにする

FUNCTION ボタンを押す

2 機能を切り換える

FUNCTION ボタンを押す

ボタンを押すごとに、次の順序で機能が切り換わります。

DVD-Video ディスク

REPEAT (再生範囲設定)

(※ DVD ㉔ 42 ページ)



LR SEL (音声出力設定)

(※ DVD ㉔ 42 ページ)



PAUSE (ポーズ設定)

(※ DVD ㉔ 43 ページ)



COMP (コンプレッション設定)

(※ DVD ㉔ 44 ページ)



REPEAT に戻る

DVD-VR ディスク

REPEAT (再生範囲設定)

(※ DVD ㉔ 42 ページ)



LR SEL (音声出力切換)

(※ DVD ㉔ 42 ページ)



PAUSE (ポーズ設定)

(※ DVD ㉔ 43 ページ)



LIST (タイトルリスト表示)

(※ DVD ㉔ 43 ページ)



COMP (コンプレッション設定)

(※ DVD ㉔ 44 ページ)



PLAYLIST (再生モード設定)

(※ DVD ㉔ 44 ページ)



REPEAT に戻る



メモ

- ふだんの再生画面に戻るときは、BAND ボタンを押します。(約30秒間、何も操作しなかったときも、自動的に解除されます。)

DVD
20

繰り返し再生する

再生範囲設定

繰り返し再生する範囲を設定できます。



設定の内容

ディスクリピート：

再生中のディスクを繰り返し再生します。

チャプターリピート：

再生中のチャプターを繰り返し再生します。

タイトルリピート：

再生中のタイトルを繰り返し再生します。

1 再生範囲設定にする

FUNCTION ボタンを押して、
「REPEAT」を選ぶ

2 設定を切り換える

◀または▶ ボタンを押す

ボタンを押すごとに、次の順序で再生範囲が切り換わります。

DSC (ディスクリピート)



CPT (チャプターリピート)



TTL (タイトルリピート)

3 ふだんの再生画面に戻す

BAND ボタンを押す



メモ

- ディスクリピートで、ディスクの最後まで再生した場合、メニューを表示または再生を停止します。
- DVD オートプレイ (DVD 39 ページ) がONに設定されている場合、リピート再生はできません。

DVD
21

音声の出力方法を切り換える

音声出力設定

音声の出力方法をステレオまたはモノラルに切り換えることができます。



ご注意

- 音声 LPCM のときだけ、音声の出力方法を切り換えることができます。
- デジタル出力の設定で、LPCM に設定したときだけ、音声の出力方法を切り換えることができます。Dual Mono モードで記録された DVD video ディスクを再生するときは、デジタル出力の設定で LPCM に設定してください。(DVD 設定 147 ページ)

1 音声出力設定にする

FUNCTION ボタンを押して、
「LR SEL」を選ぶ

2 設定を切り換える

◀または▶ ボタンを押す

ボタンを押すごとに、次の順序で音声出力の設定が切り換わります。

L+R (ステレオ)



L (モノ左)



R (モノ右)



MIX (左右ミックス)

3 ふだんの再生画面に戻す

BAND ボタンを押す

ディスクの再生を一時停止できます。

1 ポーズ設定にする

FUNCTION ボタンを押して、
「PAUSE」を選ぶ

2 ポーズを ON にする

- ▲ ボタンを押す
- ▼ ボタンを押すと、OFF になります。

3 ふだんの再生画面に戻す

BAND ボタンを押す

DVD-VR disc の機能です。

複数のタイトルの一覧（タイトルリスト）を見ながら、再生したいタイトルを選べます。タイトルリストは、別売のモニターに表示されます。オリジナルモードとプレイリストモードのそれぞれで操作できます。

1 タイトルリストを表示する

FUNCTION ボタンを押して、
「LIST」を選ぶ

2 再生したいタイトルを選ぶ

- ▲ または ▼ ボタンを押す
- ボタンを押すごとにタイトルが切り換わります。

3 選んだタイトルを再生する

- ▶ ボタンを押す
- 選んだタイトルが再生されます。

4 ふだんの再生画面に戻す

BAND ボタンを押す



メモ

- 文字表示は、ひらがなや漢字などにも対応しています。
- 本機のディスプレイには「LIST」が常に表示されています。
- ジョイスティックを操作しても、タイトルリストを表示できます。(※DVD ⑩ 40 ページ)



ご注意

- リスト画面の文字表示は、スクロールしません。

DVD
24

音を聞きやすくする

コンプレッション設定

再生しているディスクの音質に簡単な補正を加え、より聞きやすい音に調節できます。



COMPとは

- COMPは、「Compression (コンプレッション)」の略です。大きな音と小さな音の音量差(ダイナミックレンジ)を小さくします。

1

コンプレッション設定にする

FUNCTION ボタンを押して、「COMP」を選ぶ

2

設定を切り換える

▲ または ▼ ボタンを押す

ボタンを押すごとに、次の順序で設定が切り換わります。

COMP 1
↓
COMP 2
↓
COMP OFF

3

ふだんの再生画面に戻す

BAND ボタンを押す



メモ

- COMP 1 より 2 の方が効果が大きくなります。

DVD
25

再生モードの切り換え

PLAYLIST

DVD-VR disc の機能です。

オリジナルモードまたは、プレイリストモードのどちらかを選んで再生できます。



ご注意

- プレイリストが作成されているディスクを再生したときだけ、再生モードの切り換え (PLAYLIST) が選べます。



プレイリストとは

- DVDレコーダーで作られたタイトルをオリジナルと呼びます。そして、オリジナルを元に編集用として作成したタイトルをプレイリストと呼びます。

1

再生モード設定にする

FUNCTION ボタンを押して、「PLAYLIST」を選ぶ

2

設定を切り換える

◀ または ▶ ボタンを押す

ボタンを押すごとに、次の順序で設定が切り換わります。

ORIGINAL (オリジナル)
↓
PLAYLIST (プレイリスト)

3

ふだんの再生画面に戻す

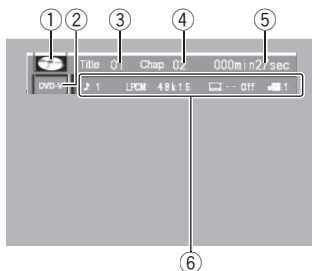
BAND ボタンを押す

フォルダー番号、再生経過時間など（情報画面）とタイトル（タイトル画面）を表示することができます。情報画面／タイトル画面は、別売のモニターに表示されます。

1 情報画面を表示する

DISP ボタンを押す

情報画面



2 画面を切り換える

DISP ボタンを押す

ボタンを押すごとに、次のように画面が切り換わります。

DVD-Video ディスク

情報画面 1



情報画面 2



表示 OFF



情報画面 1 に戻る

DVD-VR ディスク

情報画面 1



情報画面 2



タイトル画面

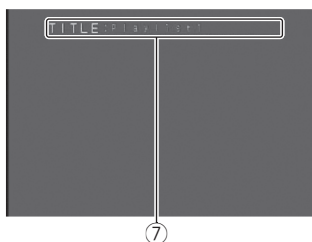


表示 OFF



情報画面 1 に戻る

タイトル画面



- ① ディスクの種類
- ② メディアの種類
- ③ タイトル番号
- ④ チャプター番号
- ⑤ 再生経過時間

⑥ 設定表示

DVD-Video 再生時：

音声・字幕言語、アングル、再生範囲、音声出力の方法が表示されます。

DVD-VR 再生時：

再生モード、音声タイプ、音声出力の方法、字幕設定、再生範囲が表示されます。

⑦ タイトル名



メモ

- タイトル画面の文字表示はひらがなや漢字などにも対応しています。
- 本機のディスプレイには「タイトル番号」「チャプター番号」「再生経過時間」が常に表示されています。



ご注意

- タイトル画面の文字情報はスクロールしません。

ビデオCD

1

ディスクを再生する


リモコンでの操作 **DVD** **DVH**

リモコンを使ってディスクを再生します。

1 ディスクを再生する

 ボタンを押す

▶ (再生マーク) が約4秒間表示され、ディスクが再生されます。

再生中に、 ボタンを押すと、一時停止します。

メモ

- すでにビデオCD (PBC再生時) を使用していた場合は、前回の続きから再生されます。ただし、ディスクによっては、メニュー画面が表示され、前回の続きから再生できないものもあります。

ビデオCD

2


メニュー画面の操作

リモコンでの操作 **DVD**

PBC機能付きビデオCDの再生を開始すると、メニュー画面が表示されます。



メニュー画面を表示するには

- PBC (プレイバックコントロール) 再生中に  ボタンを押すことで、メニュー画面を表示することができます。詳しくは、ディスクの説明書をご覧ください。



1 メニューを選ぶ

① ~ ⑩ ボタンを押す

選んだメニューから再生されます。



3を選ぶには、③のボタンを押します。

10を選ぶには、⑩、①と押します。

23を選ぶには、⑩、⑩、③の順に押します。



メモ

- ジョイスティックでは操作できません。
- メニュー画面が2ページ以上あるときは、 /  ボタンを押して表示を切り換えます。

トラックを進める/ 戻す

リモコンでの操作 **DVD**

リモコンを使ってトラックを進めたり戻したりできます。

次のトラックへ進む

1 トラックを進める

再生中に **▶▶** ボタンを押す

トラックナンバーが約8秒間表示され、次のトラックに進みます。

前のトラックへ戻る

1 トラックを戻す

再生中に **◀◀** ボタンを押す

トラックナンバーが約8秒間表示され、再生中のトラックの先頭に戻ります。



メモ

- 連続して二度操作すると、1つ前のトラックの初めに戻ります。

トラックを直接指定 する

ダイレクト選択

リモコンでの操作 **DVH**

リモコンを使ってトラックを直接選べます。

1 トラック番号入力画面を表示 する

DIRECT ボタンを押す

2 見たいトラックの番号を 選ぶ

トラック番号の ① ~ ⑨ ボタンを押す

3を選ぶには、③のボタンを押します。

10を選ぶには、①、⑩と押します。

◎ ボタンを押すと、入力した番号が消えます。

3 選んだトラックを再生する

もう一度 **DIRECT** ボタンを押す



メモ

- トラック番号入力を解除するには、**BAND** ボタンを押します。(約8秒間、何も操作しなかったときも、自動的に解除されます。)

ビデオCD

5

トラックを指定する

リモコンでの操作 **DVD**

リモコンを使ってトラックを選べます。

1 トラックを指定する

トラック番号の ① ~ ⑩ ボタンを押す

3を選ぶには、③ のボタンを押します。

10を選ぶには、⑩、① と押します。

23を選ぶには、⑩、⑩、③ の順に押します。



メモ

- PBC (プレイバックコントロール) 再生中にここでの操作はできません。

ビデオCD

6

早送り/早戻しする

リモコンでの操作 **DVD** **DVH**

リモコンを使って早送り/早戻しできます。

早送り

1 ディスクを早送りする

再生中に ボタンを押し続ける

押している間、 (早送りマーク) が表示され、ディスクが早送りされます。

2 見たい場面を再生する

ボタンを離す

早戻し

1 ディスクを早戻しする

再生中に ボタンを押し続ける

2 見たい場面を再生する

ボタンを離す



メモ

- / ボタンを5秒以上押すと、 (早送りマーク) / (早戻しマーク) の表示が反転し、ボタンから手を離しても早送り/早戻しが継続されます。見たい場所で ボタンを押すと、その場所から再生されます。
- ディスクによっては、早送り/早戻しできない場所があり、その場所になると自動的に通常再生に切り換わります。

再生を止める

リモコンでの操作 **DVD**

ディスクの再生を停止できます。

1 ディスクを停止する

□ ボタンを押す

■ (停止マーク) が表示され、ディスク再生が停止します。



メモ

- □ ボタンで再生を停止したビデオCD (PBC再生時のみ) は、停止した場所を登録します。次に再生したとき、登録した場所から再生します。

静止画を再生する


リモコンでの操作 **DVD** **DVH**

再生中の映像を一時停止して、静止画として見ることができます。

1 映像を一時停止する


再生中に  ボタンを押す

|| (静止マーク) が表示され、映像が一時停止します。

通常の再生に戻るには、 ボタンを押します。



メモ

- 静止画再生中は音声が出力されません。
- ディスクまたは再生位置によっては、 (禁止マーク) が表示され、静止画再生ができないことがあります。

ビデオCD

9

コマ送り再生をする


リモコンでの操作 **DVD**

再生中の映像を1コマずつ見ることができ
ます。

1 コマ送り再生をする


再生中に  ボタンを押す

ボタンを押すごとに、映像が1コマ送られ
ます。

通常の再生に戻るには、 ボタンを押
します。



メモ

- コマ送り再生中は音声が出力されません。
- ディスクまたは再生位置によっては、 (禁止
マーク)が表示され、コマ送り再生ができない
ことがあります。
- ディスクによっては、コマ送り時に映像が乱れ
ることがあります。
- コマ戻しはできません。

ビデオCD

10


スロー再生をする


リモコンでの操作 **DVD**



再生のスピードを遅くして見ることができ
ます。

1 スロー再生をする

再生中に  ボタンを1秒以上押す

 (スロー再生マーク)が表示され、映像
がスローで再生されます。

通常の再生に戻るには、 ボタンを押
します。


スロー再生中に、 または  ボタンを押
すと、スロー再生の速度を変更することが
できます。

ボタンを押すごとに、次の順で速度が切り
換わります。

1/2 ↔ 1/4 ↔ 1/8 ↔ 1/16



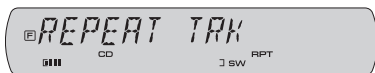
メモ

- スロー再生中は音声が出力されません。
- ディスクまたは再生位置によっては、 (禁止
マーク)が表示され、スロー再生ができないこ
とがあります。
- ディスクによっては、スロー再生時、映像が乱
れることがあります。
- 戻り方向のスロー再生はできません。

ファンクションメニューの切り換えかた

「繰り返し再生する」などの便利な機能を使うときは、ファンクションメニューで機能を選んで操作します。

(画面例)



使いたい機能を選ぶ

1 ファンクションメニューにする

FUNCTION ボタンを押す

2 機能を切り換える

FUNCTION ボタンを押す

ボタンを押すごとに、次の順序で機能が切り換わります。

REPEAT (再生範囲設定)

(ES ビデオ CD 12)

↓
LR SEL (音声出力設定)

(ES ビデオ CD 18 52 ページ)

↓
PAUSE (ポーズ設定)

(ES ビデオ CD 14 52 ページ)

↓
COMP (コンプレッション設定)

(ES ビデオ CD 16 53 ページ)

↓
REPEAT に戻る



メモ

- ふだんの再生画面に戻るときは、BAND ボタンを押します。(約30秒間、何も操作しなかったときも、自動的に解除されます。)
- プレイバックコントロール (PBC) のあるディスクでは、REPEAT (再生範囲切替) 機能は使えません。

繰り返し再生する

再生範囲設定

繰り返し再生する範囲を設定できます。



設定の内容

ディスクリピート：

再生中のディスクを繰り返し再生します。

トラックリピート：

再生中のトラックを繰り返し再生します。

1 再生範囲設定にする

FUNCTION ボタンを押して、「REPEAT」を選ぶ

2 設定を切り換える

◀または▶ ボタンを押す

ボタンを押すごとに、次の順序で再生範囲が切り換わります。

DSC (ディスクリピート)



TRK (トラックリピート)

3 ふだんの再生画面に戻す

BAND ボタンを押す



メモ

- ディスクリピートで、ディスクの最後まで再生した場合、メニューを表示または再生を停止しします。
- プレイバックコントロール (PBC) 再生中は、再生範囲の設定はできません。本機は、プレイバックコントロール (PBC) 再生の解除はできません。

ビデオCD
13**音声の出力方法を切り換える**

音声出力設定

音声の出力方法をステレオまたはモノラルに切り換えることができます。

1 音声出力設定にする

FUNCTION ボタンを押して、「LR SEL」を選ぶ

2 設定を切り換える**◀ または ▶ ボタンを押す**

ボタンを押すごとに、次の順序で音声出力の設定が切り換わります。

L+R (ステレオ)



L (モノ左)



R (モノ右)



MIX (左右ミックス)

3 ふだんの再生画面に戻す

BAND ボタンを押す

ビデオCD
14**再生を一時停止する**

ポーズ設定

ディスクの再生を一時停止できます。

1 ポーズ設定にする

FUNCTION ボタンを押して、「PAUSE」を選ぶ

2 ポーズを ON にする

▲ ボタンを押す

▼ ボタンを押すと、OFF になります。

3 ふだんの再生画面に戻す

BAND ボタンを押す

コンプレッション設定

再生しているディスクの音質に簡単な補正を加え、より聞きやすい音に調節できます。



COMPとは

- COMPは、「Compression（コンプレッション）」の略です。大きな音と小さな音の音量差（ダイナミックレンジ）を小さくします。

1 コンプレッション設定にする

FUNCTION ボタンを押して、「COMP」を選ぶ

2 設定を切り換える

▲または▼ ボタンを押す

ボタンを押すごとに、次の順序で設定が切り換わります。

COMP 1
↓
COMP 2
↓
COMP OFF

3 ふだんの再生画面に戻す

BAND ボタンを押す



メモ

- COMP 1より2の方が効果が大きくなります。

トラック番号、再生経過時間など（情報画面）を表示することができます。情報画面は、別売のモニターに表示されます。

1 情報画面を表示する

DISP ボタンを押す

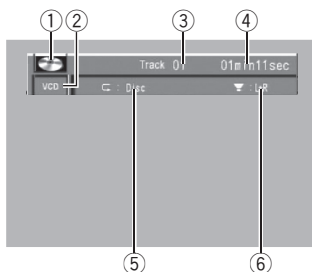
2 画面を切り換える

DISP ボタンを押す

ボタンを押すごとに、次のように画面が切り換わります。

情報画面
↓
表示 OFF
↓
情報画面に戻る

情報画面



- ① ディスクの種類
- ② メディアの種類
- ③ トラック番号
- ④ 再生経過時間
- ⑤ 再生範囲
- ⑥ 音声出力の方法



メモ

- 本機のディスプレイには「トラック番号」「再生経過時間」が常に表示されています。

DivX
1

DivX VOD ファイルを再生する

リモコンでの操作  

DivX VOD ファイルを再生することができます。



DivX VOD とは

- DivX VOD とは、「DivX Video OnDemand (ビデオ オンデマンド)」の略です。DivX VOD ファイルを再生する場合、その DivX VOD ファイルの配信先に対して、本機の登録コードが必要な場合があります。DVD の設定で本機の登録コードを確認できます。(DVD 設定 146 ページ)



メモ

- DivX VOD ファイルは、DRM コピープロテクションがかかっています。DivX VOD ファイルは、登録されたプレーヤーでのみ再生ができます。
- 本機の登録コードが承認されていない DivX VOD ファイルを再生すると、「AUTH_ERR」が表示され、再生できません。
- DivX VOD ファイルには、視聴回数が設定されているものがあります。そのような DivX VOD ファイルを本機で再生すると残りの視聴可能回数が表示されます。残りの視聴可能回数が 0 になったファイルを本機に挿入すると、「EXPIRED」が表示され、再生できません。
- 視聴回数の設定されていない DivX VOD ファイルは、何度でも再生できます。



DivX VOD ファイルを再生する

視聴回数画面を表示中に、

 ボタンを押す

DivX
2

ディスクを再生する

リモコンでの操作  


リモコンを使ってディスクを再生します。



ディスクを再生する

 ボタンを押す

▶ (再生マーク) が約 4 秒間表示され、ディスクが再生されます

再生中に、 ボタンを押すと、一時停止します。

リモコンでの操作 **DVH**

リモコンを使ってファイルを直接選べます。

1 ファイル番号入力画面を表示
する

DIRECT ボタンを押す

2 見たいファイルの番号を
選ぶ

ファイル番号の ① ~ ⑨ ボタンを押す

3を選ぶには、③ のボタンを押します。

10を選ぶには、①、⑩ と押します。

⊙ ボタンを押すと、入力した番号が消えます。

3 選んだファイルを再生する

もう一度 **DIRECT** ボタンを押す



メモ

- ファイル番号入力を解除するには、BAND ボタンを押します。(約8秒間、何も操作しなかったときも、自動的に解除されます。)

リモコンでの操作 **DVD DVH**

リモコンを使って早送り/早戻しできます。

早送り

1 ディスクを早送りする

再生中に **▶▶** ボタンを押し続ける

押し続けている間、**▶▶** (早送りマーク) が表示され、ディスクが早送りされます。

2 見たい場面を再生する

▶▶ ボタンを離す

早戻し

1 ディスクを早戻しする

再生中に **◀◀** ボタンを押し続ける

2 見たい場面を再生する

◀◀ ボタンを離す



メモ

- **▶▶** / **◀◀** ボタンを5秒以上押すと、**▶▶** (早送りマーク) / **◀◀** (早戻しマーク) の表示が反転し、ボタンから手を離しても早送り/早戻しが継続されます。見たい場所で **◀▶** ボタンを押すと、その場所から再生されます。

DivX
5

再生を止める

リモコンでの操作 

ディスクの再生を停止できます。


1 ディスクを停止する

ボタンを押す

■ (停止マーク) が表示され、ディスク再生が停止します。



メモ

-  ボタンで再生を停止したディスクは、停止した場所を登録します。次に再生したとき、登録した場所から再生します。

DivX
6

静止画を再生する


リモコンでの操作  

再生中の映像を一時停止して、静止画として見ることができます。

1 映像を一時停止する

再生中に ボタンを押す

■ (静止マーク) が表示され、映像が一時停止します。

通常の再生に戻るには、 ボタンを押します。



メモ

- 静止画再生中は音声が出力されません。

コマ送り再生をする


リモコンでの操作 

再生中の映像を1コマずつ見ることができ
ます。

1 コマ送り再生をする

再生中に  ボタンを押す

ボタンを押すごとに、映像が1コマ送られ
ます。

通常の再生に戻るには、 ボタンを押し
ます。



メモ

- コマ送り再生中は音声が出力されません。
- ディスクによっては、コマ送り時に映像が乱れ
ることがあります。
- コマ戻しはできません。


スロー再生をする


リモコンでの操作 

再生のスピードを遅くして見ることができ
ます。

1 スロー再生をする


再生中に  ボタンを1秒以上押す

 (スロー再生マーク) が表示され、映像
がスローで再生されます。

通常の再生に戻るには、 ボタンを押し
ます。



メモ

- スロー再生中は音声が出力されません。
- ディスクまたは再生位置によっては、 (禁止
マーク) が表示され、スロー再生ができないこ
とがあります。
- ディスクによっては、スロー再生時、映像が乱
れることがあります。
- 戻り方向のスロー再生はできません。

DivX
9

再生中に音声言語を切り換える

マルチ音声

リモコンでの操作 **DVD** **DVH**

複数の音声収録されているディスクでは、再生中に音声を切り換えることができます。

1 音声選択マークを表示する

再生中に **(音声)** ボタンを押す

音声選択マーク (♪) が約8秒間表示されます。

2 音声言語を切り換える

音声選択マークが表示されている間に

(音声) ボタンを押す

ボタンを押すごとに、音声切り換わります。



メモ

- この機能は、音声複数収録されている場合だけ有効です。

DivX
10

タイトルを見て再生したいファイルやフォルダーをさがす

リモコンでの操作 **DVH**

ファイル名やフォルダー名の一覧 (フォルダー／ファイルリスト) を見ながら、再生したいファイルやフォルダーを選べます。フォルダー／ファイルリストは、別売のモニターに表示されます。

1 フォルダー／ファイルリストを表示する

ジョイスティックを押す

2 再生したいフォルダー／ファイルを選ぶ

ジョイスティックを上下に操作する

上下に操作するごとにフォルダー／ファイルが切り換わります。

3 選んだフォルダーに収録されているフォルダー／ファイルリストを表示する

ジョイスティックを押す

選んだフォルダーに収録されているフォルダー／ファイルリストが表示されます。

ジョイスティックを右に操作しても、リストが表示されます。

4 再生したいファイルを選ぶ

ジョイスティックを上下に操作する

上下に操作するごとにフォルダー／ファイルが切り換わります。

5 ファイルを再生する

ジョイスティックを押す

選んだファイルが再生されます。

ジョイスティックを右に操作しても、選んだファイルが再生されます。

6 再生画面に戻す

ボタンを押す



メモ

- 文字表示は、ひらがなや漢字などにも対応しています。
- 本機のディスプレイには「LIST」が常に表示されています。
- ジョイスティックを左に操作すると、1つ前のリスト（1階層上のフォルダー）に戻ります。
- ファンクションメニューからも、フォルダー／ファイルリストが表示できます。(※ DivX 10 61 ページ)
- 本機の ▲ / ▼ / ◀ / ▶ ボタンを押しても、同様の操作ができます。
- フォルダー／ファイルリストは、必ず「ROOT」から表示されます。
- フォルダー／ファイルリストは、30秒間何も操作しないと自動的に解除されます。



ご注意

- リスト画面の文字表示は、スクロールしません。

(画面例)



使いたい機能を選ぶ

1 ファンクションメニューにする

FUNCTION ボタンを押す

2 機能を切り換える

FUNCTION ボタンを押す

ボタンを押すごとに、次の順序で機能が切り換わります。

REPEAT (再生範囲設定)

(※ DivX 10 60 ページ)



PAUSE (ポーズ設定)

(※ DivX 10 60 ページ)



LIST (フォルダー／ファイルリスト表示)

(※ DivX 10 61 ページ)



COMP (コンプレッション設定)

(※ DivX 10 62 ページ)



REPEATに戻る



メモ

- ふだんの再生画面に戻るときは、BAND ボタンを押します。(約30秒間、何も操作しなかったときも、自動的に解除されます。)

DivX
12

繰り返し再生する

再生範囲設定

繰り返し再生する範囲を設定できます。



設定の内容

ディスクリピート:

再生中のディスクを繰り返し再生します。

ファイルリピート:

再生中のファイルを繰り返し再生します。

フォルダーリピート:

再生中のフォルダーを繰り返し再生します

1

再生範囲設定にする

FUNCTION ボタンを押して、「REPEAT」を選ぶ

2

設定を切り換える

◀または▶ ボタンを押す

ボタンを押すごとに、次の順序で再生範囲が切り換わります。

DSC (ディスクリピート)



TRK (ファイルリピート)



FLD (フォルダーリピート)

3

ふだんの再生画面に戻す

BAND ボタンを押す



メモ

- フォルダーリピート再生中に他のフォルダーを選んだときは、ディスクリピートに切り換わります。

DivX
13

再生を一時停止する

ポーズ設定

ディスクの再生を一時停止できます。

1

ポーズ設定にする

FUNCTION ボタンを押して、「PAUSE」を選ぶ

2

ポーズを ON にする

▲ ボタンを押す

▼ ボタンを押すと、OFF になります。

3

ふだんの再生画面に戻す

BAND ボタンを押す

タイトルを見て再生したい ファイルやフォルダーをさがす

ファイル名やフォルダー名の一覧（フォルダー／ファイルリスト）を見ながら、再生したいファイルやフォルダーを選べます。フォルダー／ファイルリストは、別売のモニターに表示されます。

1 フォルダー／ファイルリスト を表示する

FUNCTION ボタンを押して、
「LIST」を選ぶ

2 再生したいフォルダー／ファイル を選ぶ

▲ または ▼ ボタンを押す

ボタンを押すごとにフォルダー／ファイルが切り換わります。

3 選んだフォルダーに収録されている フォルダー／ファイル リストを表示する

▶ ボタンを押す

選んだフォルダーに収録されているフォルダー／ファイルリストが表示されます。

4 再生したいファイルを選ぶ

▲ または ▼ ボタンを押す

5 ファイルを再生する

▶ を押す

選んだファイルが再生されます。

6 再生画面に戻す

BAND ボタンを押す



メモ

- 文字表示は、ひらがなや漢字などにも対応しています。
- 本機のディスプレイには「LIST」が常に表示されています。
- ジョイスティックを操作しても、フォルダー／ファイルリストを表示できます。(※ DivX 10 58ページ)
- ◀ ボタンを押すと、1つ前のリスト（1階層上のフォルダー）に戻ります。
- ジョイスティックを上下左右に操作しても、同様の操作ができます。
- フォルダー／ファイルリストは、必ず「ROOT」から表示されます。



ご注意

- リスト画面の文字表示は、スクロールしません。

DivX
15

音を聞きやすくする

コンプレッション設定

再生しているディスクの音質に簡単な補正を加え、より聞きやすい音に調節できます。



COMPとは

- COMPは、「Compression (コンプレッション)」の略です。大きな音と小さな音の音量差(ダイナミックレンジ)を小さくします。

1

コンプレッション設定にする

FUNCTION ボタンを押して、「COMP」を選ぶ

2

設定を切り換える

▲ または ▼ ボタンを押す

ボタンを押すごとに、次の順序で設定が切り換わります。

COMP 1
↓
COMP 2
↓
COMP OFF

3

ふだんの再生画面に戻す

BAND ボタンを押す



メモ

- COMP 1より2の方が効果が大きくなります。

DivX
16

情報画面／タイトル画面を表示する

タイトルやフォルダー番号、再生経過時間など(情報画面)とタイトル(タイトル画面)を表示することができます。情報画面／タイトル画面は、別売のモニターに表示されます。

1

情報画面を表示する

DISP ボタンを押す

2

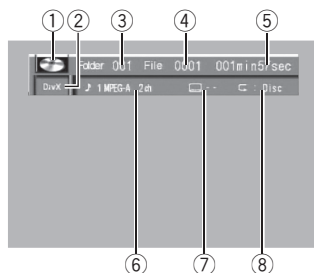
画面を切り換える

DISP ボタンを押す

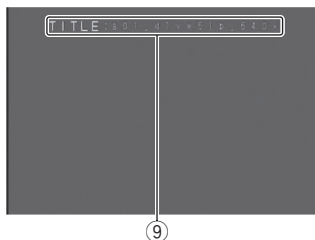
ボタンを押すごとに、次のように画面が切り換わります。

情報画面
↓
タイトル表示
↓
表示OFF
↓
情報画面に戻る

情報画面



タイトル画面



① ディスクの種類

WMA / MP3 / AACファイル、音楽CDのデータおよびDivXファイルが混在しているディスクの場合、「MIXED」と表示されます。

② メディアの種類

③ フォルダ番号

④ ファイル番号

⑤ 再生経過時間

⑥ 音声タイプ

⑦ 字幕番号

⑧ 再生範囲

⑨ タイトル名



メモ

- タイトル画面の文字表示は、ひらがなや漢字などにも対応しています。
- 本機のディスプレイには「フォルダ番号」「ファイル番号」「再生経過時間」が常に表示されています。



ご注意

- タイトル画面の文字情報はスクロールしません。

CD
1

ディスクを再生する


リモコンでの操作 **DVD** **DVH**

リモコンを使ってディスクを再生します。

1 ディスクを再生する

 ボタンを押す

▶ (再生マーク) が約4秒間表示され、ディスクが再生されます。

再生中に、 ボタンを押すと、一時停止します。CD
2

曲を直接選ぶ

ダイレクトサーチ

リモコンでの操作 **DVH**

リモコンを使って聞きたい曲を直接選べます。

1 曲番号入力画面を表示する

 ボタンを押す

2 聞きたい曲の番号を入力する

聞きたい曲の番号の ① ~ ⑨ ボタンを押す

3を選ぶには、③のボタンを押します。


10を選ぶには、①、⑩と押します。

◎ ボタンを押すと、入力した番号が消えます。

3 選んだ曲を再生する

もう一度  ボタンを押す

メモ

- CD-ROM再生時は、再生しているフォルダー内の曲（ファイル）だけ選べます。
- 曲番号入力画面を解除するには、 ボタンを押します。(約8秒間、何も操作しなかったときも、自動的に解除されます。)

リモコンでの操作 **DVD** **DVH**

リモコンを使って早送り/早戻しできます。

早送り

1 ディスクを早送りする

再生中に **▶▶** ボタンを押し続ける押し続けている間、**▶▶** (早送りマーク) が表示され、ディスクが早送りされます。

2 聞きたい場所を再生する

▶▶ ボタンを離す

早戻し

1 ディスクを早戻しする

再生中に **◀◀** ボタンを押し続ける

2 聞きたい場所を再生する

◀◀ ボタンを離すリモコンでの操作 **DVD**

ディスクの再生を停止できます。

1 ディスクを停止する

■ ボタンを押す**■** (停止マーク) が表示され、ディスク再生が停止します。

メモ

● **■** ボタンで再生を停止したディスクは、停止した場所を登録します。次に再生したときは、登録された場所から再生を開始します。


CD
5

再生を一時停止する

リモコンでの操作 **DVD** **DVH**

再生中のディスクを一時停止できます。

1 曲を一時停止する

再生中に  ボタンを押す通常の再生に戻るには、 ボタンを押します。CD
6

CDのタイトルを入力する

CDのタイトルを入力して、本機に登録できます。登録したタイトルは、本機のディスプレイに表示できます。



ご注意

- 「CD TEXT」(※ はじめに ② 10ページ) を再生しているときは、操作できません。

1 タイトル入力したいCDを再生する

2 タイトル入力画面を表示する

FUNCTION ボタンを長く押す

「TITLE IN」と表示され、タイトル入力画面になります。

3 タイトルを入力する

▲ / ▼ / ◀ / ▶ ボタンを押す

■ 入力したい文字を選ぶとき

次の文字を選ぶ： ▲ を押す

前の文字を選ぶ： ▼ を押す

文字は、空白 ()、アルファベット (A~Z)、記号 (!, +, # など)、数字 (0~9) の中から選ぶことができます。

■ 入力したい位置にカーソルを移動するとき

右に移動する： ▶ を押す

左に移動する： ◀ を押す

4 10文字目を点滅させる

▶ ボタンを押す

入力したCDのタイトルを本機のディスプレイに表示させることができます。

5 入力したタイトルを登録する

10文字目が点滅しているときに、
▶ ボタンを押す

入力位置の点滅が終わると、入力したタイトルが登録されます。

6 ふだんの再生画面に戻す

BAND ボタンを押す

タイトル入力中（文字が点滅しているときに）にBANDボタンを押すと、タイトル入力画面が解除されて、ふだんの再生画面に戻ります。（入力中のタイトルは登録されません。）



メモ

- タイトルは、10文字まで入力できます。
- 内蔵プレーヤーには、CD48枚分のタイトルを登録できます。
- 48枚を超えたときは、一番古いCDのタイトルが消されて、新しいCDのタイトルが登録されます。
- CDを取り出しても、登録したタイトルは削除されません。

7 表示を切り換える

DISPLAY ボタンを押す

ボタンを押すごとに、次の順序で切り換わります。

トラック番号



DISC TITLE（ディスクタイトル）



トラック番号に戻る



メモ

- CDのタイトルを入力していない場合は、DISC TITLE（ディスクタイトル）には切り換わりません。（※ CD 6 66 ページ）

CD
8

曲名を見て聞きたい曲をさがす

トラックリスト表示

リモコンでの操作 **DVH**

「CD TEXT」再生中に、曲名の一覧（トラックリスト）を見ながら、聞きたい曲を選べます。トラックリストは、別売のモニターに表示されます。

1

トラックリストを表示する

ジョイスティックを押す

2

再生したいトラックを選ぶ

ジョイスティックを上下に操作する

上下に操作するごとにトラックが切り換わります。

3

トラックを再生する

ジョイスティックを押す

選んだトラックが再生されます。

ジョイスティックを右に操作しても、選んだトラックが再生されます。

4

再生画面に戻す

BAND ボタンを押す



メモ

- 文字表示は、ひらがなや漢字などにも対応しています。
- 本機のディスプレイには、「LIST」が常に表示されています。
- ファンクションメニューからも、トラックリストが表示できます。(※ **CD 16 73ページ**)
- 本機の ▲ / ▼ / ▶ ボタンを押しても、同様の操作ができます。
- トラックリストは、30秒間何も操作しないと自動的に解除されます。



ご注意

- リスト画面の文字表示は、スクロールしません。

CD
9

タイトルを見て再生したいファイルやフォルダーをさがす

リモコンでの操作 **DVH**

ファイル名やフォルダー名の一覧（フォルダー／ファイルリスト）を見ながら、再生したいファイルやフォルダーを選べます。フォルダー／ファイルリストは、別売のモニターに表示されます。

1

フォルダー／ファイルリストを表示する

ジョイスティックを押す

2

再生したいフォルダー／ファイルを選ぶ

ジョイスティックを上下に操作する

上下に操作するごとにフォルダー／ファイルが切り換わります。

3

選んだフォルダーに収録されているフォルダー／ファイルリストを表示する

ジョイスティックを押す

選んだフォルダーに収録されているフォルダー／ファイルリストが表示されます。

ジョイスティックを右に操作しても、リストが表示されます。

4

再生したいファイルを選ぶ

ジョイスティックを上下に操作する

上下に操作するごとにフォルダー／ファイルが切り換わります。

「繰り返し再生する」「違う曲順で再生する」などの便利な機能を使うときは、ファンクションメニューで機能を選んで操作します。

5 ファイルを再生する

ジョイスティックを押す

選んだファイルが再生されます。

ジョイスティックを右に操作しても、選んだファイルが再生されます。

6 再生画面に戻す

ボタンを押す



メモ

- 文字表示は、ひらがなや漢字などにも対応しています。
- 本機のディスプレイには、「LIST」が常に表示されています。
- ジョイスティックを左に操作すると、1つ前のリスト（1階層上のフォルダー）に戻ります。
- ファンクションメニューからも、フォルダー／ファイルリストが表示できます。**(※ CD ⑩ 74 ページ)**
- 本機の ▲ / ▼ / ◀ / ▶ ボタンを押しても、同様の操作ができます。
- フォルダー／ファイルリストは、必ず「ROOT」から表示されます。
- フォルダー／ファイルリストは、30秒間何も操作しないと自動的に解除されます。



ご注意

- リスト画面の文字表示は、スクロールしません。

(画面例)



使いたい機能を選ぶ

1 ファンクションメニューにする

FUNCTION ボタンを押す

次のページへ続く

2 機能を切り換える

FUNCTION ボタンを押す

ボタンを押すごとに、次の順序で機能が切り換わります。

REPEAT (再生範囲設定)

( CD ⑪)



RANDOM (ランダムプレイ設定)

( CD ⑫ 71 ページ)



SCAN (スキャンプレイ設定)

( CD ⑬ 72 ページ)



PAUSE (ポーズ設定)

( CD ⑭ 73 ページ)



LIST (トラックリスト表示)

( CD ⑮ 73 ページ)

(フォルダー／ファイルリスト表示)

( CD ⑯ 74 ページ)



SCH (ラフサーチ設定)

( CD ⑰ 75 ページ)



COMP (コンプレッション設定)

( CD ⑱ 75 ページ)



REPEATに戻る



メモ

- ふだんの再生画面に戻るときは、BAND ボタンを押します。(約30秒間、何も操作しなかったときも、自動的に解除されます。)

CD
11

繰り返し再生する

繰り返し再生する範囲を設定できます。繰り返しの範囲は、今聞いている曲やディスク全体などから選べます。選べる範囲は、ディスクによって異なります。



設定の内容

ディスクリPEAT:

再生中のディスクを繰り返し再生します。

ファイルリPEAT:

再生中のファイルを繰り返し再生します。

フォルダーリPEAT:

再生中のフォルダーを繰り返し再生します。

1

再生範囲設定にする

FUNCTION ボタンを押して、「REPEAT」を選ぶ

2

設定を切り換える

◀または▶ ボタンを押す

ボタンを押すごとに、次の順序で再生範囲が切り換わります。

CD-DA / CD TEXT 再生時

DSC (ディスクリPEAT)



TRK (ファイルリPEAT)

CD-ROM 再生時

DSC (ディスクリPEAT)



TRK (ファイルリPEAT)



FLD (フォルダーリPEAT)

曲やCDを順不同（ランダム）に再生できます。いつもと違った曲順で音楽を楽しみたいときに便利です。

3 ふだんの再生画面に戻す

BAND ボタンを押す



メモ

- フォルダーリピート再生中に他のフォルダーを選んだときは、ディスクリピートに切り換わります。
- フォルダーリピートは、再生中のフォルダー内の曲（WMA / MP3 / AAC）だけを再生します。サブフォルダー内の曲は、再生しません。

1 ランダム再生する範囲を選んでもおく

ランダムプレイは、再生範囲設定で選んだ範囲で行われます
(CD 70 ページ)

2 ランダムプレイ設定にする

FUNCTION ボタンを押して、
「RANDOM」を選ぶ

3 ランダムプレイを ON にする

- ▲ ボタンを押す
- ▼ ボタンを押すと、OFF になります。

4 BAND ボタンを押す

ふだんの再生画面に戻ります



メモ

- 再生範囲がトラックリピートのときにランダムプレイ設定を ON にすると、再生範囲が次のように切り換わってランダムプレイが行われます。
CD / マルチ CD : ディスクリピート
WMA / MP3 / AAC : フォルダーリピート

曲やフォルダー、ディスクのはじめの部分だけを、約10秒ずつ再生できます（スキャン再生）。聞きたい曲やフォルダー、ディスクを探すときに便利です。

1 スキャン再生する範囲を選んでおく

スキャンプレイは、再生範囲設定で選んだ範囲で行われます

( CD ① 70 ページ)

■ 聞きたい曲を探すとき (トラックスキャン再生)

選んだ再生範囲内のすべての曲を、約10秒ずつ再生します。

- CD再生時は、ディスクリピートに切り換えます。
- MP3／WMA／AAC再生時は、フォルダーリピートに切り換えます。

■ 聞きたいフォルダーを探すとき (フォルダースキャン再生)

再生中のディスクの全フォルダーの1曲目だけを、約10秒ずつ再生します。

- MP3／WMA／AAC再生時に、ディスクリピートに切り換えます。

2 スキャンプレイ設定にする

FUNCTION ボタンを押して、
「SCAN」を選ぶ

3 スキャンプレイをONにする

▲ ボタンを押す

曲やフォルダーのはじめの約10秒間が次々に再生されます。

- スキャンプレイを始めて30秒たつと、ふだんの再生画面に自動で戻ります。

4 聞きたい曲やフォルダーが再生されたら、スキャンプレイをOFFにする

▼ ボタンを押す

- ふだんの再生画面に戻っていたら、まず手順2の操作でスキャンプレイ設定を選びます。次に、▼ボタンを押すと、スキャンプレイ設定がOFFになります。

5 ふだんの再生画面に戻す

BAND ボタンを押す



メモ

- スキャンプレイを始めた曲（フォルダー）まで戻ると、スキャンプレイは解除されます。
- 再生範囲がトラックリピートのときにスキャンプレイ設定をONにすると、再生範囲が次のように切り換わってスキャンプレイが行われます。
CD：ディスクリピート
MP3／WMA／AAC：フォルダーリピート

ディスクの再生を一時停止できます。

1 ポーズ設定にする

FUNCTION ボタンを押して、「PAUSE」を選ぶ

2 ポーズを ON にする

▲ ボタンを押す

▼ ボタンを押すと、OFF になります。

3 ふだんの再生画面に戻す

BAND ボタンを押す

「CD TEXT」再生中に、曲名の一覧（トラックリスト）を見ながら、聞きたい曲を選べます。トラックリストは、別売のモニターに表示されます。

1 トラックリストを表示する

FUNCTION ボタンを押して、「LIST」を選ぶ

2 再生したいトラックを選ぶ

▲ または ▼ ボタンを押す

ボタンを押すごとにトラックが切り換わります。

3 ファイルを再生する

▶ ボタンを押す

選んだフォルダーに収録されているトラックリストが表示されます。

4 再生画面に戻す

BAND ボタンを押す



メモ

- 文字表示は、ひらがなや漢字などにも対応しています。
- 本機のディスプレイには、「LIST」が常に表示されています。
- ジョイスティックを操作しても、トラックリストを表示できます。(※ CD 8 68 ページ)
- ジョイスティックを上、下、右に操作しても、同様の操作ができます。
- トラックリストは、30秒間何も操作しないと自動的に解除されます。



ご注意

- リスト画面の文字表示は、スクロールしません。

タイトルを見て再生したい ファイルやフォルダーをさがす

フォルダー／ファイルリスト表示

ファイル名やフォルダー名の一覧（フォルダー／ファイルリスト）を見ながら、再生したいファイルやフォルダーを選べます。フォルダー／ファイルリストは、別売のモニターに表示されます。

1 フォルダー／ファイルリストを表示する

FUNCTION ボタンを押して、「LIST」を選ぶ

2 再生したいフォルダー／ファイルを選ぶ

▲ または ▼ ボタンを押す

ボタンを押すごとにフォルダー／ファイルが切り換わります。

3 選んだフォルダーに収録されているフォルダー／ファイルリストを表示する

▶ ボタンを押す

選んだフォルダーに収録されているフォルダー／ファイルリストが表示されます。

4 再生したいファイルを選ぶ

▲ または ▼ ボタンを押す

5 ファイルを再生する

▶ を押す

選んだファイルが再生されます。

6 再生画面に戻す

BAND ボタンを押す



メモ

- 文字表示は、ひらがなや漢字などにも対応しています。
- 本機のディスプレイには、「LIST」が常に表示されています。
- ジョイスティックを操作しても、フォルダー／ファイルリストを表示できます。(※ CD 9 68 ページ)
- ◀ ボタンを押すと、1つ前のリスト（1階層上のフォルダー）に戻ります。
- ジョイスティックを上下左右に操作しても、同様の操作ができます。
- フォルダー／ファイルリストは、必ず「ROOT」から表示されます。



ご注意

- リスト画面の文字表示は、スクロールしません。

10曲以上収録されているディスクまたはフォルダーの場合、10曲飛びに選曲できません。

1 ラフサーチ設定にする

FUNCTION ボタンを押して、「SCH」を選ぶ

2 ROUGH (ラフサーチ) にする

▶ ボタンを押す

◀ ボタンを押すと、FF / REV (早送り / 早戻し) に切り換わります。

3 ふだんの再生画面に戻す

BAND ボタンを押す

4 10曲ごとに選曲する

◀ または ▶ ボタンを長く押す

10曲先を選ぶとき：▶ を長く押す

10曲前を選ぶとき：◀ を長く押す



メモ

- 曲数が10曲以下のディスクでラフサーチをする時、最初または最後の曲が選択されます。残りが10曲以下のときに、ラフサーチをした場合も同様です。

再生しているディスクの音質に簡単な補正を加え、より聞きやすい音に調節できます。



COMP とは

- COMP は、「Compression (コンプレッション)」の略です。大きな音と小さな音の音量差 (ダイナミックレンジ) を小さくします。

1 コンプレッション設定にする

FUNCTION ボタンを押して、「COMP」を選ぶ

2 設定を切り換える

▲ または ▼ ボタンを押す

ボタンを押すごとに、次の順序で設定が切り換わります。

COMP 1



COMP 2



COMP OFF

3 ふだんの再生画面に戻す

BAND ボタンを押す



メモ

- COMP 1 より 2 の方が効果が大きくなります。

CD 19 情報画面／タイトル画面を表示する

フォルダー番号、再生経過時間など（情報画面）とタイトル（タイトル画面）を表示することができます。情報画面／タイトル画面は、別売のモニターに表示されます。

1 画面を切り換える

DISP ボタンを押す

ボタンを押すごとに、次のように画面が切り換わります。

情報画面

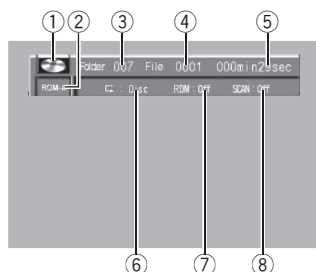


タイトル表示

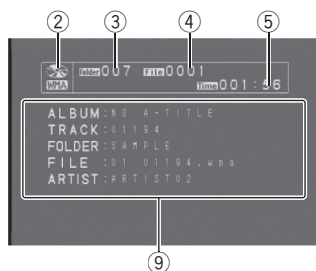


情報画面に戻る

情報画面



タイトル画面



① ディスクの種類

WMA／MP3／AACファイル、音楽CDのデータおよびDivXファイルが混在しているディスクの場合、「MIXED」と表示されます。

② メディアの種類

③ フォルダー番号

④ トラック（ファイル）番号

⑤ 再生経過時間

⑥ 再生範囲

⑦ ランダム設定

⑧ スキャン設定

⑨ タイトル名

以下のタイトル名が表示されます。

「CD-TEXT」再生時：

- D.TITLE (ディスクタイトル)
- D.ARTIST (ディスクアーティスト名)
- T.TITLE (トラックタイトル)
- T.ARTIST (トラックアーティスト名)

WMA / MP3 / AAC再生時：

- ALBUM (アルバムタイトル)
- TRACK (トラックタイトル)
- FOLDER (フォルダー名)
- FILE (ファイル名)
- ARTIST (アーティスト名)



メモ

- タイトル名の文字表示は、ひらがなや漢字などにも対応しています。
- 「CD-TEXT」再生中本機のディスプレイには、「トラック番号」「再生経過時間」が常に表示されています。
- WMA / MP3 / AACファイル再生中本機のディスプレイには、「フォルダー番号」「ファイル番号」「再生経過時間」が常に表示されています。
- 音楽CDにタイトルを入力した場合、DISPボタンを押すと本機のディスプレイはディスクタイトルに切り換わります。(※ CD ⑦ 67ページ)



ご注意

- タイトル画面の文字情報はスクロールしません。

ラジオ
1

放送局を1局ずつ登録する

プリセットメモリー

よく聞く放送局を1局ずつ手動で登録できます（プリセットメモリー）。登録した放送局は、手軽に受信できます。

1 登録するバンドを選ぶ

BAND ボタンを押す

2 登録したい放送局を選ぶ

◀ または ▶ ボタンを押す

3 放送局を登録する

1～6 ボタンの1つを長く押す

登録動作中に押したボタンの番号（登録番号）が点滅します。

登録が完了すると登録番号の点滅が終わり、その放送局を受信します。

ラジオ
2

複数の放送局を自動的に登録する

BSM

受信状態の良い放送局を自動で探して登録できます。登録された放送局は、手軽に受信できます。



BSMとは

- BSMは、「Best Stations Memory（ベストステーションズメモリー）」の略です。

1 BAND ボタンを押す

登録するバンドを選ぶ

2 BSM 設定にする

FUNCTION ボタンを押して、「BSM」を選ぶ

3 BSM を開始する

▲ ボタンを押す

登録動作が終わると「BSM」の点滅が終わり、1のボタンに登録した放送局を受信します。

▼ ボタンを押すと途中解除します。

4 ふだんの受信画面に戻る

BAND ボタンを押す



知っている则便利

- バンド1とバンド2を切り換えて使うことで、より多くの放送局を登録できます。例えば、バンド1にはふだんよく聞く放送局を登録しておきます。旅行先などで、どんな放送局があるか知らない地域に行ったときに、バンド2に切り換えてBSMを使うと便利です。バンド1に登録した放送局を消さずに、バンド2でその地域の放送局を受信できます。



メモ

- 受信状態のよい放送局が6局より少ないときは、前に登録した内容が残ることがあります。
- BSM設定は、30秒間何も操作しなかったときも、自動的に戻ります。

登録した放送局を呼び出す

プリセットチューニング

BSMやプリセットメモリーで登録した放送局を、手軽に受信できます。

1 BAND ボタンを押す

放送局を登録したバンドを選ぶ

2 登録した放送局を受信する

■ プリセット番号を指定して受信するとき

1～6ボタンの1つを押す

■ プリセット番号順に受信するとき

▲ または ▼ ボタンを押す

放送局名を表示する

放送局名表示

受信している放送局の放送局名を表示できます。

1 表示を切り換える

DISPLAY ボタンを押す

ボタンを押すごとに、次の順序で切り換わります。

周波数表示



放送局名表示



周波数表示に戻る



知っていると便利

- 表示されている放送局名が、受信している放送局の名称と異なる場合、正しい放送局名に変更できます。(※ ラジオ ⑤ 80ページ)

放送局名を選ぶ

放送局名選択

受信している放送局の放送局名を選べます。
表示されている放送局名が、受信している放送局の名称と異なる場合、正しい放送局名に変更することができます。



ご注意

- 本機に登録されていない放送局名は選べません。

1

実際の放送局名と表示が異なる場合、放送局名選択にする

FUNCTION ボタンを長く押す

2

放送局名を選ぶ

◀ または ▶ ボタンを押す

次の放送局名を選ぶとき：▶ を押す
前の放送局名を選ぶとき：◀ を押す

3

選んだ放送局名に変更する

▲ ボタンを押す

4

BAND ボタンを押す

ふだんの受信画面に戻ります



メモ

- 放送局名を表示させたくないときは、すべて空白の表示を選びます。
- パイオニア製のFMモジュレータータイプのマルチCDをお使いの方は、モジュレーター周波数に合わせて、放送局名を「FM M-CD」に変更できます。
- パイオニア製のTVをFMモジュレーターでお使いの方は、モジュレーター周波数に合わせて、放送局名を「FM TVSNDR」に変更できます。
- 選んだ周波数に該当する放送局名が登録されていない場合、「NO.DATA」と表示されます。

マルチCD

1

マルチCDのふだんの操作

(画面例)



1 ソースをマルチCDにする

SOURCE ボタンを押す
(☞ ここだけで ① 24 ページ)

2 ディスクを切り換える

▲ または ▼ ボタンを押す

次のディスクを選ぶとき： ▲ を押す

前のディスクを選ぶとき： ▼ を押す

3 曲を選ぶ (または早送り/早戻しする)

◀ または ▶ ボタンを押す

■ 聞きたい曲を選ぶとき

次の曲を選ぶ： ▶ を押す

前の曲を選ぶ： ◀ を押す

■ 早送り/早戻しをするとき

早送り： ▶ を長く押す

早戻し： ◀ を長く押す

4 マルチCDの再生をやめる

他のソースに切り換えるか、本機の電源をOFFにしてください。

(☞ ここだけで ① 24 ページ)



知っている则便利

- 1～6 ボタンを押して、聞きたいCDを選ぶこともできます。7～12 枚目のCDを選ぶ場合は、1～6 ボタンを長く押します。リモコンの ① ～ ⑥ ボタンを押しても、同様の操作ができます。



メモ

- 「CD TEXT」に対応しているマルチCD (「CDX-P670」など) に「CD TEXT」をセットしているときは、ソースをマルチCDに切り換えると、タイトルを自動的にスクロール表示します。
- マルチCDが準備動作 (CDの有無の確認やCDの情報の読み込みなど) をしている場合があります。このとき、ソースをマルチCDに切り換えると、「READY」と表示されます。
- マルチCD再生中にマルチCDからマガジンを取り出すと、「NO MAG」と表示されます。

曲を直接選ぶ

ダイレクトサーチ

リモコンでの操作 **DVH**

リモコンを使って聞きたい曲を直接選べます。

1

REPEAT ボタンを押す

曲番号入力画面が表示されます

2 聞きたい曲の番号を入力する

聞きたい曲の番号の ① ~ ⑨ ボタンを押す

3を選ぶには、③ のボタンを押します。

10を選ぶには、①、⑩ と押します。

⑩ ボタンを押すと、入力した番号が消えます。

3

選んだ曲を再生する

もう一度 **REPEAT** ボタンを押す



メモ

- 曲番号入力画面を解除するには、**BAND** ボタンを押します。(約8秒間、何も操作しなかったときも、自動的に解除されます。)

再生を一時停止する

リモコンでの操作 **DVH**

再生中のディスクを一時停止できます。

1

曲を一時停止する

再生中に **PAUSE** ボタンを押す

通常の再生に戻るには、**PAUSE** ボタンを押します。

マルチCD
4

ファンクションメニューの切り換えかた

「繰り返し再生する」「違う曲順で再生する」などの便利な機能を使うときは、ファンクションメニューで機能を選んで操作します。

(画面例)



使いたい機能を選ぶ

1 ファンクションメニューにする

FUNCTION ボタンを押す

2 機能を切り換える

FUNCTION ボタンを押す

ボタンを押すごとに、次の順序で機能が切り換わります。

REPEAT (再生範囲設定)

(※ マルチCD ⑥ 85 ページ)



TITLE LIST (ディスクリスト表示)

(※ マルチCD ⑬ 90 ページ)



RANDOM (ランダムプレイ設定)

(※ マルチCD ⑦ 85 ページ)



SCAN (スキャンプレイ設定)

(※ マルチCD ⑧ 86 ページ)



ITS (ITSプレイ設定)

(※ マルチCD ⑩ 87 ページ)



PAUSE (ポーズ設定)

(※ マルチCD ⑯ 91 ページ)



COMP (コンプレッション設定)

(※ マルチCD ⑰ 91 ページ)



REPEATに戻る



メモ

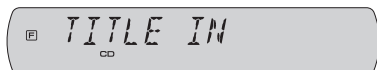
- ふだんの再生画面に戻るときは、BAND ボタンを押します。(約30秒間、何も操作しなかったときも、自動的に解除されます。)

マルチCD
5

詳細設定メニューの切り換えかた

聞きたい曲だけを指定しておき、それを再生する「ITS機能」や、CDのタイトルを表示させるために、あらかじめタイトルを入力しておく「タイトル入力機能」などを使うときは、詳細設定メニューを切り換えて操作します。

(画面例)



使いたい機能を選ぶ

1 詳細設定メニューにする

FUNCTION ボタンを長く押す

2 機能を切り換える

FUNCTION ボタンを押す

ボタンを押すごとに、次の順序で機能が切り換わります。

TITLE IN (タイトル入力)

(※ マルチCD ⑮ 89 ページ)



ITS (ITS指定)

(※ マルチCD ⑨ 87 ページ)



TITLE INに戻る



メモ

- ふだんの再生画面に戻るときは、BAND ボタンを押します。
- 「CD TEXT」に対応しているマルチCD (「CDX-P670」など) で「CD TEXT」を再生しているときは、TITLE IN (タイトル入力) には切り換わりません。(「CD TEXT」にあらかじめ収録されているタイトルは変更できません。)



知っているると便利

- ITS (ITSプレイ設定) (※ マルチCD ⑩ 87 ページ) のとき、FUNCTION ボタンを長く押すと、ITS (ITS指定) 画面になります。

繰り返して再生する

再生範囲設定

繰り返して再生する範囲を設定できます。繰り返しの範囲は、今聞いている曲やディスク全体などから選べます。選べる範囲は、ディスクによって異なります。



設定の内容

マルチCDリピート:

マルチCDにセットされているすべてのディスクを繰り返して再生します。

トラックリピート:

再生中の曲を繰り返して再生します。

ディスクリピート:

再生中のディスクを繰り返して再生します。

1 再生範囲設定にする

FUNCTION ボタンを押して、「REPEAT」を選ぶ

2 設定を切り換える

◀ または ▶ ボタンを押す

ボタンを押すごとに、次の順序で再生範囲が切り換わります。

MCD (マルチCDリピート)



TRK (トラックリピート)



DSC (ディスクリピート)

3 ふだんの再生画面に戻す

BAND ボタンを押す

違う曲順で再生する

ランダムプレイ設定

曲やCDを順不同(ランダム)に再生できません。いつもと違った曲順で音楽を楽しみたいときに便利です。

1 ランダム再生する範囲を選んでおく

ランダムプレイは、再生範囲切替で選んだ範囲で行われます (MCD マルチCD ⑥)

2 ランダムプレイ設定にする

FUNCTION ボタンを押して、「RANDOM」を選ぶ

3 ランダムプレイをONにする

▲ ボタンを押す

▼ ボタンを押すと、OFFになります。

4 BAND ボタンを押す

ふだんの再生画面に戻ります



メモ

- 再生範囲がトラックリピートのときにランダムプレイ設定をONにすると、再生範囲がディスクリピートに切り換わってランダムプレイが行われます。

曲やディスクを探す

曲やディスクのはじめの部分だけを、約10秒ずつ再生できます（スキャン再生）。聞きたい曲やディスクを探すときに便利です。

1 スキャン再生する範囲を選んでおく

スキャンプレイは、再生範囲設定で選んだ範囲で行われます

(※ マルチCD ⑥ 85ページ)

■ 聞きたい曲を探すとき
(トラックスキャン再生)

選んだ再生範囲内のすべての曲を、約10秒ずつ再生します。

- ディスクリピートに切り換えます。

■ 聞きたいディスクを探すとき
(ディスクスキャン再生)

マルチCD内のすべてのディスクの1曲目だけを、約10秒ずつ再生します。

- マルチCDリピートに切り換えます。

2 スキャンプレイ設定にする

FUNCTION ボタンを押して、「SCAN」を選ぶ

3 スキャンプレイをONにする

▲ ボタンを押す

曲やディスクのはじめの約10秒間が次々に再生されます。

- スキャンプレイを始めて30秒たつと、ふだんの再生画面に自動で戻ります。

4 聞きたい曲やディスクが再生されたら、スキャンプレイをOFFにする

▼ ボタンを押す

- ふだんの再生画面に戻っていたら、まず手順2の操作でスキャンプレイ設定を選びます。次に、▼ ボタンを押すと、スキャンプレイ設定がOFFになります。

5 ふだんの再生画面に戻す

BAND ボタンを押す



メモ

- スキャンプレイを始めた曲（ディスク）まで戻ると、スキャンプレイは解除されます。
- 再生範囲がトラックリピートのときにスキャンプレイ設定をONにすると、再生範囲がディスクリピートに切り換わってスキャンプレイが行われます。

聞きたい曲を指定する

ITS 指定

聞きたい曲だけを再生するために、再生する曲をあらかじめ指定しておきます。



ITSとは

- ITSは、「Instant Track Selection (インスタントトラックセレクション)」の略です。指定した曲だけを再生できます。ITSの指定は、ITS解除を行うまで有効です (※ マルチCD ⑩ ⑩ 88ページ)。

1 指定したい曲の入ったCDを再生する

▲ または ▼ ボタンを押す

2 詳細設定メニューにする

FUNCTION ボタンを長く押す

3 詳細設定メニューにする

FUNCTION ボタンを押して、「ITS」を選ぶ

4 指定したい曲を選ぶ

◀ または ▶ ボタンを押す

5 選んだ曲を ITS 指定する

▲ ボタンを押す

「ITS IN」が2秒間表示され、指定が完了したことを知らせます。

6 ふだんの再生画面に戻す

BAND ボタンを押す



メモ

- 曲の指定はCDごとに行われます。CDを入れ替えても、曲の指定は解除されません。
- CD1枚につき、99曲まで指定できます。(「CDX-P1250」、「CDX-P650」以前に発売されたマルチCDプレーヤーでは、指定できる曲は24曲目までになります。)
- ITSは、タイトル入力 (※ マルチCD ⑩ 89ページ) と合わせて、CD100枚分の指定ができます。
- 100枚を超えたときは、一番古い指定内容が解除されて、新しいCDの曲が指定されます。

指定した曲だけ再生する

ITS 再生プレイ設定

ITS 指定 (※ マルチCD ⑨) で指定した曲だけを再生できます。

1 ITS 再生する範囲を選んでおく

ITS 再生は、再生範囲切換で選んだ範囲で行われます

(※ マルチCD ⑥ 85ページ)

2 ITS プレイ設定にする

FUNCTION ボタンを押して、「ITS」を選ぶ

3 ITS 再生を ON にする

▲ ボタンを押す

▼ ボタンを押すと、OFF になります。

4 ふだんの再生画面に戻す

BAND ボタンを押す



メモ

- 手順1で選んだ再生範囲に、指定した曲がない場合は、「ITS EMPTY」が2秒間表示され、ITS再生は始まりません。

マルチCD
11

曲の指定を1曲ずつ解除する

ITS 指定 (解除)

ITS 指定 (☞ マルチ CD ⑩ 87 ページ) で指定した曲を1曲ずつ解除できます。

1 ITS 再生を ON にする

(☞ マルチ CD ⑩ 87 ページ)

2 指定を解除したい曲を再生する

◀ または ▶ ボタンを押す

3 ITS 指定にする

FUNCTION ボタンを長く押し、「ITS」を選ぶ

4 再生している曲の指定を解除する

▼ ボタンを押す

5 ふだんの再生画面に戻す

BAND ボタンを押す



メモ

- 現在の再生範囲に、ITS 指定された曲がなくなった場合は、「ITS EMPTY」が2秒間表示され、ITS 再生が OFF になります。

マルチCD
12

曲の指定を CD ごとに解除する

ITS 指定 (解除)

ITS 指定 (☞ マルチ CD ⑩ 87 ページ) で指定した曲を CD ごとに解除できます。

1 ITS 再生を OFF にする

(☞ マルチ CD ⑩ 87 ページ)

2 指定を解除したい CD を再生する

▲ または ▼ ボタンを押す

3 ITS 指定にする

FUNCTION ボタンを長く押し、「ITS」を選ぶ

4 再生している CD の指定を解除する

▼ ボタンを押す

「ITS CLEAR」が2秒間表示され、指定が解除されたことを知らせます。

5 ふだんの再生画面に戻す

BAND ボタンを押す

CDのタイトルを入力して、本機に登録できます。登録したタイトルは、本機のディスプレイに表示できます。



ご注意

- 「CD TEXT」(※はじめに②10ページ)を再生しているときや、タイトル入力機能のないマルチCDを組み合わせたときは、操作できません。

1 タイトル入力したいCDを再生する

2 タイトル入力画面を表示する

FUNCTION ボタンを長く押す

「TITLE IN」と表示され、タイトル入力画面になります。

3 タイトルを入力する

▲ / ▼ / ◀ / ▶ ボタンを押す

■ 入力したい文字を選ぶとき

次の文字を選ぶ：▲を押す

前の文字を選ぶ：▼を押す

文字は、空白()、アルファベット(A～Z)、記号(!, +, #など)、数字(0～9)の中から選ぶことができます。

■ 入力したい位置にカーソルを移動するとき

右に移動する：▶を押す

左に移動する：◀を押す

4 10文字目を点滅させる

▶ ボタンを押す

5 入力したタイトルを登録する

10文字目が点滅しているときに、▶ ボタンを押す

入力位置の点滅が終わると、入力したタイトルが登録されます。

6 ふだんの再生画面に戻る

BAND ボタンを押す

タイトル入力中(文字が点滅しているとき)にBANDボタンを押すと、タイトル入力画面が解除されて、ふだんの再生画面に戻ります。(入力中のタイトルは登録されません。)



メモ

- タイトルは、10文字まで入力できます。
- マルチCDには、ITS (※マルチCD⑨87ページ)と合わせて、CD100枚分のタイトルを登録できます。
- 100枚を超えたときは、一番古いCDのタイトルが消されて、新しいCDのタイトルが登録されます。
- CDを取り出しても、登録したタイトルは削除されません。

マルチCD

14

タイトルやアーティスト名を表示させる

タイトル表示

トラックタイトルやディスクタイトル、アーティスト名などを表示させることができます。また、隠れている文字をスクロール表示させることもできます。



ご注意

- 本機のディスプレイの文字表示は、半角英数字のみに対応しています。

1

表示を切り換える

DISPLAY ボタンを押す

ボタンを押すごとに、次の順序で切り換わります。

CD-DA 再生時

トラック番号



DISC TITLE (ディスクタイトル)



トラック番号に戻る

「CD TEXT」再生時

トラック番号



DISC TITLE (ディスクタイトル)



DSC ARTIST (ディスクアーティスト名)



TRK TITLE (トラックタイトル)



TRK ARTIST (トラックアーティスト名)



トラック番号に戻る



知っていると便利

- 隠れている文字を表示させるには、DISPLAY ボタンを長く押します。



メモ

- タイトル名などが収録されていないディスクで表示を切り換えると、「NO D-TITLE」などと表示されます。
- CDのタイトルを入力していない場合はDISC TITLE (ディスクタイトル)には切り換わりません。

マルチCD

15

タイトルを見て聞きたいCDをさがす

ディスクリスト表示

CDのタイトル一覧(ディスクリスト)を見ながら、聞きたいCDを選べます。ディスクリストは本機のディスプレイに表示されます。

1

ディスクリストを表示する

FUNCTION ボタンを押して、「TITLE LIST」を選ぶ

2

再生したいディスクを選ぶ

◀ または ▶ ボタンを押す

次のCDを選ぶとき：▶を押す

前のCDを選ぶとき：◀を押す

3

ディスクを再生する

▲ ボタンを押す

4

再生画面に戻る

BAND ボタンを押す



メモ

- タイトルが入力されていないCDでは、「NO D-TITLE」と表示されます。
- ディスクリストは、30秒間何も操作しないと自動的に解除されます。

再生を一時停止する

ポーズ設定

ディスクの再生を一時停止できます。

1 ポーズ設定にする

FUNCTION ボタンを押して、**「PAUSE」** を選ぶ

2 ポーズを ON にする

▲ ボタンを押す

▼ ボタンを押すと、OFF になります。

3 ふだんの再生画面に戻す

BAND ボタンを押す

音を聞きやすくする

コンプレッション設定

大きな音と小さな音の音量差を小さくしたり、低音域を押し上げたりします。COMP/DBE 機能付きのマルチCD プレーヤーを接続したときに操作できます。



ご注意

- COMP (DBE) 機能のないマルチCD を組み合わせたときは、「NO COMP」が表示され、操作できません。



COMP とは

- COMP は、「Compression (コンプレッション)」の略です。大きな音と小さな音の音量差 (ダイナミックレンジ) を小さくします。



DBE とは

- DBE は、「Dynamic Bass Emphasis (ダイナミック バス エンファシス)」の略です。車内で不足しがちな低音域を押し上げる機能です。

1 コンプレッション設定にする

FUNCTION ボタンを押して、**「COMP」** を選ぶ

2 設定を切り換える

▲ または ▼ ボタンを押す

ボタンを押すごとに、次の順序で設定が切り換わります。

COMP 1



COMP 2



COMP OFF



DBE 1



DBE 2

3 ふだんの再生画面に戻す

BAND ボタンを押す



メモ

- COMP、DBE は 1 より 2 の方が効果が大きくなります。

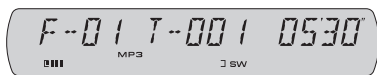
USB について

USB コントロール対応

当社のUSBアダプター(「CD-UB10」)と組み合わせると、USB機器を本機から操作することができます。

本機でのUSBアダプター(例:「CD-UB10」)の基本的な操作方法を説明しています。USBアダプターの機能について詳しくは、組み合わせたUSBアダプターの取扱説明書をご覧ください。

(画面例)



USB

1

USBのふだんの操作

1

ソースをUSBにする

SOURCE ボタンを押す

2

フォルダーを切り換える

▲ または ▼ ボタンを押す

次のフォルダーを選ぶとき：▲を押す

前のフォルダーを選ぶとき：▼を押す

3

曲を選ぶ(または早送り/早戻しする)

◀ または ▶ ボタンを押す

■ 聞きたい曲を選ぶとき

次の曲を選ぶ：▶を押す

前の曲を選ぶ：◀を押す

■ 早送り/早戻しをするとき

早送り：▶を長く押す

早戻し：◀を長く押す

4

USB機器の再生をやめる

他のソースに切り換えるか、電源OFFにしてください。

(※ ここだけで ① 24 ページ)



知っていると便利

- USB機器は、いつでも本機から取り外すことができます。再生中に取り外すと、「NO DEVICE」と表示されます。



メモ

- USB機器の接続をしたとき、機器の情報を読みとる間「FRMT READ」と表示されます。このため、再生までに時間がかかります。

タイトルを見て再生したいファイルやフォルダーをさがす

フォルダー／ファイルリスト表示

リモコンでの操作 **DVH**

ファイル名やフォルダー名の一覧（フォルダー／ファイルリスト）を見ながら、再生したいファイルやフォルダーを選べます。フォルダー／ファイルリストは、別売のモニターに表示されます。



メモ

- 文字表示は、ひらがなや漢字などにも対応しています。
- 本機のディスプレイには、「LIST」が常に表示されています。
- ファンクションメニューからも、タイトルリストが表示できます。(※ USB ⑨ 96 ページ)
- フォルダー／ファイルリストは、必ず「ROOT」から表示されます。



ご注意

- リスト画面の文字表示は、スクロールしません。

1 再生したいファイルを選ぶ

内蔵プレーヤー「タイトルを見て再生したいファイルやフォルダーをさがす」(※ CD ⑨ 68 ページ)の手順 1～6 を参照して再生したいファイルを選ぶ

ファンクションメニューの切り換えかた

「繰り返し再生する」「違う曲順で再生する」などの便利な機能を使うときは、ファンクションメニューで機能を選んで操作します。

(画面例)



使いたい機能を選ぶ

1 ファンクションメニューにする

FUNCTION ボタンを押す

2 機能を切り換える

FUNCTION ボタンを押す

ボタンを押すごとに、次の順序で機能が切り換わります。

REPEAT (再生範囲設定)

(※ USB ④ 94 ページ)



RANDOM (ランダムプレイ設定)

(※ USB ⑤ 94 ページ)



SCAN (スキャンプレイ設定)

(※ USB ⑥ 95 ページ)



PAUSE (ポーズ設定)

(※ USB ⑦ 96 ページ)



LIST (フォルダー／ファイルリスト表示)

(※ USB ⑧ 96 ページ)



REPEAT に戻る



メモ

- ふだんの再生画面に戻るときは、BAND ボタンを押します。(約 30 秒間、何も操作しなかったときも、自動的に解除されます。)

USB
4

繰り返し再生する

再生範囲設定

繰り返し再生する範囲を設定できます。



設定の内容

オールリピート：

すべての曲を繰り返し再生します。

トラックリピート：

再生中の曲を繰り返し再生します。

フォルダーリピート：

再生中のフォルダーを繰り返し再生します。

1

再生範囲設定にする

FUNCTION ボタンを押して、「REPEAT」を選ぶ

2

設定を切り換える

◀または▶ ボタンを押す

ボタンを押すごとに、次の順序で再生範囲が切り換わります。

ALL (オールリピート)



TRK (トラックリピート)



FLD (フォルダーリピート)



ALLに戻る

3

ふだんの再生画面に戻す

BAND ボタンを押す

USB
5

違う曲順で再生する

ランダムプレイ設定

曲を順不同 (ランダム) に再生できます。いつもと違った曲順で音楽を楽しみたいときに便利です。

1

ランダム再生する範囲を選んでおく

ランダムプレイは、再生範囲設定で選んだ範囲で行われます (USB 4)

2

ランダムプレイ設定にする

FUNCTION ボタンを押して、「RANDOM」を選ぶ

3

ランダムプレイをONにする

▲ ボタンを押す

▼ ボタンを押すと、OFFになります。

4

BAND ボタンを押す

ふだんの再生画面に戻ります



メモ

- 再生範囲がトラックリピートのときにランダムプレイ設定をONにすると、再生範囲がフォルダーリピートに切り換わってランダムプレイが行われます。

曲のはじめの部分だけを、約10秒ずつ再生できます（スキャン再生）。聞きたい曲を探すときに便利です。

1 スキャン再生する範囲を選んでおく

スキャンプレイは、再生範囲設定で選んだ範囲で行われます
(USB ④ 94 ページ)

■ 聞いているフォルダー内で聞きたい曲を探すとき

再生中のフォルダーのすべての曲を、約10秒ずつ再生します。再生範囲をフォルダーリピートに切り換えます。

■ USB 機器全体から聞きたい曲を探すとき

USB 機器に収録されているすべての曲を、約10秒ずつ再生します。再生範囲をオールリピートに切り換えます。

2 スキャンプレイ設定にする

FUNCTION ボタンを押して、
「SCAN」を選ぶ

3 スキャンプレイを ON にする

▲ ボタンを押す

曲の初めの約10秒間が次々に再生されます。

- スキャンプレイを始めて30秒たつと、ふだんの再生画面に自動的に戻ります。

4 聞きたい曲やフォルダーが再生されたら、スキャンプレイを OFF にする

▼ ボタンを押す

- ふだんの再生画面に戻っていたら、まず手順2の操作でスキャンプレイ設定を選びます。次に、▼ ボタンを押すと、スキャンプレイ設定がOFFになります。

5 ふだんの再生画面に戻る

BAND ボタンを押す



メモ

- スキャン再生を始めた曲まで戻ると、スキャン再生は解除されます。
- 再生範囲がトラックリピートのときにスキャンプレイ設定をONにすると、再生範囲がフォルダーリピートに切り換わってスキャンプレイが行われます。

USB
7

再生を一時停止する

ポーズ設定

曲の再生を一時停止できます。

1 ポーズ設定にする

FUNCTION ボタンを押して、
「PAUSE」を選ぶ

2 ポーズを ON にする

▲ ボタンを押す



▼ ボタンを押すと、OFF になります。

3 ふだんの再生画面に戻す

BAND ボタンを押す



メモ

- リモコン (DVHモード) の  ボタンを押しても、曲の再生を一時停止できません。通常の再生に戻るには、もう一度  ボタンを押します。

USB
8タイトルを見て再生したい
ファイルやフォルダーをさがす
フォルダー／ファイルリスト表示

ファイル名やフォルダー名の一覧 (フォルダー／ファイルリスト) を見ながら、再生したいファイルやフォルダーを選べます。フォルダー／ファイルリストは、別売のモニターに表示されます。



メモ


- 文字表示は、ひらがなや漢字などにも対応しています。
- 本機のディスプレイには、「LIST」が常に表示されています。
- フォルダー／ファイルリストは、必ず「ROOT」から表示されます。



ご注意

- リスト画面の文字表示は、スクロールしません。

1 再生したいファイルを選ぶ

内蔵プレーヤー「タイトルを見て再生したいファイルやフォルダーをさがす」
( CD 16 74 ページ) の手順 1～6
を参照して再生したいファイルを選ぶ

ソース情報画面／タイトル画面を表示する

フォルダー番号、再生経過時間など（ソース情報画面）とタイトル（タイトル画面）を表示することができます。ソース情報画面／タイトル画面は、別売のモニターに表示されます。

1 画面を切り換える

DISP ボタンを押す

ボタンを押すごとに、次のように画面が切り換わります。

ソース情報画面

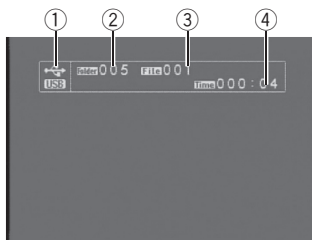


ソース情報画面、タイトル画面

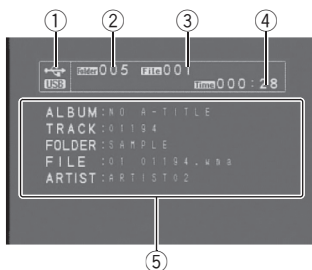


ソース情報画面に戻る

ソース情報画面



タイトル画面



- ① ソースの種類
- ② フォルダー番号
- ③ トラック（ファイル）番号
- ④ 再生経過時間
- ⑤ タイトル名

以下のタイトル名が表示されます。

ALBUM（アルバムタイトル）
 TRACK（トラックタイトル）
 FOLDER（フォルダー名）
 FILE（ファイル名）
 ARTIST（アーティスト名）



メモ

- 文字表示は、ひらがなや漢字などにも対応しています。
- 本機のディスプレイには「フォルダー番号」「ファイル番号」「再生経過時間」が常に表示されています。



ご注意

- タイトル画面の文字情報はスクロールしません。

iPodについて

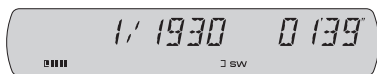
iPodコントロール対応

当社のiPod®用アダプター(「CD-IB10II」)と組み合わせると、iPodを本機から操作することができます。

iPodは、米国および他の国々で登録されたApple Computer, Inc. の商標です。

本機でのiPod®用アダプター(例:「CD-IB10II」)の基本的な操作方法を説明しています。iPod®用アダプターの機能について詳しくは、組み合わせたiPod®用アダプターの取扱説明書をご覧ください。

(画面例)



iPod
1

iPodのふだんの操作

ここだけの操作で、iPodの音楽を聞くことができます。

1 ソースを iPod にする

SOURCE ボタンを押す

2 曲を選ぶ(または早送り/早戻しする)

◀ または ▶ ボタンを押す

■ 聞きたい曲を選ぶとき

次の曲を選ぶ: ▶ を押す

前の曲を選ぶ: ◀ を押す

■ 早送り/早戻しをするとき

早送り: ▶ を長く押す

早戻し: ◀ を長く押す

3 iPodの再生をやめる

他のソースに切り換えるか、電源をOFFにする



メモ

- 再生範囲が、1曲リピートのときは、◀ または ▶ ボタンを押して曲を選ぶことはできません。

ジャンル、アーティスト、アルバムのリストから、お好みのアーティストやアルバムなどを選んで再生できます。リスト表示は、別売のモニターに表示されます。



メモ

- 文字表示は、ひらがなや漢字などにも対応しています。
- 本機のディスプレイには、「LIST」が常に表示されています。
- プレイリストを選んだ場合、本機では最初に iPod の本体名称のプレイリストを表示します。これは iPod に収録されているすべての曲を再生するプレイリストです。



ご注意

- リスト画面の文字表示は、スクロールしません。

1 ブラウズモードにする

▲ または ▼ ボタンを押す

2 カテゴリーを選ぶ

▲ または ▼ ボタンを押してカテゴリーを表示し、▶ ボタンを押す

▲ または ▼ ボタンを押すごとに、次のように切り換わります。

PLAYLISTS (プレイリスト)



ARTISTS (アーティスト)



ALBUMS (アルバム)



SONGS (曲)



GENRES (ジャンル)

3 お好みのジャンルを選ぶ

▲ または ▼ ボタンを押してお好みのジャンルを選び、▶ ボタンを押す

4

お好みのアーティストを選ぶ

▲ または ▼ ボタンを押してお好みのアーティストを選び、▶ ボタンを押す

5

お好みのアルバムを選ぶ

▲ または ▼ ボタンを押してお好みのアルバムを選び、▶ ボタンを押す

6

お好みの曲を選ぶ

▲ または ▼ ボタンを押してお好みの曲を選び、▶ ボタンを押す

お好みの再生が始まります。



メモ

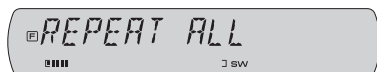
- 1つ前のリストに戻るには、◀ ボタンを押します。
- 手順3～手順5で、再生したいリストを選んでいるときに、▶ ボタンを2秒以上押すと、選んだリストをすぐに再生することができます。
- ◀ ボタンを長く押すと、トップメニューに戻ることができます。
- ジョイスティック (DVHモード) を上下左右に操作しても、同様の操作ができます。

iPod
3

ファンクションメニューの切り換えかた

「同じ曲やリストを繰り返し聞く」「いつもと違う曲順で聞く」などの便利な機能を使うときは、ファンクションメニューで機能を選んで操作します。

(画面例)



使いたい機能を選ぶ

1 ファンクションメニューにする

FUNCTION ボタンを押す

2 機能を切り換える

FUNCTION ボタンを押す

ボタンを押すごとに、次の順序で機能が切り換わります。

REPEAT (再生範囲設定)

(※ iPod 4)



SHFL (シャッフル設定)

(※ iPod 101 ページ)



PAUSE (ポーズ設定)

(※ iPod 101 ページ)



REPEAT に戻る



メモ

- ふだんの再生画面に戻るときは、BAND ボタンを押します。(約30秒間、何も操作しなかったときも、自動的に解除されます。)

iPod
4

同じ曲やリストを繰り返し聞く

再生範囲設定

曲を繰り返し (リピート) 再生できます。繰り返しの範囲は、今聞いている曲、今聞いているリストから選べます。



設定の内容

1 曲リピート:

今聞いている曲を繰り返し再生します。

リスト内全曲リピート:

今聞いているリスト内のすべての曲を繰り返し再生します。

1

再生範囲設定にする

FUNCTION ボタンを押して、「REPEAT」を選ぶ

2

設定を切り換える

◀または▶ ボタンを押す

ボタンを押すごとに、次の順序で再生範囲が切り換わります。

ONE (1曲リピート)



ALL (リスト内全曲リピート)

3

ふだんの再生画面に戻す

BAND ボタンを押す



メモ

- 1曲リピートを選んだ場合、◀または▶ ボタンを押しても、曲を切り換えることはできません。

曲やアルバムを順不同（ランダム）に再生できます。いつもと違った曲順で音楽を楽しみたいときに便利です。



設定の内容

ソングシャッフル：

今聞いているリスト内の曲をランダムに再生します。

アルバムシャッフル：

アルバムをランダムに選び、選んだアルバム内の曲を順番通りに再生します。

1 シャッフル設定にする

FUNCTION ボタンを押して、**「SHFL」** を選ぶ

2 設定を切り換える

◀ または ▶ ボタンを押す

ボタンを押すごとに、次の順序で再生範囲が切り換わります。

OFF



SONG（ソングシャッフル）



ALBUM（アルバムシャッフル）



OFF に戻る

3 ふだんの再生画面に戻す

BAND ボタンを押す

曲の再生を一時停止できます。

1 ポーズ設定にする

FUNCTION ボタンを押して、**「PAUSE」** を選ぶ

2 ポーズを ON にする

▲ ボタンを押す



▼ ボタンを押すと、OFF になります。

3 ふだんの再生画面に戻す

BAND ボタンを押す



メモ

- リモコン（DVHモード）の  ボタンを押しても、曲の再生を一時停止できます。通常の再生に戻るには、もう一度  ボタンを押します。

ソース情報画面／タイトル画面を表示する

タイトルや曲番号、再生経過時間などのソース情報画面を表示することができます。



メモ

- ソース情報画面／タイトル画面は、別売のモニターに表示されます。タイトル名の文字表示はひらがなや漢字などにも対応しています。
- 本機のディスプレイには「曲番号」「再生経過時間」が常に表示されています。

1

画面を切り換える

DISP ボタンを押す

ボタンを押すごとに、次のように画面が切り換わります。

ソース情報画面

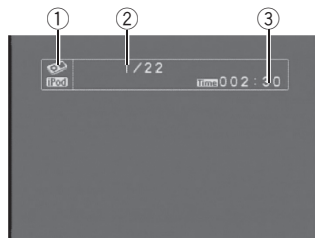


ソース情報画面、タイトル画面

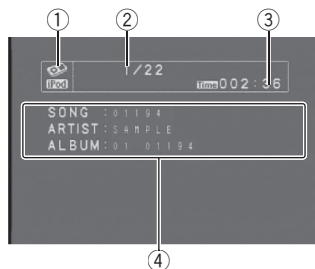


ソース情報画面に戻る

ソース情報画面



タイトル画面



① ソースの種類

② 曲番号

③ 再生経過時間

④ タイトル名

以下のタイトル名が表示されます。

SONG (曲名)

ARTIST (トラックタイトル)

ALBUM (フォルダー名)

FILE (ファイル名)

ARTIST (アーティスト名)



ご注意

- タイトル画面の文字情報はスクロールしません。

テレビについて

本機でのテレビの基本的な操作方法を説明しています。テレビの機能について詳しくは、組み合わせたテレビの取扱説明書をご覧ください。

(画面例)



テレビ 1

テレビのふだんの操作

ここだけの操作で、テレビを見ることができます。

1 ソースをテレビにする

SOURCE ボタンを押す

2 バンドを切り換える

BAND ボタンを押す

バンドが切り換わります。

3 チャンネルを切り換える

◀ または ▶ ボタンを押す

4 テレビの受信をやめる

他のソースに切り換えるか、電源をOFFにする



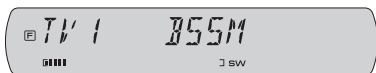
知っていると便利

- 1～6 ボタンでお好みのチャンネルの登録や呼び出しができます。操作方法はラジオと同じです。
(**ラジオ** ① 78 ページ、② 79 ページ)

ファンクションメニューの切り換えかた

ふだんの操作以外の便利な機能を使うときは、ファンクションメニューで機能を選んで操作します。

(画面例)



使いたい機能を選ぶ

1 ファンクションメニューにする

FUNCTION ボタンを押す

2 機能を切り換える

FUNCTION ボタンを押す

ボタンを押すごとに、次の順序で機能が切り換わります。

BSSM設定



MPX (マルチプレックス選択)



BSSM設定に戻る

3 選んだ機能进行操作する

BSSM 設定

▲または▼ボタンを押すごとに、ON/OFF します。BSSMが終了すると、自動的にふだんの受信画面に切り換わります。

マルチプレックス選択

◀または▶ボタンを押すごとに、次の順序で切り換わります。

MAIN



SUB



M+S (MAIN & SUB)



BSSM とは

- BSSMは、「Best Stations Sequential Memory (ベストステーションズシーケンシャルメモリー)」の略です。



メモ

- ふだんの受信画面に戻るときは、BAND ボタンを押します。(30秒間、何も操作しなかったときも、自動的に戻ります。)

DVD プレーヤーについて

本機でのDVDプレーヤー（例：マルチDVD「XDV-P70」、1枚型DVD「SDV-P7」）の基本的な操作方法を説明しています。DVDプレーヤーの機能について詳しくは、組み合わせたDVDプレーヤーの取扱説明書をご覧ください。

(画面例)



S-DVD

1

DVD のふだんの操作

ここだけの操作で、DVDプレーヤーでディスクを再生することができます。

1

ソースをDVD (S-DVD) にする

SOURCE ボタンを押す

2

マルチDVDの場合、1～6 ボタンを押す

押した番号のディスクに切り換わります

3

チャプター／トラックを選ぶ (または早送り／早戻しする)

◀ または ▶ ボタンを押す

■ 聞きたいチャプター／トラックを選ぶとき

次のチャプター／トラックを選ぶ：

▶ ボタンを押す

前のチャプター／トラックを選ぶ：

◀ ボタンを押す

■ 早送り／早戻しをするとき

早送り：▶ ボタンを長く押す

早戻し：◀ ボタンを長く押す

4

DVD プレーヤーの再生をやめる

他のソースに切り換えるか、電源をOFFにする

ファンクションメニューの切り換えかた

ふだんの操作以外の便利な機能を使うときは、ファンクションメニューで機能を選んで操作します。

(画面例)



使いたい機能を選ぶ

1 ファンクションメニューにする

FUNCTION ボタンを押す

2 機能を切り換える

FUNCTION ボタンを押す

ボタンを押すごとに、次の順序で機能が切り換わります。

DVD、ビデオ CD 再生時

REPEAT (再生範囲設定)

↓

PAUSE (ポーズ設定)

↓

REPEAT に戻る

CD 再生時

REPEAT (再生範囲設定)

↓

RANDOM (ランダムプレイ設定)

↓

SCAN (スキャンプレイ設定)

↓

ITS (ITSプレイ設定)

↓

PAUSE (ポーズ設定)

↓

REPEAT に戻る

CD-ROM 再生時

REPEAT (再生範囲設定)

↓

RANDOM (ランダムプレイ設定)

↓

SCAN (スキャンプレイ設定)

↓

PAUSE (ポーズ設定)

↓

REPEAT に戻る

3 選んだ機能进行操作する

再生範囲設定

◀ または ▶ ボタンを押すごとに、再生範囲が次の順序で切り換わります。

DVD 再生時

DSC (ディスクリート)

↓

CPT (チャプターリピート)

↓

TTL (タイトルリピート)

↓

DSC に戻る

ビデオ CD、CD 再生時

DSC (ディスクリート)

↓

TRK (トラックリピート)

↓

DSC に戻る

次のページへ続く

CD-ROM再生時

DSC (ディスクリピート)



TRK (ファイルリピート)



FLD (フォルダーリピート)



DSCに戻る

ランダムプレイ設定

▲ または ▼ ボタンを押すごとに、ON / OFFします。

スキャンプレイ設定

▲ または ▼ ボタンを押すごとに、ON / OFFします。

ポーズ設定

▲ または ▼ ボタンを押すごとに、ON / OFFします。

タイトル入力

タイトル入力の操作方法は、内蔵プレーヤーと同じです。(☞ **CD 6 66 ページ**)

ITSプレイ設定

ITSプレイ設定の操作方法は、マルチCDと同じです。(☞ **マルチCD 10 87 ページ**)

ITS指定

ITS指定の操作方法は、マルチCDと同じです。(☞ **マルチCD 9 87 ページ**)

**知っていると便利**

- リモコンの **[FUNC]** ボタンを押して、機能を選ぶこともできます。

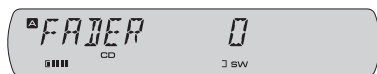
**メモ**

- ふだんの再生画面に戻るときは、BAND ボタンを押します。(タイトル入力やITS登録を選んでいるとき以外は、30秒間何も操作しないと自動的にふだんの再生画面に戻ります。)
- 「CD TEXT」に対応しているDVDプレーヤーで「CD TEXT」を再生しているときは、タイトル入力には切り換わりません。(「CD TEXT」にあらかじめ収録されているタイトルは変更できません。)
- 組み合わせたDVDプレーヤー、マルチDVDプレーヤーによって、選べる機能は異なります。

オーディオ調節メニューの切り換えかた

「音量バランス調節」「ラウドネス」などの音質調節機能を使うときは、オーディオ調節メニューで機能を選んで操作します。

(画面例)



本機に「DEQ-P9」を接続している場合

- 『音の調節 (別売DSP)』を参照してください。
(**別売DSP** 118ページ)
ここで説明している機能は使用できません。

使いたい機能を選ぶ

1

オーディオ調節メニューにする

AUDIO ボタンを押す

2

使いたい機能を選ぶ

AUDIO ボタンを押す

ボタンを押すごとに、次の順序で機能が切り換わります。

FADER (BAL) (音量バランス調節)

(**音の調節** 111ページ)

EQ FLAT (イコライザー調節)

(**音の調節** 112ページ)

50Hz 0 (イコライザー7バンド調節)

(**音の調節** 113ページ)

LOUD (ラウドネス)

(**音の調節** 114ページ)

SUB.W

(サブウーファースのON/OFFと位相切り換え)

(**音の調節** 115ページ)

80Hz 0 (サブウーファース調節)

(**音の調節** 115ページ)

BASS (バスブースター)

(**音の調節** 116ページ)

HPF (ハイパスフィルター)

(**音の調節** 116ページ)

SLA (ソースレベルアジャスター)

(**音の調節** 117ページ)

FADER (BAL) に戻る



知っていると便利

- リモコンの(⏮)ボタンを押して、機能を選ぶこともできます。



メモ

- ふだんの再生画面に戻るときは、BAND ボタンを押します。(30秒間何も操作しないと自動的にふだんの再生画面に戻ります。)
- サブウーファース調節メニューは、サブウーファース設定メニューの設定がONのときだけ選べます。
- ラジオのFMを聞いているときは、SLAには切り換わりません。

お好みの音の空間に 設定する

VSC

VSCは、あらかじめ用意された音場設定を選ぶことで、お好みの音の空間を手軽に演出できます。さらに、乗車位置を選ぶことで、より自然な音響効果が得られます。



VSCとは

- VSCは、「Virtual Sound Creator (バーチャルサウンドクリエイター)」の略です。



ご注意

- MUTE中やATT中は、VSC機能は操作できません。

1 音場設定を切り換える

VSC ボタンを押す

ボタンを押すごとに、次の順序で音場設定が切り換わります。

VSC OFF



STUDIO



THEATER



STAGE



LIVING



VSC OFFに戻る

2 乗車位置を選ぶ

◀ または ▶ ボタンを押す

LEFT (左)、CENTER (左+右)、RIGHT (右) の中から選べます。

3 ふだんの再生画面に戻す

BAND ボタンを押す

前後左右の音量バラ ンスを調節する

フェーダー/バランス

前後左右のスピーカーからの音量バランスを調節できます。より自然に聞こえるバランスに設定してください。



ご注意

- S/Wコントロール (※初期設定 ⑥ 153ページ) を、R-SP S/Wにしたときは、FADER (フェーダー) は調節できません。

1 音量バランス調節にする

AUDIO ボタンを押して、
「FADER (BAL)」を選ぶ

2 音量バランスを調節する

▲ / ▼ / ◀ / ▶ ボタンを押す

■ 前後を調節するとき

前を強める : ▲ ボタンを押す

後ろを強める : ▼ ボタンを押す

前後のバランスは、F 15 ~ R 15 の範囲で調節できます。

■ 左右を調節するとき

右を強める : ▶ ボタンを押す

左を強める : ◀ ボタンを押す

左右のバランスは、L 15 ~ R 15 の範囲で調節できます。

3 ふだんの再生画面に戻す

BAND ボタンを押す

音の調節

4

イコライザーカーブ を選ぶ

あらかじめ用意されたイコライザーカーブを選ぶだけで、好みの音質にできます。



ご注意

- 交通情報を受信しているときや電話の待ち受けソースを選んでいるときは、イコライザーカーブを選べません。

1

イコライザーカーブを選ぶ

EQ ボタンを押す

ボタンを押すごとに、次の順序でイコライザーカーブが切り換わります。

EQ FLAT



SUPER BASS (S-BASS)



POWERFUL (PWRFL)



NATURAL



VOCAL



CUSTOM1



CUSTOM2



EQ FLATに戻る



メモ

- 「CUSTOM1」と「CUSTOM2」は、お好みに合わせて調節できます。
- 「EQ FLAT」は、イコライザーによる音の補正がされていません。他のイコライザーカーブと切り換えることで、そのイコライザーカーブの効果を確認することもできます。

音の調節

5

イコライザーカーブ を大まかに補正する

ニュアンスコントロール

あらかじめ用意されたイコライザーカーブの簡単な補正ができます。



ご注意

- 「EQ FLAT」や「CUSTOM1」「CUSTOM2」は、ニュアンスコントロールによる補正はできません。

1

イコライザー調節にする

AUDIO ボタンを押して選ぶ

現在の設定が表示されます。



2

調節するイコライザーカーブ を選ぶ

◀ または ▶ ボタンを押す

3

レベルを調節する

▲ または ▼ ボタンを押す

レベルを大きくするとき：▲を押す
レベルを小さくするとき：▼を押す
レベルは-6～+6の範囲で調節できます。
「NATURAL」を選んでいる場合、調節できるレベルは-4～+6の範囲になります。

4

ふだんの再生画面に戻る

BAND ボタンを押す

イコライザーカーブ を細かく調節する

お好みに合わせて、イコライザーカーブの周波数ごとにレベルを調節できます。



CUSTOM1 とは

- 調節したイコライザーカーブがソースごとに登録されます。(内蔵DVDとマルチCD、エクスターナルユニット1と2は、同じ設定になります。)「CUSTOM2」以外のカーブを選んでいるときに調節すると、自動的に「CUSTOM1」に登録されます。



CUSTOM2 とは

- すべてのソースに共通のイコライザーカーブで調節ができます。「CUSTOM2」を選んでいるときに調節すると、調節内容が更新されます。

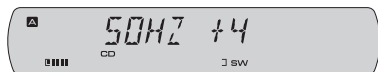
1 調節したいイコライザー カーブを選ぶ

EQ ボタンを押して選ぶ

2 イコライザーフバンド調節に する

AUDIO ボタンを押して選ぶ

現在の設定が表示されます。



3 周波数を選ぶ

◀ または ▶ ボタンを押す

高い周波数を選ぶとき：▶ を押す

低い周波数を選ぶとき：◀ を押す

50Hz、125Hz、315Hz、800Hz、2kHz、5kHz、12.5kHzの中から選べます。

4

レベルを調節する

▲ または ▼ ボタンを押す

レベルを大きくするとき：▲ を押す

レベルを小さくするとき：▼ を押す

レベルは-6～+6の範囲で調節できます。

5

ふだんの再生画面に戻す

BAND ボタンを押す

音の調節

7

小さな音量でも聞きやすくする

ラウドネス

小さな音量で音楽を聞いていると、低音・高音が不足しているように感じることがあります。ラウドネスは、この不足感を補って、音を聞きやすくします。

1 ラウドネスにする

AUDIO ボタンを押して、「LOUD」を選ぶ

2 ラウドネスを ON にする

▲ ボタンを押す

▼ ボタンを押すと、OFF になります。

3 ラウドネスの効果を選ぶ

◀ または ▶ ボタンを押す

LOW (弱)、MID (中)、HIGH (強) の中から選べます。

4 ふだんの再生画面に戻す

BAND ボタンを押す

音の調節

8

サブウーファーを使う

本機は、リアスピーカー端子または、RCA 出力端子に接続したサブウーファーを調節できます。サブウーファーの調節は、

① サブウーファーの ON / OFF と位相切り換え

② サブウーファー調節

の2つのステップで行います。

「サブウーファーの設定について」(※ はじめに ⑥ 18 ページ) を参照して、お手持ちのシステムに合ったサブウーファーの設定を行ってください。



ご注意

● RCA 出力設定 (※ 初期設定 ⑦ 153 ページ) を P/O FULL にしたときは、サブウーファーの調節はできません。

● サブウーファーの ON / OFF と位相切り換え (※ 音の調節 ⑨ 115 ページ) で、サブウーファーを OFF にした場合は、サブウーファーのカットオフ周波数選択とレベル調節 (※ 音の調節 ⑩ 115 ページ) は操作できません。

サブウーファースのON / OFFと位相切り換え

サブウーファー

本機にサブウーファースを接続して使用する場合は、サブウーファースの設定をONにする必要があります。

ONにしたあと、サブウーファースから出力される音が自然に聞こえるように、位相を切り換えてください。



位相切り換えとは

- サブウーファースから出力される音の中には、フロント/リアスピーカーから出力される音と同じ周波数帯域の成分が含まれています。車内条件により、これらの音の位相が反転（干渉）し、打ち消し合ってしまうことがあります。この現象を防ぐために、車内条件に合わせて位相を正相または逆相に切り換えてください。

正相：サブウーファースの音が、フロント/リアスピーカーと同時に出力される

逆相：サブウーファースの音が、フロント/リアスピーカーとタイミングをずらして出力される

1 サブウーファースをON / OFFにする

AUDIO ボタンを押して、「SUB.W」を選ぶ

2 サブウーファースをONにする

▲ ボタンを押す

- ▼ ボタンを押すと、OFFになります。

3 サブウーファースの位相を選ぶ

◀ または ▶ ボタンを押す

正相（NOR）を選ぶとき：▶ ボタンを押す

逆相（REV）を選ぶとき：◀ ボタンを押す

4 ふだんの再生画面に戻す

BAND ボタンを押す

サブウーファースのカットオフ周波数選択とレベル調節

サブウーファー調節

サブウーファースから出力される音域と出力レベルを設定します。他のスピーカーとのつながりが自然になるように設定してください。



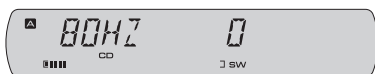
カットオフ周波数とは

- 選んだ周波数よりも上の周波数（もしくは下の周波数）の音域をカットします。このときに選択する周波数を、カットオフ周波数と呼びます。サブウーファースのカットオフ周波数の設定では、カットオフ周波数よりも上の音域がカットされ、低音域だけが出力されます。また、カットオフ周波数以下の音域の出力レベルを上げることで、低音をさらに強調させることもできます。

1 サブウーファー調節にする

AUDIO ボタンを押して選ぶ

現在の設定が表示されます。



2 カットオフ周波数を選ぶ

◀ または ▶ ボタンを押す

高い周波数を選ぶとき：▶ ボタンを押す

低い周波数を選ぶとき：◀ ボタンを押す

カットオフ周波数は、50Hz、63Hz、80Hz、100Hz、125Hzの中から選べます。

3 レベルを調節する

▲ または ▼ ボタンを押す

レベルを大きくするとき：▲ を押す

レベルを小さくするとき：▼ を押す

レベルは、-24～+6の範囲で調節できます。

4 ふだんの再生画面に戻す

BAND ボタンを押す

音の調節

11

低い音を強調する

バスブースター

低音域を強調させることができます。バスブースターのレベルを上げると、迫力のある低音を再生できます。

1 バスブースターにする

AUDIO ボタンを押して、「BASS」を選ぶ

2 レベルを調節する

▲ または ▼ ボタンを押す

レベルを大きくするとき：▲ を押す
レベルを小さくするとき：▼ を押す
レベルは、0～6の範囲で調節できます。

3 ふだんの再生画面に戻す

BAND ボタンを押す



メモ

- サブウーファー設定のON/OFFによって、ブーストされる音域は、次の周波数以下になります。
サブウーファー設定がONの場合：
サブウーファーのカットオフ周波数に連動
サブウーファー設定がOFFの場合：
100 Hz固定

音の調節

12

低い音を出力しないようにする

ハイパスフィルター

選んだ周波数よりも高い音だけを、フロントスピーカー、リアスピーカーから出力します。

フロントスピーカーとリアスピーカーからは高音だけを出力させ、サブウーファーからは低音だけを出力させることで、各スピーカーとサブウーファーの音のつながりを自然にすることができます。



ハイパスフィルター (HPF) とは

- ハイパスフィルター (HPF) は、設定した周波数 (カットオフ周波数) から下の音域 (低音域) をカットして、高音域を通すフィルターです。



カットオフ周波数とは

- 選んだ周波数よりも下の周波数 (もしくは上の周波数) の音域をカットします。このときに選択する周波数を、カットオフ周波数と呼びます。ハイパスフィルターのカットオフ周波数の設定では、カットオフ周波数よりも下の音域がカットされ、高音域だけが出力されます。

1 ハイパスフィルターにする

AUDIO ボタンを押して、「HPF」を選ぶ

2 ハイパスフィルターをONにする

▲ ボタンを押す

▼ ボタンを押すと、OFFになります。

3 カットオフ周波数を選ぶ

◀ または ▶ ボタンを押す

高い周波数を選ぶとき：▶ ボタンを押す
低い周波数を選ぶとき：◀ ボタンを押す
カットオフ周波数は、50Hz、63Hz、80Hz、100Hz、125Hzの中から選べます。

4 ふだんの再生画面に戻す

BAND ボタンを押す

各ソースの音量を揃える

SLA

ソースを切り換えたときに、ソースごとの音量が違ふことがあります。SLAを使うと、FMの音量を基準にして各ソースの音量をそろえることができます。



SLAとは

- SLAは、「Source Level Adjuster（ソースレベルアジャスター）」の略です。



ご注意

- ラジオのFMを聞いているときは、SLAには切り換わりません。

1 ソースレベルアジャスターにする

AUDIO ボタンを押して、「SLA」を選ぶ

2 レベルを調節する

▲ または ▼ ボタンを押す

レベルを大きくするとき：▲を押す

レベルを小さくするとき：▼を押す

レベルは-4～+4の範囲で調節できます。

3 ふだんの再生画面に戻す

BAND ボタンを押す



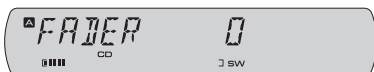
メモ

- AMと交通情報、DVD-videoとDVD-VR、DivXとCD/CD-ROM、AUX1とAUX2、およびEXTERNAL1とEXTERNAL2は同じ設定になります。

本機に「DEQ-P9」を接続している場合

ここでは、本機に別売の5.1ch対応・DSPユニット「DEQ-P9」を接続している場合の「別売DSP」の機能について説明しています。本機に別売の5.1ch対応・DSPユニット「DEQ-P9」を接続しているときだけ操作できます。

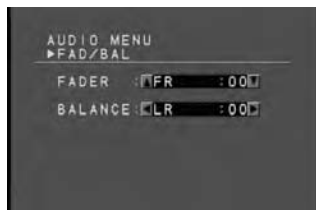
(画面例)



別売のモニターを接続したとき

- 音の調節（別売DSP）で説明している機能の設定画面は、別売のモニターにも表示されます。本書では、本体のディスプレイとボタンを使った操作を説明しています。

(画面例)



別売DSP

1

オーディオ調節のポイント

心地よい音の空間を手軽に演出したり、お好みに合わせてきめ細かく調節することができます。

手軽に心地よい音場を演出する

次の機能は、車種によって異なる音響特性に合わせた音場を手軽に演出できます。

- イコライザーカーブを選ぶ
- リスニングポジションを選ぶ (POSITION)
- ダイナミックレンジコントロールを使う (DRC)
- オートタイムアライメント&イコライジングを行う (オート TA & EQ)

きめ細かくお好みに合わせて調節する

次の順に設定や調節することで、きめ細かく好みの音場を作り出すことができます。

- 接続したスピーカーの設定をする
- リスニングポジションを選ぶ (POSITION)
- タイムアライメントを調節する (TA)
- テストトーンでスピーカーレベルを調節する (TEST TONE)
- クロスオーバー周波数を設定する (HPF)
- スピーカーレベルを調節する
- 3バンドパラメトリックイコライザーを調節する (PEQ-2)

便利な機能

次の機能は、お好みや設定に合わせてお使いください。

- ドルビープロロジックIIを使う (PL II)
- SFCで音場を再現する
- ダウンミックス機能を使う
- オリジナルの音質で聞く (DIRECT)

オーディオ調節メニューの切り換えかた

音を調節するときは、オーディオ調節メニューを切り換えて操作します。

使いたい機能を選ぶ

1 オーディオ調節メニューにする

AUDIO ボタンを押す

2 使いたい機能を選ぶ

AUDIO ボタンを押す

ボタンを押すごとに、次の順序で機能が切り換わります。

FADER (BAL) (音量バランス調節)

( 別売 DSP ④ 121 ページ)

↓
POSI (リスニングポジション)

( 別売 DSP ⑤ 121 ページ)

↓
PL II (ドルビープロロジックII)

( 別売 DSP ⑥ 122 ページ)

↓
PANO OFF

(ドルビープロロジックII ミュージック)

( 別売 DSP ⑦ 123 ページ)

↓
OFF (SFC) ( 別売 DSP ⑧ 124 ページ)

↓
Lo/Ro (ダウンミックス)

( 別売 DSP ⑨ 125 ページ)

↓
DRC

(ダイナミックレンジコントロール)

( 別売 DSP ⑩ 125 ページ)

↓
DIRECT (ダイレクト)

( 別売 DSP ⑪ 126 ページ)

↓
SLA (SLA)

( 別売 DSP ⑫ 126 ページ)

↓
FADER (BAL) に戻る

3 オーディオ調節メニューを解除する

BAND ボタンを押す




メモ

- オーディオ調節メニューは、約30秒間何も操作しないと自動的に解除されます。
- ラジオのFMを聞いているときは、SLAには切り換わりません。
- DVDディスクを再生しているとき以外は、ダイナミックレンジコントロール(DRC)には切り換わりません。
- ダイレクトがONの間は、音量調節(VOLUMEとATT)とドルビープロロジックIIのみ有効です。その他のオーディオ調節はできません。



知っている则便利

- リモコンの  ボタンを押して、機能を選ぶこともできます。

オーディオ調節詳細メニューの切り換えかた

オーディオ調節メニュー以外の音を調節するときは、オーディオ調節詳細メニューを切り換えて操作します。

使いたい機能を選ぶ

1 オーディオ調節詳細メニューにする

AUDIO ボタンを長く押す

2 使いたい機能を選ぶ

AUDIO ボタンを押す

ボタンを押すごとに、次の順序で機能が切り換わります。

AT EQ (オートイコライザー)

( 別売 DSP ⑩ 127 ページ)



FRONT LRG (スピーカー設定)

( 別売 DSP ⑩ 131 ページ)



HPF (クロスオーバー周波数)

( 別売 DSP ⑩ 132 ページ)



FRT-L 0 (スピーカーレベル調節)

( 別売 DSP ⑩ 133 ページ)



TEST TONE (テストトーン)

( 別売 DSP ⑩ 134 ページ)



TA (タイムアライメント選択)

( 別売 DSP ④ 135 ページ)



FL 0 (タイムアライメント調節)

( 別売 DSP ⑫ 136 ページ)



PEQ-2 (3バンドパラメトリックイコライザー)

( 別売 DSP ⑫ 138 ページ)




AT EQに戻る

3 オーディオ調節詳細メニューを解除する

BAND ボタンを押す




メモ

- オーディオ調節詳細メニューは、約30秒間何も操作しないと自動的に解除されます。ただし、テストトーン (TEST TONE) や3バンドパラメトリックイコライザー (PEQ-2) を選んでいる場合、自動では解除されません。
- リスニングポジションでFRT-LかFRT-Rを選んでいると、タイムアライメント調節 (TA) に切り換えたとき、「CHECK POS!」と表示されます。
- オート TA & EQ ( 別売 DSP ⑩ 129 ページ) を行っていないと、オートイコライザー (AT EQ) に切り換えたとき、「SET A.EQ」と表示されます。
- ダイレクトがONの間は、音量調節 (VOLUME) とATT) とドルビープロロジックII のみ有効です。その他のオーディオ調節はできません。



知っていると便利

- リモコンの () ボタンを押して、機能を選ぶこともできます。

前後左右の音量バランスを調節する

フェーダー/バランス

前後左右のスピーカーの音量バランスを調節することができます。

1 音量バランス調節にする

AUDIO ボタンを押して、「FADER (BAL)」を選ぶ

2 音量バランスを調節する

▲ / ▼ / ◀ / ▶ ボタンを押す

■ 前後を調節するとき

前を強める：▲ ボタンを押す

後ろを強める：▼ ボタンを押す

前後のバランスは、F25～R25の範囲で調節できます。

■ 左右を調節するとき

右を強める：▶ ボタンを押す

左を強める：◀ ボタンを押す

左右のバランスはL25～R25の範囲で調節できます。

3 ふだんの再生画面に戻す

BAND ボタンを押す

リスニングポジションを選ぶ

リスニングポジション

乗車位置や人数に合わせて、リスニングポジション（聞く位置）を選ぶことで、音像の定位を適切に補正することができます。



リスニングポジションとは

- リスニングポジションは、座席位置や人数に合わせて、各スピーカーから出る音の遅延時間とレベルを自動的に調節する機能です。SFC機能と組み合わせることで、全身を包むような豊かな音場を体感することができます。（※別売 DSP ⑩ 124ページ）



設定の内容

Front Right :

右ハンドルに運転者のみがいるとき

Front Left :

左ハンドルに運転者のみがいるとき

Front Seat :

同乗者が助手席にいるとき

All Seat :

同乗者が後部座席にいるとき

1 リスニングポジションにする

AUDIO ボタンを押して、「POSI」を選ぶ

2 乗車位置を選ぶ

▲ / ▼ / ◀ / ▶ ボタンを押す

ボタンを同じ方向に押しごとにON/OFFします。

FRT-R (Front Right) : ▶ ボタンを押す

FRT-L (Front Left) : ◀ ボタンを押す

FRONT (Front Seat) : ▲ ボタンを押す

ALL (All Seat) : ▼ ボタンを押す

ドルビープロロジックIIを使う

ドルビープロロジックII

ドルビープロロジックIIを使うと、2チャンネルの音声を5チャンネルに拡張して全帯域で再生することができます。オリジナル録音の空間情報から、より立体的なサラウンド空間を作り出す機能です。従来のドルビープロロジックに比べ、音の定位がより鮮明になり、音の移動も自然に再生されるので、より立体的な音場を楽しむことができます。



ドルビープロロジックIIのON/OFF

- 2チャンネルの音声で5.1チャンネルに適したSFC (MUSICAL、DRAMA、ACTION)を選んだ場合、ドルビープロロジックIIをONにすることをおすすめします。また、2チャンネルに適したSFC (JAZZ、HALL、CLUB)を選んだ場合、ドルビープロロジックIIをOFFにすることをおすすめします。



設定の内容

ムービー：

映画やTVドラマなどのステレオ音声を、5.1チャンネル録音に迫る立体的な音で楽しめます。

ミュージック：

広く深い音場を表現し、音楽などを臨場感豊かに楽しめます。

ミュージックモードのパラメーターを調節することで、好みに合わせた空間表現を得ることができます。(別売DSP ⑦ 123ページ)

マトリックス：

方向性強調回路がオフになるため、シンプルなサラウンド再生になります。FMやTVなどのステレオ放送で受信状態が不安定な場合に向いています。

OFF：

ドルビープロロジックIIをOFFにします。



1 ドルビープロロジックIIにする

AUDIO ボタンを押して、「PL II」を選ぶ



2 好みのモードを選ぶ

◀または▶ ボタンを押す

ボタンを押すごとに、次のように切り換わります。

OFF



MOVIE (ムービー)



MUSIC (ミュージック)



MATRIX (マトリックス)



OFFに戻る



メモ

- スピーカー設定モード (別売DSP ⑩ 131ページ)で、センタースピーカーとリアスピーカーがOFFに設定されているときは、ドルビープロロジックIIモードには切り換わりません。
- 2チャンネルのモノラルソースを再生しているときにドルビープロロジックIIをONにすると、次のような現象が起こることがあります。
* センタースピーカーの設定を「SMALL」や「LARGE」にしている場合、センタースピーカーだけから音が出力されることがあります。また、センタースピーカーを接続しないと、音が出力されないことがあります。
- ドルビープロロジックIIは、48kHzまでのサンプリング周波数で動作します。

ミュージックモードを調節する

ドルビープロロジックII ミュージック

ドルビープロロジックIIのミュージックモードでは、パラメーター(パノラマ、ディメンション、センター幅)を調節することができます。



ご注意

- ドルビープロロジックIIでMUSICを選んだときだけ、ドルビープロロジックIIミュージックモードに切り換わります。(別売DSP ⑦)



設定の内容

パノラマ：

フロントのステレオイメージをサラウンドスピーカーまで拡張して、包み込みの効果を大きくします。

ディメンション：

広音場の位置をフロント側、リア側に細かく調節します。-3～+3の範囲で調節します。+はフロント側に、-はリア(サラウンド)側に音を移動します。

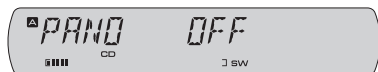
センター幅：

センターの音を、フロントのLRチャンネルとセンターチャンネルの3つのスピーカーにどのように振り分けるかを「0」～「7」の間で設定します。推奨は3で、ほとんどの録音に適しています。0は、センタースピーカーだけでセンターの音を再生します。7は通常のステレオと同様にセンターの音をフロントのLRに振り分けます。

1 ドルビープロロジックIIミュージックモードにする

AUDIO ボタンを押して選ぶ

現在の設定が表示されます。



2

調節したいパラメーターを選ぶ

◀または▶ ボタンを押す

ボタンを押すごとに、次のように切り換わります。

PANO (パノラマ)



DIMENSN (ディメンション)



CENTER (センター幅)



PANOに戻る

3

選んだパラメーターを調節する

■ パノラマをON/OFFする

▲または▼ ボタンを押す

ボタンを押すごとにON/OFFします。

■ ディメンションやセンター幅を調節する

▲または▼ ボタンを押す

ディメンションは-3～+3の範囲で調節できます。

センター幅は0～7の範囲で調節できます。

SFCでは、実際にその演奏会場にいるかのようなリアルな音場を再現することができます。



メモ

- 演奏会場は、会場ごとに独特の雰囲気があります。これは、会場の広さや形状、残響特性が異なるため、直接音・初期反射音・残響音の長さや質が変化するためです。SFCには、このようなことを考慮した音場空間プログラムが設定されています。



設定の内容

MUSICAL

音楽ソフトやミュージカル系の映画の再生を楽しむのに適しています。

DRAMA

リアスピーカーの音と一体となって、1つの大きなスピーカーのように響くイメージで幅広いサラウンド感を再現します。また、直接音もしっかりと響き、ストーリー重視の映画を楽しむのに適しています。

ACTION

躍動感、スピード感に加え、爆発シーンの迫力を包み込むように再現します。アクションシーンの多い映画を楽しむのに適しています。

JAZZ

ジャズクラブでの音場を再現します。ライブ録音の音声などを楽しむのに適しています。

HALL

コンサートホールの音場を再現します。残響音豊かな響きでクラシック音楽などを楽しむのに適しています。

CLUB

クラブの音場を再現します。残響音が吸収されやすい音場を再現し、ビートの効いた音楽を楽しむのに適しています。



SFCにする

AUDIO ボタンを押して選ぶ

現在の設定が表示されます。



音場プログラムを選ぶ

◀または▶ ボタンを押す

ボタンを押すごとに、次のように切り換わります。

OFF



MUSICAL



DRAMA



ACTION



JAZZ



HALL



CLUB



OFFに戻る

ダウンミックス機能を使う

ダウンミックス

ダウンミックスとは、5.1チャンネルの音声を2チャンネル音声に変換する機能のことです。チャンネル数を落として、音声をDVDフォーマットの中で定められた一定基準にしたがって混合し、再生します。センタースピーカーやサブウーファーを持たないシステムでも、5.1チャンネルの音場感を再現できます。



設定の内容

Lo/Ro

オリジナルの音声が、サラウンド成分のような音声チャンネルを含まない場合に選択します。オリジナルの音声を2チャンネル音声に変換して再生します。

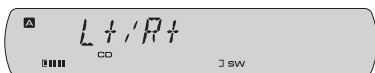
Lt/Rt

オリジナルの音声が、サラウンド成分を含んでいるときに選択します。サラウンド成分を復元（デコード）できるように、2チャンネル音声に変換して再生します。

1 ダウンミックスにする

AUDIO ボタンを押して選ぶ

現在の設定が表示されます。



2 ダウンミックスの設定を選ぶ

◀ または ▶ ボタンを押す

ボタンを押すごとに、次のように切り換わります。

Lo/Ro ↔ Lt/Rt

ダイナミックレンジコントロールを使う

DRC

ダイナミックレンジとは、一番大きな音と一番小さな音との幅のことです。ダイナミックレンジコントロールをONにすると、この幅が圧縮され、音量を下げた場合にも小さな音を聞きとりやすくすることができます。



ご注意

- DVDディスクを再生しているとき以外はダイナミックレンジコントロールには切り換わりません。

1 ダイナミックレンジコントロールにする

AUDIO ボタンを押して、「DRC」を選ぶ

2 ダイナミックレンジコントロールをONにする

▲ ボタンを押す

▼ ボタンを押すと、OFFになります。

別売DSP

11

オリジナルの音質で
聞く

ダイレクト

各種オーディオの設定を一時的に無効にすることができます。調節したオーディオ設定の効果を確かめるのに便利です。



ご注意

- ダイレクトがONの間は、音量調節 (VOLUME とATT) とドルビープロロジックIIのみ有効です。その他のオーディオ調節はできません。
- 2チャンネルのリニアPCMまたは2チャンネルのドルビーデジタル音声では、フロントスピーカー (左右) 以外からは、音声が出力されません。

1

ダイレクトにする

AUDIO ボタンを押して、「DIRECT」を選ぶ

2

ダイレクトをONにする

▲ ボタンを押す

▼ ボタンを押すと、OFFになります。

別売DSP

12

各ソースの音量の
違いをそろえる

SLA

ソースを切り換えたときに、ソースごとの音量が違ふことがあります。SLAを使うと、FMの音量を基準にして各ソースの音量をそろえることができます。



SLAとは

- SLAは、「Source Level Adjuster (ソースレベルアジャスター)」の略です。



ご注意

- ラジオのFMを聞いているときは、SLAには切り換わりません。
- ダイレクトの設定がONのときは、SLAには切り換わりません。(別売DSP ⑩)

1

ソース レベル アジャスター
にする

AUDIO ボタンを押して、「SLA」を選ぶ

2

レベルを調節する

▲ または ▼ ボタンを押す

レベルを大きくするとき：▲を押す

レベルを小さくするとき：▼を押す

レベルは-4～+4の範囲で調節できます。

3

ふだんの再生画面に戻す

BAND ボタンを押す



メモ

- AMと交通情報、DVD-videoとDVD-VR、DivXとCD/CD-ROM、AUX1とAUX2、およびEXTERNAL1とEXTERNAL2は同じ設定になります。

オートイコライザー を ON/OFF する

オートイコライザー

オート TA & EQ (別売 DSP 別売 DSP 129 ページ) で作成したオートイコライザーカーブを ON/OFF することができます。



ご注意

- オート TA & EQ (別売 DSP 別売 DSP 129 ページ) を行っていないと、オートイコライザー (AT EQ) に切り換えたとき、「SET A.EQ」と表示されます。オートイコライザーの操作はできません。

1 オートイコライザーにする

AUDIO ボタンを長く押して、
「AT EQ」を選ぶ

2 オートイコライザーを ON にする

▲ ボタンを押す

▼ ボタンを押すと、OFF になります。

オートタイムアライメント & イコライジングを行う前に

オート TA & EQ



音響特性の最適な自動補正とは

車内空間には、その形状や材質、スピーカーの取付位置、聞く位置など、さまざまな制約があります。このため、ホームオーディオに比べて音響特性が大きく乱れています。この乱れを補正するには一般的に、イコライザーなどを使用します。また、音響特性を最適にする場合は、音響測定器などの道具や音質調節の熟練した技術が必要です。

音響特性を最適に自動補正するために、本機はオート TA&EQ 設定という機能を備えています。オート TA&EQ 設定を使うと、ユーザーが専用のマイクを所定の位置に取り付けるだけで、複雑で難しい音響調節を「DEQ-P9」が自動で行います。

オート TA&EQ 設定のうち、車室内の音響特性を乱れが少なく滑らかな状態に最適化するのがオート EQ です。また、各スピーカーから乗車位置までの距離を測定し、音声の到達時間を補正するのがオート TA です。オート TA とオート EQ によって、それぞれの車にとって最良の音響特性を手軽に実現できます。



警告

走行中にオート TA&EQ 設定を行わない



自動車が行進中にオート TA&EQ 設定を行わないでください。オート TA&EQ 設定は車室内の音響特性を測定するために、スピーカーから大音量の計測音を出すことがあります。この場合、運転の妨げになり事故の原因となることがあります。

次のページへ続く

スピーカーの破損を防止するために

次の状態でオート TA&EQ 設定を行うと、スピーカーが破損することがあります。オート TA&EQ 設定を行う前に、よく確認してください。

- スピーカーの接続を誤っている。
(例：サブウーファー出力にリアスピーカーを接続している場合)
- スピーカーの耐入力を超える出力のパワーアンプを接続している。

オート TA&EQ 設定を行う前に必ずしておくこと

オート TA & EQ 設定を効果的に行うために、いくつかの準備が必要です。以下を参照して、正しく準備してください。

- なるべく静かな場所に車を停車する。
- 車のエンジン／エアコン／ヒーターを OFF にする。エアコンやヒーターのファンの騒音によって、オート TA & EQ 設定が実行できないことがあります。
- 携帯電話や車載電話の電源を切る。または、車の外に持ち出す。
- 「DEQ-P9」に付属の音響特性測定用マイクを用意する。それ以外のマイクでは、音響特性が正しく測定されません。
- フロントスピーカーを接続する。
- フロントスピーカーのミュートを解除する。
- リスニングポジション (POSI) を設定する (別売 DSP ⑤ 121 ページ)。リスニングポジションを FRT-R (Front Right) または FRT-L (Front Left) 以外に設定したときは、オート TA & EQ 設定を始めると強制的に FRT-R (Front Right) に設定されます。
- 入力レベルコントロール付きのパワーアンプを接続している場合は、入力レベルを推奨位置に合わせる。
- ローパスフィルター付きのパワーアンプを接続している場合は、ローパスフィルターを OFF にする。
- ローパスフィルター付きのパワードサブウーファーを接続している場合は、ローパスフィルターのカットオフ周波数を最も高い値に設定する。

オート TA & EQ 設定で変更される設定

- オート TA & EQ 設定を行うと、オーディオの設定が次のように変更されます。
 - ・ FADER (BAL) (別売 DSP ④ 121 ページ)：初期設定に戻る
 - ・ イコライザーカーブ (別売 DSP ② 137 ページ、② 138 ページ)：EQ FLAT に設定される。
 - ・ POSI (別売 DSP ⑤ 121 ページ)：FRT-R (Front Right) に設定される (FRT-L (Front Left) に設定していた場合は、FRT-L (Front Left) のまま)。

ご注意

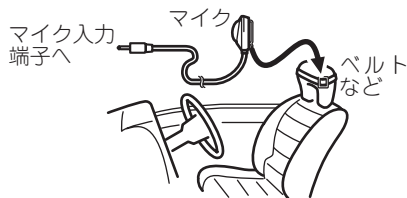
- 再度オート TA & EQ 設定を行うと、前回の調節内容は消去されます。
- オート TA & EQ 設定で測定されたタイムアライメントの値は、コンピューターが算出した正確な遅延時間に基づくものです。次のような場合に実際の距離と異なることがあります。そのままご使用ください。
 - ・ 車室内の反射音が直接音より強く、かつ遅延を生じている。
 - ・ パワードサブウーファーや外部アンプのローパスフィルターの影響により、低音に遅延が生じている。

1 計測する環境を整える

- 静かな所に車を停車させる
- ドア、窓、サンルーフなどを閉める
- 車のエンジンを停止させる
- エアコンやヒーターをOFFにする

2 「DEQ-P9」に付属の音響特性測定用マイクをセットする

ベルトなどを使用して、運転席のヘッドレストの中央に「DEQ-P9」に付属の音響特性測定用マイクを前向きに固定する



📌 ご注意

- マイクの取付位置が悪いと、測定音が大きくなったり測定時間がかかったりして、車のバッテリーが上がる恐れがあります。マイクは必ず指定の位置に取り付けてください。

3 車のエンジンスイッチをACCまたはONにする

📌 ご注意

- 車のエアコンやヒーターがONになっている場合は、OFFにしてください。エアコンやヒーターのファンの騒音によってオートTA & EQが実行できないことがあります。

4 本機の電源を入れる

SOURCE ボタンを押す

5 乗車位置を決定する

リスニングポジションを選び、マイクをセットした座席を乗車位置に設定する (別売DSP ⑤ 121 ページ)

📝 メモ

- 乗車位置をFRT-RまたはFRT-L以外に設定したときは、オートTA & EQを始めると、強制的にFRT-Rに再設定されます。

6 本機の電源を切る

SOURCE ボタンを1秒以上押す

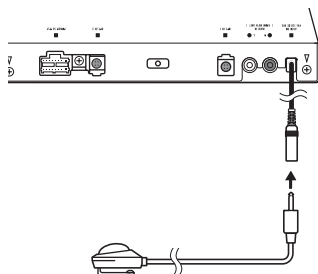
7 オートTA & EQ設定モードにする

EQ ボタンを2秒以上押す

次のページへ続く

8 マイクを「DEQ-P9」に接続する

「DEQ-P9」に付属の音響特性測定用マイクを音響特性測定用マイク入力端子に接続する



メモ

- オート TA & EQ を始めてから測定が終了するまでに、約8分かかります。測定時間は周囲の騒音状態、車両形状、スピーカーの数などにより変わります。
- 音響特性測定用マイク入力端子にマイクがしっかりと挿入されていない状態でオート TA & EQ を行うと、エラーが生じます。マイクを確実に挿入してから、オート TA & EQ を行ってください。

9 オート TA & EQ を開始する

▲ ボタンを押す

- ▼ ボタンを押すと、途中解除します。

10 車の外に出る

10秒のカウントダウンが始まるので、10秒以内に車外に出て、ドアを閉める

計測音（ノイズ）が各スピーカーから出力され、オート TA & EQ が始まります。

11 オート TA & EQ が自動的に終了する

オート TA & EQ が終わったら、セットした音響特性測定用マイクを取り外してください。



メモ

- オート TA & EQ を途中でやめたくなくなったときは、BAND ボタンを押すと、強制的に解除することができます。
- マイクをセットする位置により、オート TA & EQ の調節内容が変わります。お好みにより、助手席にセットすることもできます。
- マイクはグローブボックスなどに入れて、大切に保管してください。直射日光の当たる場所に長時間放置すると、高温による変形、変色、故障の原因になる恐れがあります。

スピーカーの接続の有無や接続したスピーカーのサイズ（低音域再生能力）を設定できます。この設定により、スピーカーを接続していないために再生できないチャンネルの音を他のスピーカーから出力させたり、より再生に適したスピーカーから低音を出力させることができます。



スピーカーサイズについて

- スピーカーサイズの設定は、100Hz以下の周波数帯域を再生可能かどうかが目安になります。再生可能な場合は「LRG (Large)」に、再生不可能な場合は「SML (Small)」に設定してください。スピーカーの再生周波数帯域については、スピーカーの取扱説明書をご覧ください。
- オート TA & EQを行うときは、スピーカーの設定はON/OFFだけ行ってください。

1 オーディオ調節詳細メニューにする

AUDIO ボタンを長く押す

2 スピーカー設定にする

AUDIO ボタンを押して選ぶ

現在の設定が表示されます。



3 設定したいスピーカーを選ぶ

◀ または ▶ ボタンを押す

ボタンを押すごとに、次のように切り換わります。

FRONT (フロントスピーカー)



CENTER (センタースピーカー)



REAR (リアスピーカー)



SUB.W (サブウーファー)



PHASE (サブウーファー位相切り換え)



4 スピーカーの有無やサイズを設定する

▲ または ▼ ボタンを押す

各スピーカーの設定は、次の中から選ぶことができます。

フロント

SML (Small) / LRG (Large)

リア・センター

OFF / SML (Small) / LRG (Large)

サブウーファー

ON / OFF

サブウーファー位相切り換え

(別売 DSP 132 ページ)

NOR (Normal) / REV (Reverse)



メモ

- 接続していないスピーカーの設定は、必ず「OFF」にしてください。
- サブウーファーを接続していない場合は、フロントまたはリアスピーカーに低音再生能力のある限り、スピーカー設定は「LRG (Large)」を選んでください。フロントとリアの両方のスピーカー設定を「SML (Small)」にすると、低音が著しく不足した感じになることがあります。
- 2チャンネルのモノラルソースを再生しているときにドルビープロロジックIIをONにすると、次のような現象が起こることがあります。
 - * センタースピーカーの設定を「SML (Small)」や「LRG (Large)」にしている場合、センタースピーカーだけから音が出られることがあります。また、センタースピーカーを接続しないと、音が出られないことがあります。
 - * サブウーファーをOFFにすると、サブウーファー位相切り換えは選択できません。

別売DSP

17

サブウーファースの位相を切り換える

サブウーファー

サブウーファーからの低音域の出力を調節しても低音域がよく聞こえてこなかったり、逆に小さくなったように感じた場合、他のスピーカーの低音域と打ち消し合っていることがあります。位相を切り換えることで、この現象を防ぎ低音域を聞きやすくすることができます。



ご注意

- サブウーファーをOFFにすると、サブウーファー位相切り換えは選択できません。
(別売DSP 16 131ページ)

1

オーディオ調節詳細メニューにする

AUDIO ボタンを長く押す

2

スピーカー設定にしてサブウーファースの位相切り換えを選ぶ

(別売DSP 16 131ページ)

3

サブウーファースの位相を選ぶ

▲ または ▼ ボタンを押す

NOR (Normal : 正相) : ▲ を押す
REV (Reverse : 逆相) : ▼ を押す

別売DSP

18

クロスオーバー周波数を設定する

クロスオーバー周波数は、サブウーファーやスピーカーサイズを「SML (Small)」に設定したスピーカーの再生音域を設定します。サブウーファーからは、選んだ周波数より低い音域が出力されます。また、「SML (Small)」に設定したスピーカーからは、選んだ周波数より高い音域が出力され、音量が抑えられた低い音域はサブウーファーから出力されるようになります。

サブウーファーを接続していない場合、音量が抑えられた低い音域は「LRG (Large)」に設定したスピーカー (フロントまたはリア) から出力されるようになります。



ご注意

- スピーカー設定 (別売DSP 16 131ページ) で「OFF」に設定したスピーカーを選ぶことはできません。

1

オーディオ調節詳細メニューにする

AUDIO ボタンを長く押す

2

クロスオーバー周波数にする

AUDIO ボタンを押して、「HPF」を選ぶ

3

スピーカーを選ぶ

◀ または ▶ ボタンを押す

ボタンを押すごとに、次のように切り換わります。

HPF F (フロントスピーカー)



HPF C (センタースピーカー)



HPF R (リアスピーカー)



HPF S (サブウーファー)

4 クロスオーバー周波数を選ぶ

▲ または ▼ ボタンを押す
63、80、100、125、160、200 (Hz) の
中から選ぶことができます。

別売DSP
19

スピーカーレベルを調節する

スピーカーレベル調節

テストトーンで行った各スピーカーからの出力レベルを、実際の音声を聞きながらもう一度調節することができます。



ご注意

- スピーカー設定 (別売 DSP 16 131 ページ) で「OFF」に設定したスピーカーを選ぶことはできません。

1 オーディオ調節詳細メニューにする

AUDIO ボタンを長く押す

2 スピーカーレベル調節にする

AUDIO ボタンを押して選ぶ

現在の設定が表示されます。



3 スピーカーを選ぶ

◀ または ▶ ボタンを押す

ボタンを押すごとに、次のように切り換わります。

FRT-L (フロント左スピーカー)



CENTER (センタースピーカー)



FRT-R (フロント右スピーカー)



REAR-R (リア右スピーカー)



REAR-L (リア左スピーカー)



SUB.W (サブウーファー)

次のページへ続く

<つづき>

4 レベルを調節する

▲ または ▼ ボタンを押す

レベルを大きくするとき : ▲ を押す
レベルを小さくするとき : ▼ を押す
レベルは-10~+10の範囲で調節できます。



メモ

- ここで調節した出力レベルは、テストトーン (別売 DSP 20) で調節したレベルと同じ値になります。

別売 DSP

20

テストトーンでスピーカーレベルを調節する

テストトーンを聞きながら、各スピーカーからの出力レベルを調節し、スピーカーシステム全体のバランスを整えます。

1 オーディオ調節詳細メニューにする

AUDIO ボタンを長く押す

2 テストトーンにする

AUDIO ボタンを押して「TEST TONE」を選ぶ

3 テストトーン出力を開始する

▶ ボタンを押す

約2秒ずつ、次の順で切り換わります。

FRT-L (フロント左スピーカー)



CENTER (センタースピーカー)



FRT-R (フロント右スピーカー)



REAR-R (リア右スピーカー)



REAR-L (リア左スピーカー)



SUB.W (サブウーファー)



FRT-Lに戻る

4 レベル調節をする

▲ または ▼ ボタンを押す

レベルを大きくするとき : ▲ を押す
レベルを小さくするとき : ▼ を押す
レベルは-10~+10の範囲で調節できます。

お好みのタイムアライメントを選ぶことができます。

5 テストトーン出力を停止する

◀ ボタンを押す



メモ

- この操作で調節した出力レベルは、スピーカーレベル調節 (別売DSP 133ページ) で調節したレベルと同じ値になります。
- スピーカー設定 (別売DSP 131ページ) で「OFF」に設定したスピーカーには切り換わりません。
- レベルを調節している間、テストトーンは次のスピーカーには切り換わりません。



タイムアライメントとは

- タイムアライメントは、各スピーカーからリスニングポジションまでの距離を調節することで、音声の到達時間を補正し、音像の定位や全体的なバランスを調節する機能です。



設定の内容

INITIAL

初期設定状態 (ご購入直後の状態)

CUSTOM

お好みに合わせて調節したタイムアライメント

AUTO TA

オート TA & EQ で調節したタイムアライメント

OFF

タイムアライメントをOFFにします



ご注意

- オート TA & EQ (別売DSP 129ページ) を行っていないと、「AUTO TA」を選んだとき、「SET A.TA」と表示されます。

1 オーディオ調節詳細メニューにする

AUDIO ボタンを長く押す

2 タイムアライメントを選ぶ

AUDIO ボタンを押して、「TA」を選ぶ

次のページへ続く

3 タイムアライメントを選ぶ

◀ または ▶ ボタンを押す

ボタンを押すごとに、次のように切り換わります。

INITIAL
↓
CUSTOM
↓
AUTO TA
↓
OFF

別売DSP

22

タイムアライメントを調節する

各スピーカーからリスニングポジションまでの距離を調節することで、音声の到達時間を補正し、音像の定位や全体的なバランスを調節することができます。リスニングポジション (※ 別売DSP ⑥ 121ページ) を設定することで自動的に設定されますが、タイムアライメントではさらに厳密な調節をすることができます。



ご注意

- タイムアライメント (TA) で「OFF」を選んでいるときは、タイムアライメント調節には切り換わりません。
- スピーカー設定 (※ 別売DSP ⑩ 131ページ) で「OFF」に設定したスピーカーを選ぶことはできません。
- リスニングポジションで「FRT-R」か「FRT-L」を選んでいないと、「CHECK POS!」と表示されます。

1

調節の元にするタイムアライメントを選ぶ

(※ 別売DSP ② 135ページ)

2

タイムアライメント調節にする

AUDIO ボタンを押して選ぶ

現在の設定が表示されます。



3 各スピーカーの距離を調節する

■ 調節するスピーカーを選ぶ

◀ または ▶ ボタンを押す

ボタンを押すごとに、次のように切り換わります。

FL (フロント左スピーカー)
↓
CENT (センタースピーカー)
↓
FR (フロント右スピーカー)
↓
RR (リア右スピーカー)
↓
RL (リア左スピーカー)
↓
S/W (サブウーファー)

■ 距離を調節する

▲ または ▼ ボタンを押す

距離を遠くするとき : ▲ を押す
距離を近くするとき : ▼ を押す

0.0 cm ~ 500.0 cm の範囲で調節できます。

別売 DSP 23 イコライザーカーブを選ぶ

あらかじめ用意されたイコライザーカーブの中から、お好みのイコライザーカーブを選ぶことができます。



CUSTOM1 とは

- 調節したイコライザーカーブがソースごとに登録されます。(内蔵DVDとマルチCD、エクスターナルユニット1と2は、同じ設定になります。)
「CUSTOM2」以外のカーブを選んでいるときに調節すると、自動的に「CUSTOM1」に登録されます。



CUSTOM2 とは

- すべてのソースに共通のイコライザーカーブで、調節ができます。「CUSTOM2」を選んでいるときに調節すると、調節内容が更新されます。



EQ FLAT とは

- イコライザーによる音の補正はされていません。設定したイコライザーカーブと交互に切り換えることで、設定したイコライザーカーブの効果を確認することができます。

1 イコライザーカーブを選ぶ

EQ ボタンを押す

ボタンを押すごとに、次の順序でイコライザーカーブが切り換わります。

POWERFUL
↓
NATURAL
↓
VOCAL
↓
EQ FLAT
↓
CUSTOM1
↓
CUSTOM2
↓
SUPER BASS
↓
POWERFULに戻る

3バンドパラメトリックイコライザーを調節する

「CUSTOM 1」と「CUSTOM 2」はフロント/リア/センターのイコライザーカーブを別々に調節することができます。各スピーカーのバンドごとに中心周波数を設定し、レベル調節やカーブの傾きの切り換えを行うことができます。



イコライザーの調節について

- センタースピーカーは、音像を定位置せるのに影響が大きいスピーカーです。このため、他のスピーカーと同時にバランスをとるのは、とても難しい作業です。全体のバランスをとるため、2チャンネルの音声（CDなど）を再生し、センターを除く全てのスピーカーのバランスを調節した後、5.1チャンネルの音声（ドルビーデジタルやDTS）を再生し、センタースピーカーを全体のバランスに合わせるように調節するとスムーズに行うことができます。



中心周波数について

- 各バンドの中心周波数は、26種類の周波数の中から選ぶことができます。周波数は、1/3オクターブずつのステップで切り換えることができますが、各バンドの中心周波数の間隔を1オクターブ未満に設定することはできません。



ご注意

- スピーカー設定（別売DSP 131ページ）で「OFF」に設定したスピーカーを選ぶことはできません。

1 オーディオ調節詳細メニューにする

AUDIO ボタンを長く押す

2 3バンドパラメトリックイコライザーにする

AUDIO ボタンを押して、「PEQ-2」を選ぶ

3 スピーカー選択モードを選ぶ

◀ または ▶ ボタンを押す

ボタンを押すごとに、次のように切り換わります。

スピーカー選択モード



バンド選択モード



中心周波数選択モード



レベル調節モード



カーブの傾き選択モード

4 スピーカーを選ぶ

▲ または ▼ ボタンを押す



FRT（フロント）、CENT（センター）、REAR（リア）の中から選ぶことができます。

5 バンドを選ぶ

▶ ボタンを押してから、▲ または ▼ ボタンを押す



LOW（低音）、MID（中音）、HI（高音）の中から選ぶことができます。

6 中心周波数を選ぶ

▶ ボタンを押してから、▲ または ▼ ボタンを押す

高い周波数を選ぶとき : ▲ を押す

低い周波数を選ぶとき : ▼ を押す



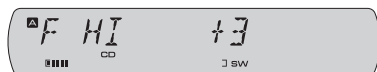
40、50、63、80、100、125、160、200、250、315、400、500、630、800、1k、1.25k、1.6k、2k、2.5k、3.15k、4k、5k、6.3k、8k、10k、12.5k (Hz) の中から選ぶことができます。

7 レベルを調節する

▶ ボタンを押してから、▲ または ▼ ボタンを押す

強めるとき : ▲ を押す

弱めるとき : ▼ を押す



レベルは-6～+6の範囲で調節できます。

8 カーブの傾きを選ぶ

▶ ボタンを押してから、▲ または ▼ ボタンを押す

WID : ▲ を押す

NAR : ▼ を押す



9 手順3～8を繰り返して、各スピーカーの各バンドを同様に調節する

DVD設定メニューの切り換えかた

音声、字幕、視聴制限など内蔵プレーヤーの設定を変更することができます。

(画面例)



ご注意

- DVD設定はリモコンのみでおこなうことができます。リモコンの操作モードはDVDモードに設定してください(※はじめに ⑤ 16 ページ)

使いたい機能を選ぶ

1 ソースをDVD (内蔵プレーヤー)に切り換える

SOURCE ボタンを押す

2 ディスクの再生を停止する

□ ボタンを押す

3 DVD設定メニューにする

(MENU) ボタンを押す



知っているると便利

- メニュー画面、設定画面の表示中に (MENU) ボタンを押すと、再生停止の状態に戻ります。

4 初期設定メニューを選ぶ

ジョイスティックを上下に操作する

ジョイスティックを上下に操作すること、次の順序でメニューが切り換わります。

S.TTL LANG (基本字幕)

(※ DVD設定 ② 141 ページ)



AUDIO LANG (基本音声)

(※ DVD設定 ③ 142 ページ)



MENU LANG (メニュー言語)

(※ DVD設定 ④ 142 ページ)



ASSIST (アシスト字幕)

(※ DVD設定 ⑤ 143 ページ)



ANGLE

(マルチアングルマーク表示)

(※ DVD設定 ⑥ 143 ページ)



TV ASPECT (画面の縦横比)

(※ DVD設定 ⑦ 144 ページ)



PARENTAL (視聴制限)

(※ DVD設定 ⑧ 145 ページ)



DivX VOD (DivX VODの登録コード表示)

(※ DVD設定 ⑨ 146 ページ)



DIVX S.TTL (DivXの字幕ファイル表示)

(※ DVD設定 ⑩ 146 ページ)



DIGI OUT (光デジタル出力設定)

(※ DVD設定 ⑪ 147 ページ)

5 選んだメニューの設定画面を表示する

ジョイスティックを押す

字幕として優先したい言語を設定することができます。

1 基本字幕の設定を選ぶ

ジョイスティックを操作して、**[S.TTL LANG]** を選ぶ

2 基本字幕の設定画面を表示する

ジョイスティックを押す

3 設定する言語を選ぶ

ジョイスティックを左右に操作する

ジョイスティックを左右に操作することによって次の順序で言語が切り換わります。

JAPANESE (日本語) → ENGLISH (英語)
 → FRENCH (フランス語) → SPANISH (スペイン語)
 → GERMAN (ドイツ語) → ITALIAN (イタリア語)
 → CHINESE (中国語) → PORTUGUESE (ポルトガル語)
 → DUTCH (オランダ語) → KOREAN (韓国語)
 → THAI (タイ語) → RUSSIAN (ロシア語)
 → OTHERS (その他) → JAPANESE に戻る

OTHERS (その他) を選んだとき

OTHERS (その他) を選ぶと、言語のコード入力画面が表示されます。「言語コード表」(※ **その他 4 167 ページ**) を参照して、4桁の言語コードを ① ~ ④ ボタンで入力し、ジョイスティックを右に操作してください。⑤ ボタンを押すと、入力した数字を消すことができます。

4 選んだ言語を設定する

ジョイスティックを押す



メモ

- 選んだ言語がディスクに収録されていないときは、ディスクで指定されている言語が表示されます。
- (Ⓢ) ボタンで、再生中に字幕の言語を切り換えることもできます。(※ **DVD 10 37 ページ**)。
- (Ⓢ) ボタンで字幕の言語を切り換えても、ここでの設定に影響はありません。

DVD設定

3

基本音声を設定する

基本音声

音声として優先したい言語を設定することができます。

1 基本音声の設定を選ぶ

ジョイスティックを操作して、「AUDIO LANG」を選ぶ

2 基本音声の設定画面を表示する

ジョイスティックを押す

3 言語を設定する

「基本字幕の設定」の手順3以降を参照し、同様の操作で言語を設定する
(DVD設定 DVD設定 ② 141ページ)



メモ

- 選んだ言語がディスクに収録されていないときは、ディスクで指定されている言語が表示されます。
- (音声)で、再生中に音声言語を切り換えることもできます。(DVD ① 37ページ)
- (音声)で音声言語を切り換えても、ここでの設定に影響はありません。

DVD設定

4

メニュー言語を設定する

メニュー言語

ディスクに収録されているメニュー画面の表示言語として優先したい言語を設定することができます。

1 メニュー言語の設定を選ぶ

ジョイスティックを操作して、「MENU LANG」を選ぶ

2 メニュー言語の設定画面を表示する

ジョイスティックを押す

3 言語を設定する

「基本字幕の設定」の手順3以降を参照し、同様の操作で言語を設定する
(DVD設定 DVD設定 ② 141ページ)



メモ

- 選んだ言語がディスクに収録されていないときは、ディスクで指定されている言語が表示されます。

アシスト字幕を設定する

アシスト字幕

アシスト字幕のON/OFFを設定することができます。



アシスト字幕とは

- アシスト字幕とは、耳の不自由な方のために、場面の状況を説明する字幕です。ただし、アシスト字幕はDVDに収録されている場合のみ表示することができます。

1 アシスト字幕の設定を選ぶ

ジョイスティックを操作して、「ASSIST」を選ぶ

2 アシスト字幕の設定画面を表示する

ジョイスティックを押す

3 ON/OFFを切り換える

ジョイスティックを左右に操作する
操作することによりON/OFFが切り換わります。

4 ON/OFFを設定する

ジョイスティックを押す

マルチアングルマーク表示を設定する

マルチアングル

複数のアングルが収録されたディスクで、アングルが切り換えできる場面を再生している間、画面左下にマルチアングルマークを表示することができます。

1 マルチアングルマーク表示の設定を選ぶ

ジョイスティックを操作して、「ANGLE」を選ぶ

2 マルチアングルマーク表示の設定画面を表示する

ジョイスティックを押す

3 ON/OFFを切り換える

ジョイスティックを左右に操作する
操作することによりON/OFFが切り換わります。

4 ON/OFFを設定する

ジョイスティックを押す

DVD設定

7

画面の縦横比を設定する

テレビアスペクト

画面の表示比率を設定します。ディスクに収録された映像（画像）の比率に合わせて設定します。



設定の内容

16 : 9

ワイドモニターに最適な設定です。

レターボックス

上下に黒い帯のある画面になります。通常、4 : 3のモニターで使用します。

パンスキャン

左右の切れた画面になります。通常、4 : 3のモニターで使用します。

1

画面の縦横比の設定を選ぶ

ジョイスティックを操作して、「TV ASPECT」を選ぶ

2

画面の縦横比の設定画面を表示する

ジョイスティックを押す

3

表示比率を選ぶ

ジョイスティックを左右に操作する

操作ごとに次の順序で設定が切り換わります。

16 : 9 → LETTER BOX（レターボックス）
→ PANSCAN（パンスキャン）
→ 16 : 9に戻る

4

表示比率を設定する

ジョイスティックを押す



メモ

- パンスキャン指定されていないディスクを再生したときは、「パンスキャン」に設定しても「レターボックス」での再生になります。
- ディスクによっては、テレビアスペクトの変更ができないものもあります。詳しくは、ディスクの説明書をご覧ください。
- DivXファイル再生時は、テレビアスペクトの設定によっては、画像の左右および上下に黒帯が付くことがあります。

DVD設定

8

視聴制限を設定する

ディスクによっては、成人向けの内容や暴力シーンなど、子供に見せたくない場面の視聴を制限できるものがあります。視聴制限は、レベルによって段階的に設定できます。



視聴制限レベルのめやす

レベル8

すべてのディスクを再生します。

レベル7～2

成人向けのディスクの視聴を制限します。子供向けや、一般向けのディスクを再生します。

レベル1

子供向けディスクのみ再生します。



メモ

- はじめて視聴制限を設定するときは、まず暗証番号を設定します。暗証番号を設定しないと、視聴制限は設定できません。
- 視聴制限レベルは、ディスクに記録されています。ディスクのパッケージなどでご確認ください。なお、視聴制限レベルが記録されていないディスクでは、レベル設定しても視聴制限は設定できません。
- ディスクによっては、視聴制限された場面だけを飛ばして再生するものもあります。詳しくは、ディスクの説明書をご覧ください。

暗証番号とレベルを設定する

1

視聴制限の設定を選ぶ

ジョイスティックを操作して、「PARENTAL」を選ぶ

2

視聴制限の設定画面を表示する

ジョイスティックを押す

「EDIT CODE」と表示されます。

3 暗証番号を入力する

■ 数字を入力するとき

①～④ ボタンを押す

■ カーソルを移動するとき

ジョイスティックを左右に操作する

■ 入力した数字を消すとき

⑤ ボタンを押す

4 暗証番号を設定する

カーソルを4桁目に移動して、ジョイスティックを右に操作する



メモ

- 4桁全てに数字が入力されていないと、ふたたび番号入力画面に戻ります。
- 登録した暗証番号は、忘れないようにメモしておくことをおすすめします。

5 レベルを選ぶ

ジョイスティックを左右に操作する

レベルを大きくするとき：右に操作する

レベルを小さくするとき：左に操作する

6 レベルを設定する

ジョイスティックを押す

レベルを変更する

1 視聴制限の設定を選ぶ

ジョイスティックを操作して、「PARENTAL」を選ぶ

2 視聴制限の設定画面を表示する

ジョイスティックを押す

「INPUT CODE」と表示されます。

3 暗証番号を入力し、レベルを設定する

「暗証番号とレベルを設定する」の手順3以降を参照し、同様の操作でレベルを設定する。

(DVDの設定 ⑧)

暗証番号を忘れたとき

「レベルを変更する」の手順2で、「INPUT CODE」の表示中に⑤ ボタンを10回押す「EDIT CODE」と表示が切り換わり、登録した暗証番号が解除されます。「暗証番号とレベルを設定する」の手順3以降を参照し、新しい暗証番号を入力してください。

DVD設定

9

DivX VODの登録コードを確認する

DivX VOD

DivX VODファイルを再生するとき、そのDivX VODファイルの配信先に対して、本機の登録コードが必要な場合があります。そのような場合に、本機の登録コードを確認できます。



DivX VODとは

- DivX VODとは、「DivX Video OnDemand (ビデオオンデマンド)」の略です。

1

DivX VODの登録コードを選ぶ

ジョイスティックを操作して、「DIVX VOD」を選ぶ

2

登録コードを表示する

ジョイスティックを押す

DivX VODの登録コードが表示されます。登録コードは8桁の英数字です。

DVD設定

10

DivXのカスタム字幕ファイルを表示する

カスタム字幕

DivXファイルには、字幕が収録されているものがあります。また、DivXファイルに字幕を追加して、ディスクに記録することもできます。

あらかじめDivXファイルに収録されている字幕を「オリジナル字幕」と呼びます。DivXファイルを作成したあとに追加した字幕を「カスタム字幕」と呼びます。ここでは「カスタム字幕」の表示のON/OFFを設定できます。

1

DivXのカスタム字幕ファイル表示の設定を選ぶ

ジョイスティックを操作して、「DIVX S.TTL」を選ぶ

2

DivXの字幕ファイル表示の設定画面を表示する

ジョイスティックを押す

3

ON/OFFを切り換える

ジョイスティックを左右に操作する
操作することによりON/OFFが切り換わります。

4

ON/OFFを設定する

ジョイスティックを押す



メモ

- 本機はファイル形式「.srt」のカスタム字幕に対応しています。
- カスタム字幕は、1行あたり42文字まで対応しています。
- 1画面に一度に表示できる字幕の文字数は8文字までです。

本機のデジタル出力を設定できます。



メモ

- LPCMに設定することにより、以下のタイプのディスクを再生する場合、音声の出力方法を切り換えることができます。(※ DVD ④ 42ページ)
 - * Dual Monoモードで記録されたDVD videoディスク
 - * 2カ国語で記録されたDVD VRディスク
- 本機の光デジタル出力を接続していない場合、この設定をする必要はありません。



設定の内容

STREAM

ドルビーデジタルやDTS信号が出力されま
す。通常はこの設定にしておきます。

Linear PCM

ドルビーデジタルやDTS信号をLinear
PCM信号に変換して出力されます。

1 光デジタル出力の設定を選ぶ

ジョイスティックを操作して、
「DIGI OUT」を選ぶ

2 光デジタル出力の設定画面を 表示する

ジョイスティックを押す

3 出力設定を選ぶ

ジョイスティックを左右に操作する

操作ごとに次の順序で設定が切り換わります。

STRM (STREAM)



LPCM (Linear PCM)

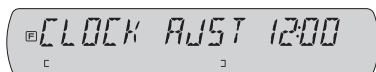
4 出力方法を設定する

ジョイスティックを押す

初期設定メニューの切り換えかた

「時計調節」「外部機器設定」などの機能を使うときは、初期設定メニューで操作します。初期設定メニューは、電源をOFFにした状態で操作します。

(画面例)



使いたい機能を選ぶ

1

本機の電源をOFFにする

SOURCE ボタンを長く押す

2

初期設定メニューを表示する

FUNCTION ボタンを長く押す

3

使いたい機能を選ぶ

FUNCTION ボタンを押す

ボタンを押すごとに、次の順序で機能が切り換わります。

CLOCK AJST (時計調節)

(※ 初期設定 ② 149 ページ)



AUX1 (外部機器設定 1)

(※ 初期設定 ③ 149 ページ)



AUX2 (外部機器設定 2)

(※ 初期設定 ③ 149 ページ)



V.IN (映像入力設定)

(※ 初期設定 ④ 151 ページ)



CAMRA (バックカメラ極性設定)

(※ 初期設定 ⑤ 152 ページ)



R-SP (リアスピーカー出力設定)
P/O (RCA 出力設定)

(※ 初期設定 ⑥⑦ 153 ページ)



E-SCRL (連続スクロール設定)

(※ 初期設定 ⑧ 154 ページ)



D.ATT (デジタルアッテネーター設定)

(※ 初期設定 ⑨ 154 ページ)



A.RESET (オーディオ設定リセット)

(※ 初期設定 ⑩ 155 ページ)



CLOCK AJST に戻る



メモ

- 初期設定メニューを解除するときは、BAND ボタンを押します。(初期設定メニューを解除すると、電源がOFFになります。)
- CAMRA (バックカメラ極性設定) は、V.IN (映像入力設定) で「CAMRA (バックカメラ)」に設定してしているときだけ操作できます。
- RCA 出力設定は、本機に 5.1ch 対応・DSP ユニット「DEQ-P9」を接続しているときは操作できません。
- D.ATT (デジタルアッテネーター設定) と A.RESET (オーディオ設定リセット) は、本機に 5.1ch 対応・DSP ユニット「DEQ-P9」を接続しているときだけ操作できます。

時計を合わせる

時計調節

本機のディスプレイに表示する時計の調節ができます。

1 初期設定メニューを表示する

( 初期設定 ① 148 ページ)

2 時計調節にする

「CLOCK AJST」を選ぶ

3 時計を調節する

時または分を選ぶとき

◀ または ▶ ボタンを押す

時を選ぶ：▶を押す

分を選ぶ：◀を押す

時刻を合わせるとき

▲ または ▼ ボタンを押す

時刻を進める：▲を押す

時刻を戻す：▼を押す

分を調節すると、0秒からカウントが始まります。

4 初期設定メニューを解除する

BAND ボタンを押す

初期設定メニューが解除され、電源がOFFになります。

外部機器 (AUX) をソースに設定する

AUX

本機にポータブル音楽再生機器やVTR、ナビゲーションユニットなどの外部機器を接続して、ソースに設定することができます。

外部機器の接続には、次の3通りがあります。

- ① 市販のAUXケーブルや別売の4極ケーブル「CD-V150M」を使用する場合 (AUX1)
- ② 別売のRCA / IP-BUS インターコネクターを使用する場合 (AUX2)
- ③ IP-BUSを使用する場合 (AUX2)
(パイオニア製ナビゲーションユニットのように、IP-BUS出力を持つパイオニア製品を接続する場合)



ご注意

- AUX2は、②と③のどちらか一方の接続方法で使用できます。(両方の接続方法を同時に使用することはできません。)

① 市販のAUXケーブルや別売の4極ケーブル「CD-V150M」を使用する場合

本体のAUX入力端子 (3.5 mm) に接続します。( はじめに ⑦ 20 ページ)

この場合、接続した外部機器は、AUX1ソースとして認識されます。

② 別売のRCA / IP-BUS インターコネクターを使用する場合

接続する外部機器にRCA出力がある場合、別売のRCA / IP-BUS インターコネクター「CD-RB10」または「CD-RB20」を使用して、本機のIP-BUS入力端子に接続します。接続した外部機器は、AUX2ソースとして認識されます。詳しくは、RCA / IP-BUS インターコネクターの説明書をご覧ください。

③ IP-BUSを使用する場合 (パイオニア製ナビゲーションユニットを接続する場合)

別売のIP-BUSケーブル (例：「CD-IP600J」) を使用して、本機のIP-BUS入力に接続します。接続したナビゲーションユニットはAUX2ソースとして認識され、音声のみが出力されます。

次のページへ続く



設定の内容

AUDIO :

市販のAUXケーブルや別売の4極ケーブル「CD-V150M」を使って、ポータブル音楽再生機器などを接続した場合に設定します。

VIDEO :

別売の4極ケーブル「CD-V150M」を使って、ポータブル音楽再生機器（映像再生が可能なもの）などを接続した場合に設定します。

OFF :

使用しない場合に設定します。

1 初期設定メニューを表示する

(☞ 初期設定 ① 148 ページ)

2 外部機器設定 1 または外部機器設定 2 を選ぶ

FUNCTION ボタンを押して、「AUX1」または「AUX2」を選ぶ

3 外部機器を設定する

AUX1

◀ または ▶ ボタンを押す

ボタンを押すごとに、次のように切り換わります。

AUDIO ↔ VIDEO ↔ OFF

AUX2

▲ または ▼ ボタンを押す

設定をONにする : ▲ を押す

設定をOFFにする : ▼ を押す

4 初期設定メニューを解除する

BAND ボタンを押す

初期設定メニューが解除され、電源がOFFになります。



メモ

- AUX1は、初期設定が「AUDIO」になっています。AUX1を使用しない場合は、OFFにします。
- 外部機器の名称は、変更できます。接続した機器に合わせて名称を変更すると便利です。外部機器の名称を変更するには、(☞ 便利な機能 ⑥ 159 ページ)
- シガーライターからポータブルプレーヤーの充電を行いつつAUX入力で音楽を聞くと、ノイズが出る場合があります。その場合は、シガーライターからの充電をおやめください。
- 市販の4極ミニジャックケーブルとRCA端子の変換ケーブルを使用して、AV機器をAUX入力端子に接続することも出来ます。ただし、ケーブルの種類によっては、赤（音声・右）と黄色（映像）の端子を逆に接続しないと、映像と音声が入り逆になり出力できない場合があります。

映像入力を設定する

ビデオやDVDプレーヤー、バックカメラなどの外部機器を本機の映像入力に接続した場合、機器にあった設定に切り換えます。



設定の内容

OFF :

映像入力に何も接続しない場合、この設定にします。

TV :

テレビを接続した場合、この設定にします。(ソースを「TV」にしたときに、テレビの映像を見ることができます。)

DVD :

DVDプレーヤーを接続した場合、この設定にします。(ソースを「S-DVD」にしたときに、DVDプレーヤーの映像を見ることができます。)

EXT.V :

映像再生能力のあるエクスターナルユニットを接続した場合(ソースを「EXT」にしたときに、エクスターナルユニットの映像を見ることができます。)

AUX :

ビデオ機器を接続した場合、この設定にします。(ソースを「AUX2」にしたときに、ビデオ機器の映像を見ることができます。)

CAMRA :

別売のバックカメラ(例:「ND-BC2」)を接続した場合、この設定にします。車のシフトレバーをR(リバース)の位置にしたとき、バックカメラの映像をモニターに映します。



メモ

- 市販のバックカメラを使用する場合は、鏡像タイプをおすすめします。
- 本機にAVX-P7/P9DV(別売)を接続する場合、別売のバックカメラは、AVX-P7/P9DVに接続してください。その場合の接続設定は、AVX-P7/P9DVの取扱説明書を参照してください。本機の映像入力設定をCAMRAにする必要はありません。

1

初期設定メニューを表示する

(初期設定 ① 148 ページ)

2

映像入力設定を選ぶ

FUNCTION ボタンを押して、「IV.IN」を選ぶ

3

映像入力を設定する

◀ または ▶ ボタンを押す

ボタンを押すごとに、次のように切り換わります。

OFF
↓
TV
↓
DVD
↓
EXT.V
↓
AUX
↓
CAMRA

4

初期設定メニューを解除する

BAND ボタンを押す

初期設定メニューが解除され、電源がOFFになります。



メモ

- 通常走行時、バックカメラ映像が表示されたり、シフトレバーをR(リバース)にいれても、バックカメラ映像が表示されない場合は、極性設定を確認してください。(※ 初期設定 ⑥ 152 ページ)

バックカメラ極性を設定する

バックカメラ極性設定

車種によって、車のシフトレバーをR（リバース）にしたときの電圧が異なります。車のシフトレバーがR（リバース）の位置でバックカメラの映像が正しく表示されるように設定します。



ご注意

- 映像入力設定(V.IN)で「CAMRA」を選んでいるときは、バックカメラ極性設定には切り換わりません。



設定の内容

BAT：

極性が+（プラス）になる場合、この設定にします。

GND：

極性が-（マイナス）になる場合、この設定にします。



メモ

- バックカメラの映像に正しく切り換わるように、必ずバック信号線を接続してください。
- 通常走行時、バックカメラ映像が表示されたり、シフトレバーをR（リバース）にいても、バックカメラ映像が表示されない場合は、極性設定を確認してください。
- 本機にAVX-P7/P9DV（別売）を接続する場合、別売のバックカメラは、AVX-P7/P9DVに接続してください。その場合の接続設定は、AVX-P7/P9DVの取扱説明書を参照してください。本機のバックカメラ極性設定を行う必要はありません。

1

映像入力設定で「CAMRA」を選ぶ

(☞) 初期設定 ④ 151 ページ)

2

バックカメラ極性設定を選ぶ

FUNCTION ボタンを押して、「CAMRA」を選ぶ

3

バックカメラ極性を設定する

◀ または ▶ ボタンを押す

BAT : ◀ を押す
GND : ▶ を押す

4

初期設定メニューを解除する

BAND ボタンを押す

初期設定メニューが解除され、電源がOFFになります。

リアスピーカー出力を設定する

リアスピーカー出力設定

リアスピーカー出力に接続するスピーカーの種類に合わせて、リアスピーカーの出力方法を選べます。

- ① フルレンジスピーカーを接続するとき：
R-SP FULL に設定してください
- ② サブウーファーを接続するとき：
R-SP S/W に設定してください

リアスピーカー出力の設定を「R-SP S/W」に切り換えると、リアスピーカー端子にサブウーファーを直接接続できます。



ご注意

- RCA出力設定は、本機に5.1ch対応・DSPユニット「DEQ-P9」を接続しているときは操作できません。

1 初期設定メニューを表示する

(初期設定 ① 148 ページ)

2 リアスピーカー出力設定を選ぶ

FUNCTION ボタンを押して、「R-SP」を選ぶ

3 リアの出力方法を切り換える

▲ または ▼ ボタンを押す

- R-SP FULL : ▲ を押す
(フルレンジスピーカーを接続するとき)
- R-SP S/W : ▼ を押す
(サブウーファーを接続するとき)

4 初期設定メニューを解除する

BAND ボタンを押す

初期設定メニューが解除され、電源がOFFになります。

RCA 外部出力から出力される信号を選ぶ

RCA 出力設定

本機のRCA外部出力端子に外部アンプを接続して、フルレンジスピーカーまたはサブウーファーを使用できます。接続するスピーカーに合わせて、RCA外部出力端子から出力される信号を選びます。

- ① サブウーファーを接続したとき：
P/O S/W に設定してください
- ② フルレンジスピーカーを接続したとき：
P/O FULL に設定してください



ご注意

- 「リアスピーカー出力の設定 (初期設定 ⑥)」でリアスピーカー出力を「R-SP S/W」に設定したときは、RCA外部出力の設定はできません。

1 リアスピーカー出力設定をFULLにする

(初期設定 ⑥)

2 RCAの出力方法を切り換える

◀ または ▶ ボタンを押す

- P/O S/W : ◀ を押す
(サブウーファーを接続するとき)
- P/O FULL : ▶ を押す
(フルレンジスピーカーを接続するとき)

3 初期設定メニューを解除する

BAND ボタンを押す

初期設定メニューが解除され、電源がOFFになります。

初期設定

8

スクロールの設定を切り換える

連続スクロール

連続スクロール設定をONにすると、ディスクのタイトルなどを連続してスクロールするようになります。スクロールを一度だけにしたいときは、この機能をOFFにします。

1

初期設定メニューを表示する

(☞ 初期設定 ① 148 ページ)

2

連続スクロール設定を選ぶ

FUNCTION ボタンを押して、「E-SCRL」を選ぶ

3

連続スクロール設定をONにする

▲ ボタンを押す

▼ ボタンを押すと、OFFになります。

4

初期設定メニューを解除する

BAND ボタンを押す

初期設定メニューが解除され、電源がOFFになります。

初期設定

9

音の歪みを補正する

デジタルアッテネーター

イコライザーカーブの調節による音の歪みを抑制することができます。



ご注意

- D.ATT (デジタルアッテネーター設定) は、本機に5.1ch対応・DSPユニット「DEQ-P9」を接続しているときだけ操作できます。

1

初期設定メニューを表示する

(☞ 初期設定 ① 148 ページ)

2

デジタルアッテネーター設定を選ぶ

FUNCTION ボタンを押して、「D.ATT」を選ぶ

3

デジタルアッテネーターを設定する

▲ または ▼ ボタンを押す

HIGH : ▶ を押す

LOW : ◀ を押す

4

初期設定メニューを解除する

BAND ボタンを押す

初期設定メニューが解除され、電源がOFFになります。



設定の内容

- イコライザーカーブの設定でレベルを高く設定した周波数の音域が、歪むことがあります。イコライザーカーブの設定で音が歪んだように感じたときは、「LOW」に切り換えてください。(通常は音質が優れている「HIGH」のままお使いください。)

オーディオ設定を出荷時の状態に戻すことができます。



ご注意

- A.RESET（オーディオ設定リセット）は、本機に5.1ch対応・DSPユニット「DEQ-P9」を接続しているときだけ操作できます。



リセットされる設定について

- すべてのオーディオ設定がリセットされるわけではありません。リセットされない設定は次のとおりです。
 - ・ ボリューム
 - ・ リスニングポジション
 - ・ 音量バランス調節
 - ・ SLA
 - ・ ダイナミックレンジコントロール
 - ・ ダイレクト
 - ・ ダウンミックス

1

初期設定メニューを表示する

( 初期設定 ① 148 ページ)

2

オーディオ設定リセットを選ぶ

FUNCTION ボタンを押して、
「A.RESET」を選ぶ

3

リセットを選ぶ

▲ ボタンを押す

確認のため「RESETOK?」と表示されます。
オーディオ設定をリセットしないときは、
BAND ボタンを押します。

4

リセットの確認をする

▶ ボタンを押す

再度確認のため「REALLY?」と表示されます。
オーディオ設定をリセットしないときは、
BAND ボタンを押します。

5

リセットする

▲ ボタンを押す

「COMPLETE」と表示され、リセットが完了します。

6

初期設定メニューを解除する

BAND ボタンを押す

初期設定メニューが解除され、電源がOFFになります。

便利な機能

1

瞬時に音量を小さくする

アッテネーター

リモコンでの操作

車内の会話が聞き取りにくいときに、瞬時に音量を小さくできます。

1 瞬時に音を小さくする

リモコンの ボタンを押す

アッテネーターがONのときは、音量が約1/10になります。

もう一度ATT ボタンを押すと、アッテネーターが解除されます。

便利な機能

2

時計を表示する

時計表示

本機のディスプレイに時計を表示できます。時計は、本機の電源がONのとき、または電源がOFFのときに表示されます。

1 時計を表示する

TI ボタンを長く押す

もう一度TI ボタンを長く押すと、時計表示が解除されます。




メモ

- 時計を合わせるには (※ 初期設定 ② 149ページ)

よく使う機能を 直接操作する

ダイレクトファンクション


リモコンでの操作 **DVH**

リモコンの  ボタンは、よく使う機能を直接操作できます。

内蔵プレーヤー／マルチ CD／ USB／iPod／DVD のとき

1 リモコンの ボタンを押す


再生を一時停止します

もう一度  ボタンを押すと、再生が始まります。

ラジオ／テレビのとき

1 リモコンの ボタンを長く 押す

BSM や BSSM が始まります

BSM や BSSM 動作中に、もう一度  ボタンを押すと、BSM や BSSM を解除します。

交通情報を受信する

トラフィックインフォメーション

高速道路などで放送されている交通情報ラジオを、瞬時に受信できます。この機能は、電源 OFF のときでも、どのソースからでも操作できます。

1 TI ボタンを押す

交通情報を受信する

もう一度 TI ボタンを押すと、交通情報を受信する前の状態に戻ります。

2 交通情報の周波数を選ぶ

◀ または ▶ ボタンを押す

交通情報の周波数を選ぶ

1 629 kHz を選ぶとき： ▶ を押す

1 620 kHz を選ぶとき： ◀ を押す



知っている则便利

- 交通情報を受信しているときに音量を調節すると、交通情報用の音量として設定できます。

レベルインジケータを切り換える

ディスプレイのレベルインジケータの表示方法を切り換えることができます。

1 レベルインジケータを切り換える

EQ ボタンを長く押す

ボタンを長く押すごとに、次のように切り換わります。

ソースが iPod のとき

進捗表示



OFF



レベルインジケータ 1



レベルインジケータ 2



演出表示



進捗表示に戻る

ソースが iPod 以外のとき

レベルインジケータ 1



レベルインジケータ 2



演出表示



OFF



レベルインジケータ 1に戻る



メモ

- 光入力 1、2 に機器を接続した「DEQ-P9」および AUX（外部機器）を本機に接続しているときは、レベルインジケータが正しく表示されないことがあります。
- 初期状態は、iPod ソースの場合が「進捗表示」、iPod 以外のソースの場合が「レベルインジケータ 1」です。
- iPod で「進捗表示」が選ばれている場合、ソースを切り換えると「レベルインジケータ 1」が表示されます。再び iPod に切り換えると、「進捗表示」が表示されます。ただし、iPod からソースを切り換えたあと、レベルインジケータの種類を変更したときは、そのインジケータのまま表示されます。
- iPod で「OFF」、「レベルインジケータ 1」、「レベルインジケータ 2」、「演出表示」が選ばれているとき、ソースを切り換えてもレベルインジケータの種類は変わりません。

外部機器の名称を入力する

AUX (外部機器) 名称入力

外部機器 (AUX1、AUX2) の名称を本機に入力して、ディスプレイに表示させることができます。

たとえば、VTR を外部機器として本機に接続した場合は、初期状態で表示される「AUX1」または「AUX2」を「VTR」に変更して表示できます。

1 ソースを AUX1 または AUX2 にする



SOURCE ボタンを押す

2 タイトル入力にする

FUNCTION ボタンを長く押す。

「TITLE IN」と表示されます。

3 AUX (外部機器) の名称を入力して登録する

内蔵プレーヤーのタイトル入力の手順 3 以降を参照し、同様の操作で AUX (外部機器) の名称を入力する
( CD  66 ページ)



メモ

- 外部機器の名称は、10文字まで入力できます。

外部機器に合わせてデジタル接続に切り換える

デジタル/アナログ切り換え

パイオニア製のナビゲーションユニット (「AVIC-DRV22 など」と 5.1ch 対応・DSP ユニット (「DEQ-P9」) を光ケーブルでつないで本機と組み合わせたときに、ナビゲーションユニットで選択したソースの音声を、AUX2 (外部機器 2) として車両のスピーカーから出力することができます。



設定の内容

- ナビゲーションユニットの内蔵プレーヤーを選択しているときは、本機の AUX2 (外部機器 2) のモードはデジタルにしてください。ナビゲーションユニットのテレビやミュージックサーバーを選択したとき、または本機にナビゲーションユニットを接続しないときは、AUX2 (外部機器 2) のモードはアナログに設定してください。



ご注意

- この機能は、本機に 5.1ch 対応・DSP ユニット「DEQ-P9」を接続しているときだけ操作できます。

1 ソースを AUX2 にする

SOURCE ボタンを押す

2 デジタル/アナログを切り換える

BAND ボタンを押す

ボタンを押すごとに、次のように切り換わります。

DIGITAL (デジタル) ↔ ANALOG (アナログ)

再生できるディスクについて

再生できるディスクの種類

- 下記マークはディスクのタイトル面パッケージ、またはジャケットに付いています。
- 本機はNTSC（日本のテレビ方式）に適合していますので、ディスクやパッケージに「NTSC」と表示されているディスクをご使用ください。
- **DVD** はDVDフォーマットロゴライセンス（株）の商標です。

DVDビデオ



ビデオCD



CD



ディスクの操作について

DVDによっては、ディスク制作者の意図により、特定の操作を禁止している場合があります。また、メニュー操作や、再生中に対話式の操作が可能なディスクでは、タイトル／チャプターの構成上、リピートなど一部の操作ができないことがあります。

このような場合、本機では画面に「禁止マーク」が表示されます。ディスクによっては、表示されないこともあります。

DVDに表示されているマークの意味

DVDディスクのタイトル面やパッケージには、以下のようなマークが表示されています。それぞれのマークは、そのディスクに記録されている映像または音声のタイプ、使える機能を表しています。

マーク	意味
	音声の数を表します。
	字幕の数を表します。
	アングルの数を表します。
	画面サイズ（アスペクト比：横と縦の比率）の種類を表します。
	再生可能な地域番号（リージョン番号）を表します。本機のリージョン番号は、「2」です。リージョン番号が「2」や「ALL」など「2」を含んでいるディスクを再生できます。



メモ

- DVDビデオディスクによっては、一部の機能がご使用になれない場合があります。
- DVDビデオディスクによっては、再生できない場合があります。
- DVDビデオディスクでも、リージョン番号 (※ 160ページ) が異なるディスクは再生できません。
- ビデオレコーディングフォーマット (VRモード) で記録されたDVD-R/RWディスクの再生に対応しています。ただし、ファイナライズされていないディスクの再生には対応していません。再生する際は、必ずファイナライズしてください。
- ビデオレコーディングフォーマット (VRモード) で記録されたDVD-R DL (デュアルレイヤー) ディスクの再生に対応しています。ただし、レイヤージャンプモードには対応していません。
- ファイナライズされたDVD-R DL (デュアルレイヤー) ディスクは、録画・編集ができません。
- ビデオフォーマット (ビデオモード) およびビデオレコーディングフォーマット (VRモード) で記録されたDVD-R/RWディスクでも、ディスクの特性やキズ・汚れ、または本機内部のレンズの汚れ・露などにより、本機では再生できない場合があります。
- 本機は音楽CD規格に準拠して設計されています。コピーコントロールCDなどのCD規格外ディスクの動作保証および性能保証は致しかねます。
- DVD-ROM、DVD-RAMディスクの再生には対応していません。
- 音楽用CDレコーダーまたはパソコンで記録したCD-R/RWディスクは、ディスクの特性やキズ・汚れ、または本機内部のレンズの汚れ・露などにより、本機では再生できない場合があります。
- パソコンで記録したディスクは、アプリケーションの設定および環境によって再生できないことがあります。(詳細は、アプリケーションの発売元にお問い合わせください。)

- 直射日光や高温等、車内での保管状況により、CD-R/RWディスクは再生できなくなる場合があります。
- CD-R/RWディスクに記録されているタイトルなどの文字情報は、本機では表示されない場合があります。(音楽データ (CD-DA) 再生時)
- ファイナライズされていないCD-R/RW、DVD-R/RWディスクには対応しておりません。
- CD-RWディスクは、ディスクを挿入してから再生が始まるまで、通常のCDやCD-Rディスクより時間がかかります。
- CD-R/RW、DVD-R/RWディスクの取り扱いについては、ディスクの説明書や注意書きを十分お読みください。
- 以下のロゴは、本機がビデオレコーディングフォーマット (VRモード) で記録されたDVD-R/RWディスクの再生に対応していることを示しています。

RW
COMPATIBLE

ハイビジョン画質 (AVCHD規格) で記録されたディスクについて

- 本機は、AVCHD規格に非対応のため再生できません。ディスクの取り出しができなくなる場合がありますので、AVCHD規格で記録されたディスクは入れないでください。

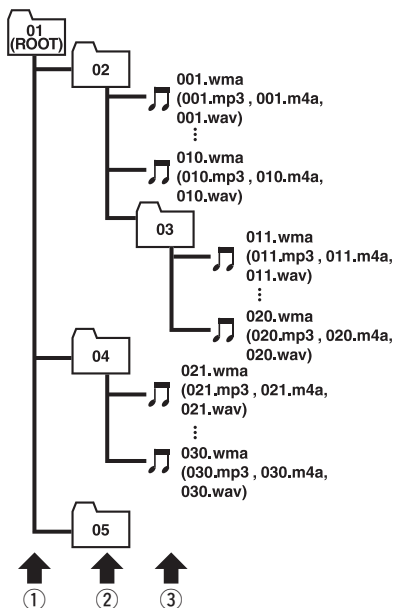
次のページへ続く

「DualDisc」の再生について

- 「DualDisc」は、片面にDVD規格準拠の映像やオーディオが、もう片面にCD再生機での再生を目的としたオーディオがそれぞれ収録されています。
- DVD面ではないオーディオ面は、一般的なCDの物理的規格に準拠していないために再生できないことがあります。
- 「DualDisc」を再生機器に挿入をしたり、取り出しをしたりするとき再生面の反対側の面に傷がつく場合があります。傷が付いた面は再生すると不具合がでる場合があります。
- ディスクを取り出せないといった不具合が起こる可能性がありますので「DualDisc」は使用しないでください。
- 「DualDisc」の仕様や規格などの詳細に関しては、ディスクの発売元または販売元にお問い合わせください。

フォルダーとWMA / MP3 / AACファイルについて

- WMA/MP3/AACファイルを収録したCD-R/CD-RW/CD-ROMのイメージは下図のようになります。



1階層 2階層 3階層

- 本機はWMA/MP3/AACファイルが記録されたDVD-R/DVD-RW/CD-R/CD-RW/CD-ROMの再生に対応しています。ISO9660のレベル1、レベル2、および拡張フォーマット(Joliet, Romeo)に準拠して記録されたディスクが再生可能です。(※ 177ページ)
- 本機はマルチセッション(※ 175ページ)方式で記録したディスクの再生に対応していません。
- パケットライト(※ 175ページ)には対応していません。
- m3u(※ 177ページ)のプレイリストには対応していません。

再生できるWMAファイルについて



ご注意

- WMAファイルをエンコードしたアプリケーションによっては、正常に動作しないことがあります。
 - WMAファイルをエンコードしたWindows Media Playerのバージョンによっては、アルバム名などの文字情報が正しく表示されないことがあります。
 - 画像データを含むWMAファイルを再生する場合、再生が始まるまでに時間がかかることがあります。
 - WMAファイルに名前を付けるときは、ファイル名のあとに拡張子(.wma)を付けてください。
 - 本機は、拡張子(.wma)が付いているファイルをWMAファイルとして再生します。雑音や故障の原因となりますので、WMAファイル以外には拡張子(.wma)を付けないでください。
 - 本機では、Windows Media Player Ver. 7 / 7.1 / 8 / 9を使用してエンコードしたWMAファイルを再生することができます。
- 再生可能なWMAファイルのサンプリング周波数は8 kHz ~ 48 kHzです。
 - 一般的にWMAファイルは、ビットレート(☞ 175ページ)が高いほど音質は良くなります。本機は、5 kbps ~ 320kbps (CBR)のビットレートで記録されたWMAファイルの再生に対応しています。また、本機はVBRで記録されたディスクの再生にも対応しています。ただし、ある一定の音質で音楽を楽しんでいただくためには、できるだけ高いビットレートで記録されたディスクの使用を推奨します。
 - デジタル著作権保護 (DRM) で保護されたファイルは再生できません。ディスク内の全てのファイルがDRMで保護されている場合は、そのディスクは再生できません。

- MP3i (MP3 interactive) フォーマット、およびMP3 PROフォーマットには対応していません。
- ファイル名の最大表示文字数は、拡張子(.mp3、.wma、.m4a)を含めて半角で64文字、全角で32文字までです。また、フォルダー名の最大表示文字数は半角で64文字、全角で32文字までです。
- 拡張フォーマット (Romeo) (☞ 177ページ) に準拠して記録されたファイルの場合、半角で先頭から64文字、全角で先頭から32文字までの表示に対応しています。
- 再生などの操作でフォルダーが選択される順番は、ライティングソフトで書き込まれた順番になります。ただし、ライティングソフトによっては、再生の順番を設定できるものもあります。
- 曲間(トラック間) にブランクがないディスクを、WMA/MP3/AACファイルとしてDVD-R/DVD-RW/CD-R/CD-RW/CD-ROMに記録して再生した場合、曲間が音飛びしたように聞こえます。



メモ

- フォルダー番号は本機が割り当てます。お客様が割り当てることはできません。
- ディスクに、WMA/MP3/AACファイルと音楽データ (CD-DA) が混在しているときは、WMA/MP3/AACファイルと、音楽データ (CD-DA) を切り換えることができます(☞ 30ページ)。WMA/MP3/AACファイルと、音楽データ (CD-DA) を切り換えた場合、再生は一番先頭の曲から始まります。
- WMA/MP3/AACファイルを含まないフォルダーは認識しません。(フォルダー番号を表示せず、スキップします。)
- 8階層までのWMA/MP3/AACファイルの再生に対応しています。ただし、多くの階層を持つディスクは、再生が始まるまでに時間がかかります。ディスク作成時には、階層を2つ以下にすることをおすすめします。
- ディスクに含まれるフォルダーの合計が255個まで再生可能です。

次のページへ続く

- この製品は、下記の形式には対応していません。
 - － Windows Media Audio 9 Professional (5.1ch)
 - － Windows Media Audio 9 Lossless (可逆圧縮)
 - － Windows Media Audio 9 Voice

再生できるMP3ファイルについて



ご注意

- MP3ファイルをライティングしたiTunesのバージョンによっては、ファイル名などの文字情報が正しく表示されないことがあります。
 - MP3ファイルに名前を付けるときは、ファイル名のあとに拡張子(.mp3)を付けてください。
 - 本機は、拡張子(.mp3)が付いているファイルをMP3ファイルとして再生します。雑音や故障の原因となりますので、MP3ファイル以外には拡張子(.mp3)を付けないでください。
- ID3 Tag (☞ 176 ページ) のVer. 1.0/1.1/2.2/2.3のアルバム名 (ALBUM TITLEとして表示)、曲名 (TRACK TITLEとして表示)、およびアーティスト名 (ARTIST NAMEとして表示) の表示に対応しています。なお、ID3 tagのVer. 1.XとVer. 2.Xが混在している場合は、Ver. 2.Xが優先されます。
 - サンプリング周波数が8 kHz ~ 48 kHzのMP3ファイルの再生に対応しています。また、上記のサンプリング周波数で、エンファシスに対応しています。
 - 一般的にMP3ファイルは、ビットレート (☞ 175 ページ) が高いほど音質は良くなります。本機は、8kbps ~ 320kbps (CBR) のビットレートで記録されたMP3ファイルの再生に対応しています。また、本機はVBRで記録されたディスクの再生にも対応しています。ただし、ある一定の音質で音楽を楽しんでいただくためには、128kbps以上のビットレートで記録されたディスクの使用を推奨します。

再生できる AAC ファイル について



ご注意

- AAC ファイルをライティングした iTunes のバージョンによっては、ファイル名などの文字情報が正しく表示されないことがあります。
- AAC ファイルに名前を付けるときは、ファイル名のあとに拡張子 (.m4a) を付けてください。
- 本機では、Ver. 4.8 以前の iTunes を使用してエンコードされた AAC ファイルの再生に対応していません。
- 本機は、iTunes で作成された拡張子 (.m4a) が付いているファイルを AAC ファイルとして再生します。雑音や故障の原因となりますので、AAC ファイル以外には拡張子 (.m4a) を付けないでください。
- 画像データを含む AAC ファイルを再生する場合、再生が始まるまでに時間がかかることがあります。
- AAC ファイルをエンコードした iTunes のバージョンによっては、正しく再生されないことがあります。
- 再生可能な AAC ファイルのサンプリング周波数は、8 kHz ~ 48 kHz です。
- 一般的に AAC ファイルは、ステレオビットレートが高いほど音質は良くなります。本機は、8kbps ~ 320kbps のステレオビットレートで記録された AAC ファイルの再生に対応しています。ただし、ある一定の音質で音楽を楽しんでいただくためには、できるだけ大きいステレオビットレートで記録されたディスクの使用を推奨します。
- iTunes ミュージックストアで購入された楽曲 (.m4p) は、DVD-R/RW、CD-R/RW に記録して再生することはできません。
- 本機は、下記の形式には対応していません。
 - ・ Apple ロスレス・エンコーダ

再生できる DivX ファイル について



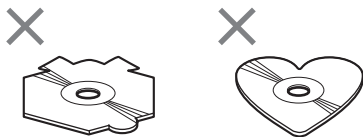
ご注意

- DivX ファイルに名前を付けるときは、ファイル名のあとに拡張子 (.avi または .divx) を付けてください。
- 本機は、拡張子 (.avi または .divx) が付いているファイルを DivX ファイルとして再生します。雑音や故障の原因となりますので、DivX ファイル以外には拡張子 (.avi または .divx) を付けないでください。
- 本機は、DivX 規格に準拠した、DivX® ビデオフォーマット (コンテンツ) を再生することができます。また、DivX® Ultra には対応していません。
- 映像データが収録されていない場合、DivX® ファイルと認識できません。
- DivX® ファイル内の構成により、特殊再生などが禁止されることがあります。
- iDivX® のパートナーサイト以外からダウンロードした DivX® ファイルの再生は保証していません。
- DivX® VOD ファイルのうち、DRM レンタルファイルを再生している場合は、再生選択後から実際に再生が始まるまでの間、操作ができません。
- 本機では、最大で 1 590 分 43 秒の DivX® ファイルの表示に対応しています。
- 4GB を超えるファイルの場合、ファイルの途中までしか再生しません。
- DivX® VOD ファイルを再生する場合、その DivX® VOD ファイルの配信先に対して、本機の登録コードが必要な場合があります。登録コードは「DivX VOD の登録コードを確認する (P. 146 ページ)」で確認してください。
- DivX® について詳しくは、<http://www.divx.com/> を参照してください。

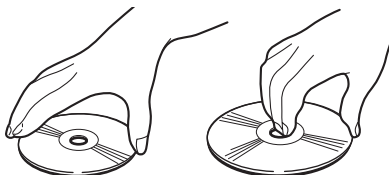
使用上の注意

取り扱い上のご注意

- ひび、キズ、そりのあるディスクは使用しないでください。
- 特殊形状のディスクは、使用しないでください。故障の原因になります。



- ディスクは、下図のように、信号記録面（虹色に光っている面）をさわらないように持ってください。

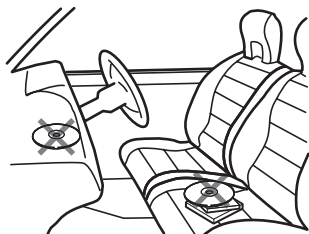


- ディスクにキズを付けないでください。
- ディスクにシールなどを貼り付けしないでください。



保管上のご注意

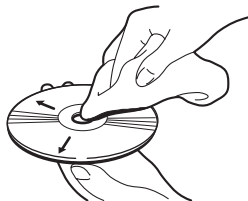
- 直射日光の当たるところや高温になるところには、ディスクを保管しないでください。



- ディスクがそらないように、必ずケースに入れて保管してください。

お手入れについて

- ディスクが汚れたときは、柔らかいきれいな布でディスクの内周から外周方向へ軽くふいてください。



- アナログ式レコード用のクリーナー、静電気防止剤などは使用しないでください。またベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品をかけないでください。



ディスク再生の環境について

- 走行中、振動のショックで音飛びを起こすことがあります。
- 寒いとき、ヒーターを入れた直後に再生を始めると、本機内部の光学系レンズやディスクに露が生じて、正常な再生ができないことがあります。このようなときは、1時間ほど放置して自然に露がとれるのを待ちください。ディスクに付いた露は柔らかい布でふいてください。



メモ

- 製品設計上配慮していますが、機構上あるいは使用環境・ディスクの取り扱いなどにより、ディスク面に実使用上支障のない程度のキズが付くことがあります。これは、製品の故障ではありません。一般的な消耗としてご理解ください。

言語コード表

言語名 (言語コード)	入カコード
日本語 (ja)	1001
英語 (en)	0514
フランス語 (fr)	0618
スペイン語 (es)	0519
ドイツ語 (de)	0405
イタリア語 (it)	0920
中国語 (zh)	2608
オランダ語 (nl)	1412
ポルトガル語 (pt)	1620
スウェーデン語 (sv)	1922
ロシア語 (ru)	1821
韓国語 (ko)	1115
ギリシャ語 (el)	0512
アファル語 (aa)	0101
アブハジア語 (ab)	0102
アフリカーンス語 (af)	0106
アムハラ語 (am)	0113
アラビア語 (ar)	0118
アッサム語 (as)	0119
アイマラ語 (ay)	0125
アゼルバイジャン語 (az)	0126
バシキール語 (ba)	0201
ベラルーシ語 (be)	0205
ブルガリア語 (bg)	0207
ビハリー語 (bh)	0208
ビスラマ語 (bi)	0209
ベンガル語 (bn)	0214
チベット語 (bo)	0215
ブルトン語 (br)	0218
カタロニア語 (ca)	0301
コルシカ語 (co)	0315
チェコ語 (cs)	0319
ウェールズ語 (cy)	0325
デンマーク語 (da)	0401
ブータン語 (dz)	0426
エスペラント語 (eo)	0515
エストニア語 (et)	0520
バスク語 (eu)	0521
ペルシア語 (fa)	0601
フィンランド語 (fi)	0609
フィジー語 (fj)	0610
フェロー語 (fo)	0615
フリジア語 (fy)	0625
アイルランド語 (ga)	0701
スコットランドゲール語 (gd)	0704
ガルシア語 (gl)	0712
グアラニ語 (gn)	0714

言語名 (言語コード)	入カコード
グジャラート語 (gu)	0721
ハウサ語 (ha)	0801
ヒンディー語 (hi)	0809
クロアチア語 (hr)	0818
ハンガリー語 (hu)	0821
アルメニア語 (hy)	0825
国際語 (ia)	0901
Interlingue (ie)	0905
イヌビアク語 (ik)	0911
インドネシア語 (in)	0914
アイスランド語 (is)	0919
ヘブライ語 (iw)	0923
イディッシュ語 (ji)	1009
ジャワ語 (jw)	1023
グルジア語 (ka)	1101
カザフ語 (kk)	1111
グリーンランド語 (kl)	1112
カンボジア語 (km)	1113
カンナダ語 (kn)	1114
カシミール語 (ks)	1119
クルド語 (ku)	1121
キルギス語 (ky)	1125
ラテン語 (la)	1201
リンガラ語 (ln)	1214
ロース語 (lo)	1215
リトアニア語 (lt)	1220
ラトビア語 (lv)	1222
マダガスカル語 (mg)	1307
マオリ語 (mi)	1309
マケドニア語 (mk)	1311
マラーラム語 (ml)	1312
モンゴル語 (mn)	1314
モルダビア語 (mo)	1315
マラータ語 (mr)	1318
マライ語 (ms)	1319
マルタ語 (mt)	1320
ビルマ語 (my)	1325
ナウル語 (na)	1401
ネパール語 (ne)	1405
ノルウェー語 (no)	1415
プロバンス語 (oc)	1503
オロモ語 (om)	1513
オリヤー語 (or)	1518
パンジャブ語 (pa)	1601
ポーランド語 (pl)	1612
アフガニスタン語 (ps)	1619
ケチュア語 (qu)	1721

言語名 (言語コード)	入カコード
レートロマン語 (rm)	1813
キルンディ語 (rn)	1814
ローマ語 (ro)	1815
キニヤルワンダ語 (rw)	1823
サンスクリット語 (sa)	1901
シンド語 (sd)	1904
サンド語 (sg)	1907
セルボクロアチア語 (sh)	1908
セイロン語 (si)	1909
スロバック語 (sk)	1911
スロベニア語 (sl)	1912
サモア語 (sm)	1913
ショナ語 (sn)	1914
ソマリ語 (so)	1915
アルバニア語 (sq)	1917
セルビア語 (sr)	1918
シスワティ語 (ss)	1919
セストゥ語 (st)	1920
スンダ語 (su)	1921
スワヒリ語 (sw)	1923
タミル語 (ta)	2001
テルグ語 (te)	2005
タジク語 (tg)	2007
タイ語 (th)	2008
チグリス語 (ti)	2009
ツルキ語 (tk)	2011
タガログ語 (tl)	2012
セツワナ語 (tn)	2014
トンガ語 (to)	2015
トルコ語 (tr)	2018
ツォンガ語 (ts)	2019
タタール語 (tt)	2020
トウイ語 (tw)	2023
ウクライナ語 (uk)	2111
ウルドゥー語 (ur)	2118
ウズベク語 (uz)	2126
ベトナム語 (vi)	2209
ボラビュク語 (vo)	2215
ウォルフ語 (wo)	2315
コーサ語 (xh)	2408
ユルバ語 (yo)	2515
ズールー語 (zu)	2621

* 言語表記は ISO639:1988 (E/F)に準拠 (1999年9月現在)

故障かな?と思ったら

故障かな?と思ったら

修理を依頼される前に、次の表の内容をチェックしてください。



それでも直らないときは

「保証書とアフターサービス」(※ **その他 ⑦ 174 ページ**) をお読みになり、修理を依頼してください。

共通項目

症状	原因	処置
電源が入らない。 動作しない。	各リード線やコネクタが正しく接続されていない。	正しく確実に接続されているかどうか、もう一度確認してください。(※ 取付説明書)
	ヒューズが切れている。	ヒューズが切れた原因を解決し、切れたヒューズと同じ容量のものと交換してください。(※ 取付説明書)
リモコンで操作できない。 操作に合った正しい動作をしない。	リモコンの操作モードが間違っている。	リモコンの操作モードを正しく切り換えてください。(※ はじめに ⑤ 16 ページ)
	電池が弱っている。	新しい電池に交換してください。(※ はじめに ⑤ 16 ページ)
	ディスクによっては、禁止している操作があります。	別のディスクで確認してください。
ディスクを再生できない。	ディスクが汚れている。	汚れをふき取ってください。(※ その他 ④ 166 ページ)
	本機で再生できない種類のディスクが入っている。	ディスクを確認してください。
音が出ない。 音が小さい。	音量を下けている。	音量を上げてください。(※ ここだけで ① 24 ページ)
	アッテネーターがONになっている。	アッテネーターを解除してください。(※ 便利な機能 ① 156 ページ)
	前後の音量バランスの調節が適切でない。	正しく調節してください。(※ 音の調節 ③ 111 ページ)
	接続が間違っている。	正しく確実に接続されているかどうか、もう一度確認してください。(※ 取付説明書)
前または後ろのスピーカーから音が出ない。	前後の音量バランスの調節が適切でない。	正しく調節してください。(※ 音の調節 ③ 111 ページ)
左または右のスピーカーから音が出ない。	左右の音量バランスの調節が適切でない。	正しく調節してください。(※ 音の調節 ④ 111 ページ)
音量が自動的に変化する。	SLAがONになっている。	SLAを解除してください。(※ 音の調節 ⑬ 117 ページ)
❌ (禁止マーク) が画面が出て操作できない。	ディスクが禁止している操作です。	この操作はできません。
	ディスクの構成上対応できない操作をしている。	この操作はできません。

共通項目

症状	原因	処置
画面が止まり、操作を受け付けない。	ディスク再生中にデータを読みとれなくなった。	一度、リモコンの(■) ボタンを押してからもう、一度再生してください。
音や映像が飛ぶ。	本機がしっかり固定されていない。	本機をしっかりと固定してください。
画面がのびる。アスペクトが合わない	モニターに対しての設定が正しくない	ご使用のモニターに合った設定にしてください。
エンジンスイッチをONまたはACCにすると、モーター音がする。	本機がディスクの有無を確認しています。	正常な動作です。
何も表示されない	バックカメラが接続されていない。	バックカメラを接続してください。 (取付説明書)
	バックカメラの設定が間違っている。	正しく設定してください。 (初期設定 4 151 ページ、5 152 ページ)

内蔵プレーヤー：DVD

症状	原因	処置
ディスクを再生できない。	PAL方式のディスクを挿入している。	NTSC方式のディスクに交換してください。
	本機のリージョン番号と異なるディスクを挿入した。	本機と同じリージョン番号のディスクに交換してください。
視聴制限のメッセージが表示され、再生できない。	視聴制限がかかっている。	視聴制限を解除またはレベルを変更してください。 (DVD 設定 8 144 ページ)
視聴制限を解除できない。	暗証番号が間違っている。	正しい暗証番号を入力してください。 (DVD 設定 8 144 ページ)
	暗証番号を忘れてしまった。	◎ ボタンを10回押して、暗証番号を解除してください。 (DVD 設定 8 145 ページ)
音声（または字幕）言語が切り換えられない。	ディスクのメニューでしか切り換えできないように制限されている。	ディスクのメニューで切り換えてください。
字幕が出ない。	字幕が収録されていないDVDを再生している。	字幕が収録されていないDVDでは、字幕を表示できません。
	ディスクのメニューでしか切り換えできないように制限されている。	ディスクのメニューで切り換えてください。
音声（または字幕）言語が切り換えられない。	DVDの設定で選んだ言語が収録されていないDVDを再生している。	DVDの設定で選んだ言語が収録されていないDVDでは、選んだ言語には切り換わりません。
アングルを切り換えて見ることができない。	複数のアングルが収録されていないDVDを再生している。	複数のアングルが収録されていないDVDでは、切り換えてできません。
	複数のアングルが収録されていない場面で操作している。	複数のアングルが収録されている場面で、操作してください。

内蔵プレーヤー：DVD（つづき）

症状	原因	処置
ディスクの再生中に映像が乱れる。映像が暗い。	ディスクコピー禁止信号が入っている。(ディスクによって入っている場合があります。)	本製品はアナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しているため、コピー禁止信号が入っているディスクを再生した場合、一部のモニターでは横縞が入るなどの症状が出るものもあります。これは、正常な動作です。

内蔵プレーヤー：ビデオCD

症状	原因	処置
PBCのメニュー画面を呼びだせない。	PBCの付いていないビデオCDを再生している。	PBCのついていないビデオCDでは操作できません。
リピート再生、トラックサーチができない。	PBCがONになっている。	PBCはOFFにできません。

内蔵プレーヤー：CD、WMA／MP3／AAC

症状	原因	処置
CD再生中、大きな雑音が出る。	CDに大きなキズやそりがある。	他のCDに交換してください。良くなれば、CDの不良です。
CDの再生が途中で止まる。CDを再生できない。	CDが極端に汚れている。	CDの汚れをふき取ってください。 (<small>☞</small> その他 ③ 166 ページ)
	CDにくもりや水滴が付いている。	CDのくもりや水滴をふき取ってください。 (<small>☞</small> その他 ③ 166 ページ)
	CDの裏表を逆にしてセットしている。	CDのタイトル面を上にしてセットしてください。 (<small>☞</small> ここだけで ② 26 ページ)

ラジオ

症状	原因	処置
ラジオの受信中、“ジージー、ザーザー”という雑音が多い。	放送局の周波数が合っていない。	周波数を正しく合わせてください。 (<small>☞</small> ここだけで ⑦ 31 ページ)
	放送局の電波が弱い。	他の放送局を選局してみてください。 (<small>☞</small> ここだけで ⑦ 31 ページ)
	周りに障害物があるなど、受信状態が良くない。	受信状態が良くなると、雑音が少なくなります。
自動選局できない。	放送局の電波が弱い。	手動で選局してください。 (<small>☞</small> ここだけで ⑦ 31 ページ)

「DEQ-P9」接続時

症状	原因	処置
スピーカーの調節ができない。	スピーカーのサイズ設定がOFFになっている。	接続しているスピーカーのサイズを正しく設定してください。 (別売DSP 16 131 ページ)
タイムアライメントを調節できない。	リスニングポジションの設定が間違っている。	リスニングポジションを正しく設定してください。 (別売DSP 6 121 ページ)
	スピーカーのサイズ設定がOFFになっている。	リスニングポジションを正しく設定してください。 (別売DSP 6 121 ページ)
サブウーファーの位相が切り換えられない。	サブウーファーの設定がOFFになっている。	サブウーファーの設定をONにしてください。 (別売DSP 16 131 ページ)
低音域が聞こえない。	サブウーファーの設定がOFFで、それ以外のスピーカーのサイズ設定がOFFやSMLになっている。	正しく設定してください。(サブウーファーを接続していない場合、フロントまたはリアスピーカーのサイズ設定は、LRGにしてください。) (別売DSP 16 131 ページ)
ドルビープロロジックIIをONにすると、音が出ないときがある。	センタースピーカーを接続していない状態で、センタースピーカーのサイズ設定をSMLやLRGにしている。	センタースピーカーのサイズ設定をOFFにしてください。(モノラル音声の場合、ドルビープロロジックIIをONにすると、センタースピーカーだけから音が出力されます。) (別売DSP 16 131 ページ)
センタースピーカー以外のスピーカーから音が出ないときがある。	ドルビープロロジックIIがONになっている。	ドルビープロロジックIIをOFFにしてください。(モノラル音声の場合、ドルビープロロジックIIをONにすると、センタースピーカーだけから音が出力されます。) (別売DSP 6 122 ページ)
ダイナミックレンジコントロールをONにしても効果がない。	再生しているソースがドルビーデジタル音声でない。	ドルビーデジタル音声にだけ有効な機能です。 (別売DSP 10 125 ページ)
DVDの音だけ出ない。	光デジタルケーブルが外れている。	光デジタルケーブルを正しく接続してください。 (取付説明書)
光デジタル入力1または光デジタル入力2に接続したソースの音が出ない。	光デジタル入力1 (OPT. IN1) と光デジタル入力2 (OPT. IN2) が逆に接続されている。	
	光デジタル入力に接続した製品のソースが光デジタル信号に対応していない。	光デジタルに対応した製品かどうか確認してください。 (「DEQ-P9」の「取扱説明書」)

こんなメッセージが表示されたら

本体のディスプレイに表示されるエラーメッセージ

メッセージ (エラー番号)	原因	処置
「ERROR02-XX」	ディスクが汚れている。	ディスクの汚れをふき取ってください。 (※ その他 ③ 166 ページ)
	ディスクにキズやひびがある。	ディスクを交換してください。
	ディスクの裏表を逆にしてセットしているとき。	ディスクのタイトル面を上にしてセットしてください。
「HEAT」	本機の内部温度に異常があるとき。	本機が正常に動作する温度になるまでお待ちください。
「NON-PLAY」	本機では再生できないディスク (DVD AUDIOなど) を使用しているとき。	本機で再生できるディスクに交換してください。
「R ERROR」	リージョン番号が異なるディスクを使用しているとき。	リージョン番号「2」を含むDVDに交換してください。
「PROTECT」	ディスク内のすべてのファイルがデジタル著作権保護 (DRM) で保護されている。	ディスクを交換してください。



メモ

- マルチCD再生中に、上記以外のエラーメッセージが表示されたときは、マルチCDの取扱説明書をご覧ください。

本体のディスプレイに表示されるエラーメッセージ（オートイコライジング）

メッセージ（エラー番号）	原因	処置
「ERR_MIC」	マイクが接続されていない。	音響特性測定用マイクをきちんと差し込んでください。 (※ 別売DSP ⑩ 129 ページ)
「ERR_FSP」 「ERR_FLSP」 「ERR_FRSP」 「ERR_CSP」 「ERR_RLSP」 「ERR_RRSP」 「ERR_SW」	スピーカーの計測音がマイクで拾えない。	ソースを切り換えて、スピーカーから音が出るか確認してください。音が出ない場合は、スピーカーリード線の接続を確認してください。 (※ 取付説明書) 音響特性測定用マイクを正しくセットしてください。
「ERR_NOIS」	周囲の騒音レベルが高すぎる。	なるべく静かなところに車を停車し、車のエンジン、およびエアコンやヒーターを止めてください。 なるべく静かなところに車を停車し、車のエンジン、およびエアコンやヒーターを止めてください。 音響特性測定用マイクを正しくセットしてください。

別売のモニターに表示されるエラーメッセージ

メッセージ（エラー番号）	原因	処置
「ERROR-02-XX」	ディスクが汚れている。	ディスクの汚れをふき取ってください。 (※ その他 ⑨ 166 ページ)
	ディスクにキズやひびがある。	ディスクを交換してください。
	ディスクの裏表を逆にしてセットしているとき。	ディスクのタイトル面を上にしてセットしてください。
「THERMAL PROTECTION IN MOTION」	本機の内部温度に異常があるとき。	本機が正常に動作する温度になるまでお待ちください。
「NON-PLAYABLE DISC」	本機では再生できないディスク（DVD AUDIOなど）を使用しているとき。	本機で再生できるディスクに交換してください。
「DIFFERENT REGION DISC」	リージョン番号が異なるディスクを使用しているとき。	リージョン番号「2」を含むDVDに交換してください。
「PROTECTED DISC」	ディスク内のすべてのファイルがデジタル著作権保護（DRM）で保護されている。	ディスクを交換してください。

保証書とアフターサービス

保証書

保証書は、ご購入年月日、販売店名などが記入されていることをお確かめのうえ、ご購入の際に販売店より受け取ってください。

保証書に記入もれがあったり、保証書を紛失したりすると、保証期間中でも保証が無効となります。記載内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

保証期間

この製品の保証期間は、お買い上げの日より1年間です。

保証期間中の修理について

万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理いたします。お買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご連絡ください。所在地、電話番号は本機に付属の「ご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧ください。

保証期間経過後の修理について

お買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

補修用性能部品の最低保有期間

当社は、本機の補修用性能部品を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。(性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

ご質問、ご相談は

本機に関するご質問、ご相談はパイオニアカスタマーサポートセンターまたはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

アスペクト比

テレビ画面の横と縦の比率をいいます。ノーマルモニターは4：3ですが、ワイドモニターは16：9の比率となっており、臨場感あふれる映像が楽しめるようになっていきました。

視聴制限（パレンタルロック）

成人向けの内容や暴力シーンなどを含むDVDの中には、視聴制限が記録されているものがあります。このようなディスクでは、本機の視聴制限レベルを設定することで、再生できなくなったり、過激なシーンを飛ばして再生したりできます。

ダイナミックレンジコントロール

ドルビーデジタルには音の強弱の幅を圧縮する機能があります。この機能がダイナミックレンジコントロールです。ダイナミックレンジの広い音声を小さな音量で聞く場合でも、良好な聴感が得られるようにコントロールします。

ドルビーデジタル

ドルビーデジタルは最大5.1チャンネルの独立したマルチチャンネルオーディオを提供します。このシステムは、映画館にサラウンドシステムとして装備されているドルビーデジタルと同一のシステムです。

ドルビープロロジックII

ドルビープロロジックIIは、2チャンネル信号を5.1チャンネルに拡張できます。CDのような通常のステレオ音楽でも立体音場効果、包囲感、より明確な定位感を実現します。

バケットライト

フロッピーやハードディスクと同じように、必要なファイルを必要な時点で、CD-Rなどに書き込む方式の総称です。

ビットレート

1秒当たりの情報量を表し、単位はbps (bit per second) です。この数字が大きいほど、音楽を再現するために多くの情報を持つことになるため、同じ符号化方式 (MP3など) での比較では、一般的に数字が大きい方が良い音となります。(MP3とATRAC3のように、異なる符号化方式の場合、単純な比較はできません。)

プレイバックコントロール (PBC)

ビデオCD (バージョン2.0) に記録されている再生をコントロールするための信号です。PBC付きビデオCDに記録されているメニュー画面を使って、簡単な対話形式のソフトや検索機能のあるソフトの再生が楽しめます。また、高/標準解像度の静止画も楽しむことができます。

マルチアングル

通常のテレビ番組などはテレビカメラからの映像を見ているので、画像は撮影しているカメラの位置の視点になります。テレビ番組などでは、数台のカメラで同時に撮影した映像のうち1つを各家庭のテレビに送っています。もし、すべてのカメラの映像が同時に送られてくようになれば、見たい視点の映像を見ることも可能になります。DVDには、同時に複数のカメラで撮影した映像をすべて収録しているものがあり、視点を自由に選ぶことができます。

マルチ音声

DVDやDivXの中には、1枚のディスクの中に複数の音声を収録しているものがあります。DVDやDivXでは、音声を最大8言語 (8ストリーム) まで記録することができ、その中からお好みの言語を選ぶことができます。

マルチ字幕 (サブタイトル)

映画などでおなじみの字幕です。DVDやDivXでは、1枚のディスク (1つのファイル) に複数の字幕を収録しているものがあります。DVDでは最大32言語まで、DivXでは最大8言語まで記録でき、その中からお好みの言語を選ぶことができます。

マルチセッション

マルチセッションは、データの追加ができる記録方式です。CD-ROMやCD-R、CD-RWにデータを記録するとき、その記録の始めから終わりまでをひとまとめにした単位をセッションといいます。マルチセッションとは、1枚のディスクに2つ以上のセッションデータを記録する方法のことです。

リージョン番号

DVDプレーヤーとDVDディスクは発売地域ごとに再生可能な地域番号(リージョン番号)が設けられており、再生するディスクに記載されている番号にプレーヤーの地域番号が含まれていない場合は再生できません。本機のリージョン番号は「2」です。(本体底面に表記されています。)

リニアPCM (LPCM)

音楽CDに用いられている信号記録方式で、「Linear Pulse Code Modulation」の略です。音楽CDでは、44.1 kHz / 16 bitで記録されているのに対し、DVDでは、48 kHz / 16 bit ~ 96 kHz / 24 bitで記録されているため、音楽CDよりも高音質の再生が可能です。

量子化ビット数

量子化ビット数は、音質を定義する要素の1つです。この数が多いほど、音質が良くなります。ただし、量子化ビット数が大きくなるほどデータサイズも大きくなるため、より多くの記憶容量が必要となります。

AAC

「Advanced Audio Coding」の略で、MPEG2、MPEG4で使用される音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。

DivX

DivXは、DivX, Inc.が開発した評価の高いメディア技術です。DivXのメディアファイルは、高音質を維持しながら、高い圧縮率でコンパクトに圧縮できます。DivXで圧縮するファイルには、メニューや字幕、サブオーディオトラックなども含めることができます。DivX.comでは、DivXメディアファイルを多数掲載しています。これらのメディアをダウンロードしてDivXの専用ツールを使えば、オリジナルのコンテンツを作成できます。

DivX Certified

DivX Certified製品は、DivXのクリエイターによって、全てのバージョンのDivX (DivX 6も含む)でも再生できることが正式にテスト、認定された製品です。DivX Certifiedの認定ロゴが付いている製品は、DivX Profiles規格に準拠したポータブルビデオやHDビデオであることを示します。

DTS

「Digital Theater Systems」の略です。DTSは、サラウンドシステムで、最大6チャンネルの独立したマルチチャンネルオーディオを提供します。

ID3 Tag

曲の関連情報をMP3ファイルの中に埋め込む方式です。埋め込むことのできる情報は、曲名、アーティスト名、アルバム名、ジャンル、製作年、コメントなどがあります。この内容はID3 Tag編集機能のあるソフトを利用して自由に編集できます。通常は文字数などに制限がありますが、曲の再生時に情報を見ることができるようになっています。

ISO9660 フォーマット

CD-ROMのファイルおよびフォルダーに關する論理フォーマットの国際基準です。ISO9660 フォーマットには、次のようなレベルに関する規制があります。

レベル1

ファイル名は、8.3形式（名前は半角英大文字と半角数字、“_”で8文字以下、拡張子は3文字）で、各フォルダーの階層は8つ以下

レベル2

ファイル名は、最大31文字（区切り文字、“.”と拡張子を含む）で、各フォルダーの階層は8つ以下

拡張フォーマット

Joliet :

ファイル名は、最大で64文字

Romeo :

ファイル名は、最大で128文字

m3u

プレイリストファイルの拡張子（.m3u）で、「WINAMP」などのソフトで作成したプレイリストに付きます。

MP3 (エムピースリー)

「MPEG Audio Layer3」の略で、ISO（国際標準化機構）のワーキンググループ（MPEG）の定めた音声圧縮の規格です。MP3は、音声データを元のデータの約1/10のサイズに圧縮できます。

MPEG

「Moving Picture Experts Group」の略で、「エムペグ」と読みます。これは動画圧縮の国際標準です。DVDでは、この方式でデジタル音声を圧縮して記録している場合もあります。

MS ADPCM

「Microsoft Adaptive Differential Pulse Code Modulation」の略で、米国Microsoft Corporationのマルチメディア・ソフトウェアで使用される信号記録方式です。

VBR (バイビートル)

「Variable Bit Rate（可変ビットレート）」の略です。一般的にはCBR（固定ビットレート）が多く使われていますが、音声圧縮では圧縮状況に合わせてビットレートを可変することで、音質を優先した圧縮が可能となります。

VRモード

「Video Recording（ビデオレコーディング）」の略です。DVD-RWの基本記録方式で、録画または消去を繰り返すことができます。また、部分消去などの編集もできます。

WMA

「Windows Media™ Audio」の略で、米国Microsoft Corporationによって開発された音声圧縮技術です。WMAデータはWindows Media Player Ver.7以降を使用してエンコードすることができます。

Microsoft、Windows Media、Windowsのロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

■ 共通部

使用電源：

DC 14.4 V (10.8 V ~ 15.1 V 使用可能)

アース方式：

マイナスアース方式

最大消費電流：

10.0 A

外形寸法：

(取付寸法)：

178 (W) × 50 (H) × 165 (D) mm

(ノーズ寸法)：

170 (W) × 46 (H) × 15 (D) mm

質量：

1.4 kg (コード含まず)

■ アンプ／オーディオ部

最大出力：

50 W × 4

50 W × 2 ch / 4 Ω + 70 W × 1 ch /

2 Ω (for サブウーファー)

定格出力：

22 W × 4

(50 Hz ~ 15 000 Hz, 5 % THD)

負荷インピーダンス：

4 Ω ~ 8 Ω × 4

4 Ω ~ 8 Ω × 2 + 2 Ω × 1

プリアウト最大出力レベル：

2.2 V

出カインピーダンス：

1 k Ω

イコライザー

(7バンド グラフィック イコライザー)：

周波数: 50 / 125 / 315 / 800 /

2k / 5K / 12.5k Hz

調整幅: ± 12dB (2dB step)

ラウドネスコンター：

(LOW)：

3.5 dB (100 Hz)

3 dB (10 kHz)

(MID)：

10 dB (100 Hz)

6.5 dB (10 kHz)

(HIGH)：

11 dB (100 Hz)

11 dB (10 kHz)

(ボリューム：-30 dB)

ハイパスフィルター：

周波数: 50 / 63 / 80 / 100 / 125 Hz

スロープ: -12 dB / oct

サブウーファー出力：

周波数: 50 / 63 / 80 / 100 / 125 Hz

スロープ: -18 dB / oct

調整幅: +6 dB ~ -24 dB

位相: NORMAL / REVERSE

バスブースター：

調整幅: +12 dB ~ 0 dB

■ DVDプレーヤー部

形式：

DVDビデオ、DVD-VR、DivX、ビデオCD、
CD、MP3、WMA、AAC

リージョン番号：

2

使用ディスク：

DVDビデオ、ビデオCD、CD、dts CD、
CD-R、CD-RW、DVD-R、DVD-RW

信号フォーマット：

サンプリング周波数：

16 kHz / 22.05 kHz / 24 kHz /
44.1 kHz / 48 kHz / 88.2 kHz /
96 kHz / 176.4 kHz / 192 kHz

量子化ビット数：

16 / 20 / 24ビット直線

周波数特性：

5 Hz ~ 44 000 Hz
(DVD、サンプリング周波数96 kHz時)

S/N比：

95 dB (1 kHz)
(IHF-A ネットワーク)
94 dB (1 kHz)
(IHF-A ネットワーク)：CD
ダイナミックレンジ：

ダイナミックレンジ：

95 dB (1 kHz)
94 dB (1 kHz)：CD

高調波歪率：

0.008 % (1 kHz)

出力レベル：

映像：

1 Vp-p / 75 Ω (± 0.2 V)

チャンネル数：

2 (ステレオ)

DivXデコーディングフォーマット：

Home Theater Ver. 3、4、5.2
(.avi .divx)

WMAデコーディングフォーマット：

Ver. 7、7.1、8、9 (2 ch audio)
(Windows Media Player)

MP3デコーディングフォーマット：

MPEG-1 & 2 AUDIO LAYER-3

AACデコーディングフォーマット：

MPEG-4 AAC
(iTunesでエンコードされたもののみ)

■ FMチューナー部

受信周波数帯域：

76.1 ~ 89.9 MHz

実用感度：

8 dBf (0.7 μV / 75 Ω、
モノラル、S/N：30 dB)

S/N：

75 dB (IHF-A ネットワーク)

高調波歪率：

0.3 % (65 dBf入力、1 kHz、ステレオ)、
0.1 % (65 dBf入力、1 kHz、モノラル)

周波数特性：

30 Hz ~ 15 000 Hz (± 3 dB)

ステレオセパレーション：

45 dB (65 dBf入力、1 kHz)

■ AMチューナー部

受信周波数帯域：

522 kHz ~ 1 629 kHz (9 kHz)

実用感度：

18 μV (S/N：20 dB)

S/N：

65 dB (IHF-A ネットワーク)

■ 付属品

コードユニット	：1式
ビデオ延長コード	：1
取付ネジ類	：1式
取扱説明書	：1
取付説明書	：1
リモコン	：1
リチウム電池 (CR2025)	：1
安全上のご注意	：1
保証書	：1
ご相談窓口・修理窓口のご案内	：1
お客様登録のお願い	：1



メモ

- 上記の仕様および外観は予告なく変更することがあります。また、この説明書の中のイラストと実物が、一部異なる場合があります。

<各窓口へのお問い合わせ時のご注意>

市外局番「0070」で始まる ☎ フリーフォン、および「0120」で始まる ☎ フリーダイヤルは、PHS、携帯電話などからはご使用になれません。また、【一般電話】は、携帯電話・PHSなどからご利用可能ですが、通話料がかかります。

ご相談窓口のご案内

パイオニア商品の修理・お取り扱い(取り付け・組み合わせなど)については、お買い求めの販売店様へお問い合わせください。

商品についてのご相談窓口 ● 商品のご購入や取り扱い、故障かどうかのご相談窓口およびカタログのご請求窓口

カスタマーサポートセンター (全国共通フリーフォン)

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00、土曜・日曜・祝日 9:30～12:00、13:00～17:00 (弊社休業日は除く)

● カーオーディオ／カーナビゲーション商品

電話 ☎ **0070-800-8181-11** 【一般電話】 **03-5496-8016**

ファックス **03-3490-5718**

インターネットホームページ <http://pioneer.jp/support/>

※商品についてよくあるお問い合わせ・メールマガジン登録のご案内・お客様登録など

修理窓口のご案内

修理をご依頼される場合は、取扱説明書の『故障かな?と思ったら』を一度ご覧になり、故障かどうかご確認ください。それでも正常に動作しない場合は、① 型名、② ご購入日、③ 故障症状を具体的にご連絡ください。

修理についてのご相談窓口 ● お買い求めの販売店に修理の依頼ができない場合

修理受付センター (沖縄県を除く全国)

受付時間 月曜～金曜 9:30～19:00、土曜・日曜・祝日 9:30～12:00、13:00～18:00 (弊社休業日は除く)

電話 ☎ **0120-5-81028** 【一般電話】 **03-5496-2023**

ファックス ☎ **0120-5-81029**

インターネットホームページ <http://pioneer.jp/support/repair.html>

※インターネットによる修理受付対象商品は、家庭用オーディオ／ビジュアル商品に限ります

沖縄サービスステーション (沖縄県のみ)

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00 (土曜・日曜・祝日・弊社休業日は除く)

電話 【一般電話】 **098-879-1910**

ファックス **098-879-1352**

部品のご購入についてのご相談窓口 ● 部品(付属品・リモコン・取扱説明書など)のご購入について

部品受注センター

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00、土曜・日曜・祝日 9:30～12:00、13:00～18:00 (弊社休業日は除く)

電話 ☎ **0120-5-81095** 【一般電話】 **0538-43-1161**

ファックス ☎ **0120-5-81096**

パイオニア株式会社

© パイオニア株式会社 2007

〒153-8654 東京都目黒区目黒 1-4-1

< KOKZX > < 07C00000 > < CRA4004-B/N >